

市内中小企業の景況について  
(第 103 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」の結果がまとまりましたので報告します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都府域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 24 年 6 月
- ・ 調査対象期間 平成 24 年 4 月～6 月期 (3 箇月実績) / 平成 24 年 7～9 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 386 社, 非製造業 414 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。520 社が回答 (回収率 65.0%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	255 (49.0)	非製造業	265 (51.0)
西陣	24 (4.6)	卸売	58 (11.2)
染色	34 (6.5)	小売	58 (11.2)
印刷	27 (5.2)	情報通信	26 (5.0)
窯業	16 (3.1)	飲食・宿泊	31 (6.0)
化学	17 (3.3)	サービス	55 (10.6)
金属	25 (4.8)	建設	37 (7.1)
機械	28 (5.4)	不明	0 (0.0)
その他の製造	84 (16.2)	合 計	520 (100.0)

- ▶ DI=Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)  
増加, 上昇などと回答した企業の企業割合から, 減少, 低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として, それより上である場合は, 上向き傾向を表す回答が多いことを示し, 下である場合は, 下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
- ▶ 中小企業の定義  
中小企業基本法に基づき, 業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については, インターネットホームページでも御覧いただけます。

URL [http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-1-11-0-0\\_1.html](http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-1-11-0-0_1.html)

# 調査結果概要

## 1. 景気動向調査について

- 全業種での企業景気DIは4期連続して改善し、5.7ポイント上昇。東日本大震災の影響を大きく受けた時期との比較もあり、製造業で6.0ポイント、非製造業で5.3ポイントとそれぞれ改善した。
- 来期の企業景気DIは、全業種で2.2ポイント低下。製造業で3.5ポイント、非製造業で0.8ポイントとともに低下している。競争に伴う受注減やコスト高、海外経済情勢の不安等、先行きへの不安材料が払拭されず、引き続き景気回復への足取りは重い。

### (1) 今期実績 平成24年4月～6月期

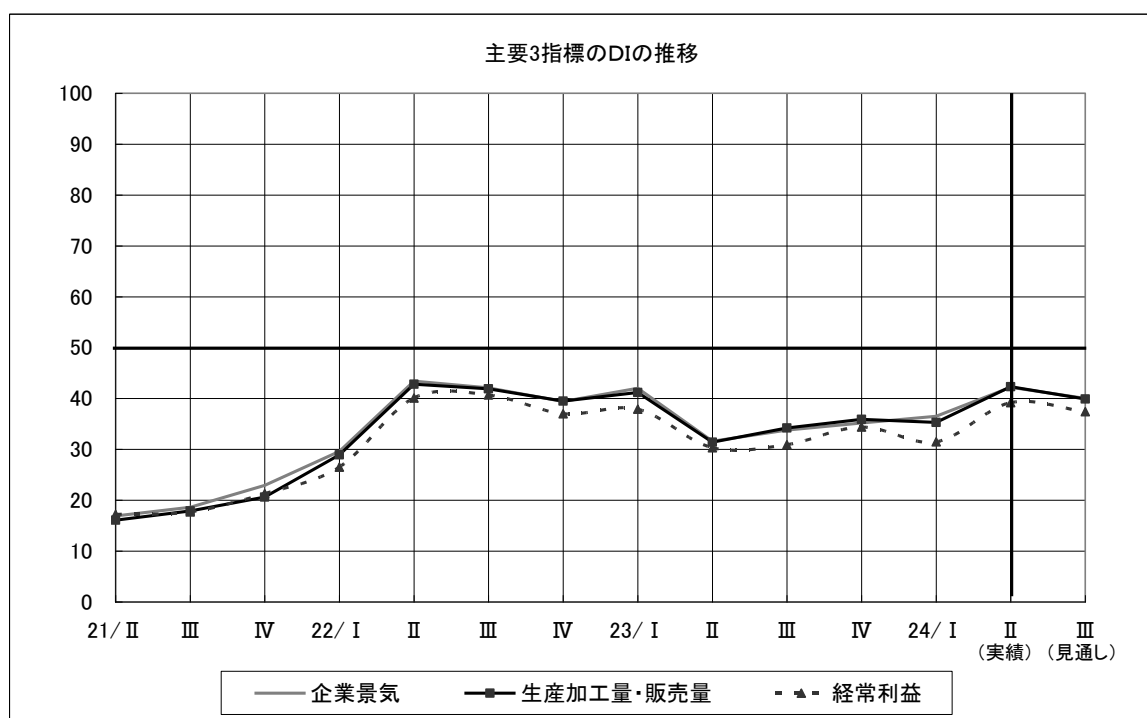
今期（平成24年4月～6月期）の全業種のDIは、企業景気DIが42.2と、前期と比較し5.7ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量DIは42.3で同7.0ポイント上昇、経常利益DIは39.2で同7.7ポイントの上昇となった。

#### ・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	42.2 (△5.7)	42.3 (△7.0)	39.2 (△7.7)
(製造業)	43.3 (△6.0)	42.5 (△5.2)	38.9 (△6.6)
(非製造業)	41.1 (△5.3)	42.1 (△9.1)	39.4 (△8.9)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇を示す。）

#### ・主要3指標のDIの推移



平成23年4月～6月期に東日本大震災の影響等から大幅に低下した企業景気DIは、その後緩やかながらも4期連続して上昇基調で推移した。ただし、今期は震災直後から1年を経過した期に当たるため、震災の影響を大きく受けた前年同時期との比較であることに留意する必要がある。

製造業においては、「自動車部品受注が好調」（南区／その他製造）、「外国人観光客向け紙製品雑貨の増加」（上京区／印刷）、「企業努力」（南区／化学）といった、販売先の需要の増加によって受注が増加したことや外国人観

光客の回復や自助努力で受注増加に結び付いたことにより、その他製造業、印刷、化学、窯業の企業景気DIは上昇した。また地場産業の西陣、染色についても「販売先の在庫減少につき受注増」（上京区／西陣）、「天然染料を使用した草木染加工が増加」（中京区／染色）といった、長年の業歴から底堅い地盤を有している強みを活かして安定した取引先を確保できたことや、独自の持つ技術力による同業他社との差別化等から景況感が改善し、製造業全体でも景況感は改善した。

一方、「不況で仕事が激減している」（南区／機械）、「半導体関連メーカーからの受注が低調」（南区／機械）、「他社との競合が激しくなり安売りに移行している」（南区／機械）といった、市況低迷、相手先業界の不調による影響等から、機械、金属の企業景気DIは低下した。特に機械は12.5ポイントと大幅に低下した。

非製造業においては、「京都水族館の開業」（東山区／飲食・宿泊）、「書籍で紹介され問い合わせが増加」（中京区／宿泊）、「外国人の宿泊客の増加」（中京区／飲食・宿泊）といった新名所オープン、書籍でのPR、外国人観光客の回復等により飲食・宿泊の企業景気DIが17.3ポイント上昇した。また、「事業拡大の為フランチャイズシステムを導入」（下京区／サービス）等の新制度導入の効果等からサービスの企業景気DIも9.6ポイント上昇した。卸売、小売についても、「外国企業との競合激化」（南区／卸売）、「通販・ネット販売の拡大」（右京区／小売）、といった、円高による海外製品との競合等への懸念から、依然低水準であるものの企業景気DIは上昇し、非製造業全体でも景況感が改善した。

一方、「市場の低迷」（南区／建設）、「工事量の減少」（下京区／建設）他により、建設の企業景気DIは6.7ポイント低下したが、「東日本大震災復興に若干の期待感」（左京区／建設）といった将来への期待感も寄せられた。

観光関連については、震災後1年が経過して外国人観光客の回復は見られるものの、日帰り客の増加に伴う客単価の低下等、不安要素が残されている。

今回の調査では、外国人観光客の回復や新名所オープンによる相乗効果などから、観光関連の増加が牽引役となり全業種での企業景気DIは改善した。しかし、震災の時期との比較のため反動増が含まれていることに加え、「外国企業との競争の激化」、「単価の下落」、「電力供給不安」といった円高、デフレ、電力問題等の不安材料が依然払拭されておらず、景況感の大幅な回復には至っていない。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中9業種であり、いずれも低下した業種は1業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
西陣	37.5 ( △ 2.1 )	33.3 ( △ 5.0 )	37.5 ( △ 10.2 )
染色	47.1 ( △ 12.3 )	44.1 ( △ 11.3 )	42.4 ( △ 15.8 )
印刷	57.4 ( △ 17.7 )	48.1 ( △ 5.0 )	50.0 ( △ 12.1 )
窯業	46.9 ( △ 10.1 )	36.7 ( △ 3.4 )	43.8 ( △ 4.3 )
その他の製造	42.9 ( △ 11.9 )	44.0 ( △ 11.5 )	35.7 ( △ 12.6 )
卸売	37.1 ( △ 2.9 )	36.8 ( △ 2.5 )	37.7 ( △ 5.9 )
小売	35.3 ( △ 7.6 )	40.7 ( △ 15.2 )	37.3 ( △ 20.6 )
飲食・宿泊	51.6 ( △ 17.3 )	48.1 ( △ 18.5 )	41.4 ( △ 7.6 )
サービス	48.2 ( △ 9.6 )	45.0 ( △ 8.0 )	47.0 ( △ 7.8 )
<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
機械	37.5 ( ▼ 12.5 )	42.9 ( ▼ 10.8 )	28.6 ( ▼ 12.1 )

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

## (2) 来期見通し 平成 24 年 7 月～9 月期

来期（平成 24 年 7 月～9 月期）の全業種の DI は、企業景気 DI が 40.0 となり、今期と比較し 2.2 ポイントの低下となった。生産加工量・販売量 DI は 39.9 で同 2.4 ポイントの低下、経常利益 DI は 37.4 で同 1.8 ポイントの低下となった。

### ・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	40.0 ( ▼ 2.2 )	39.9 ( ▼ 2.4 )	37.4 ( ▼ 1.8 )
( 製造業 )	39.8 ( ▼ 3.5 )	39.4 ( ▼ 3.1 )	36.9 ( ▼ 2.0 )
( 非製造業 )	40.3 ( ▼ 0.8 )	40.4 ( ▼ 1.7 )	37.9 ( ▼ 1.5 )

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。▼は低下を示す。）

企業景気 DI の来期見通しは、製造業、非製造業ともに低下した。

製造業では、「宗教用の織物で需要は底堅く受注は安定」（上京区／西陣）、「法衣の需要安定から比較的安定」（上京区／西陣）といった堅実基盤に支えられて受注が安定していることなどから西陣の企業景気 DI が上昇した。また、「市況回復が見込まれる」（中京区／化学）、「昨年は東日本大震災の影響で大きくダウンしたが戻りつつある」（南区／化学）、「時流に乗っている業界で見通しよい」（伏見区／機械）、「生産のしくみを変えたことで販売量増加」（南区／機械）といった市況回復や成長業界との接点を持つ企業の業況改善や一部企業の自助努力などから、化学、機械の企業景気 DI が上昇した。

一方、「売上不振、販売価格安」（上京区／印刷）、「売上不振」（南区／窯業）、「取引先の生産調整等で厳しい状況から脱せない」（伏見区／金属）、「円高の影響大」（右京区／その他製造業）といった景気低迷や円高による受注減を懸念して、印刷、窯業、金属、その他製造業の企業景気 DI が低下した。また、地場産業の染色については「業界の不況、きもの離れ」（右京区／染色）、「受注減少、得意先が高齢化で廃業」（中京区／染色）、「業界的に下向き」（中京区／染色）といった、需要低迷や和装業界の不振等により好材料が見当たらないとする声が多く、企業景気 DI は低下し、製造業全体でも景況感が悪化した。

非製造業においては、「節電への関心の高まりで受注が活発化」（右京区／建設）、「新サービスの提供等で売上が増加」（下京区／情報通信）といった太陽光パネル等の時流商材や新サービスの開始により改善が見込まれ、建設、情報通信で企業景気 DI は上昇した。また、「景気回復の見込み」（中京区／卸売）、「インターネット販売が好調」（下京区／小売）など、卸売、小売の企業景気 DI も上昇した。

一方、「飲食業界全体が低迷し、特に個人経営は厳しい状況」（北区／飲食・宿泊）、「他社との競合もあり、今後の業況に不安を感じる」（上京区／サービス）といった市況低迷や競合激化により先行きの見通しは厳しいとして、飲食・宿泊、サービスの企業景気 DI が低下し、非製造業全体でも 0.8 ポイント下降している。

なお、観光関連では、外国人観光客の増加も聞かれたが、国内を含めた個人消費は依然低迷しており、企業景気 DI は 15.0 ポイントと大幅に低下している。

国内経済においては、震災復興関連の需要が徐々に強まっていくにつれて期待感が膨らんでおり、また、エコカー補助金などの政策効果も引き続き期待される一方で、欧州政府債務危機問題への不透明感やこれを背景とした海外景気の減速や円高、節電要請や原油価格の高騰等が回復の妨げとなり、景気回復が足踏み状態となる恐れが依然残されている。

市内中小企業においては、製造業、非製造業ともに企業景気 DI は低下した。積極的な設備投資や安定した顧客の確保、自社開発製品の投入などによる自助努力に加え、震災の影響が和らいで回復に期待感を寄せる企業もあり、景況感の改善を予測する声も聞かれる。しかしながら、競争激化、コストダウン要請といった不安要素に加え、円高や電力供給問題などへの不安感から本格的な景気回復への足取りは重い。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は14業種中4業種、いずれも低下と予測している業種は7業種となった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
西陣	43.5	( △ 6.0 )	34.8	( △ 1.5 )	39.1	( △ 1.6 )
化学	50.0	( △ 5.9 )	53.1	( △ 6.2 )	46.9	( △ 3.1 )
卸売	37.5	( △ 0.4 )	39.1	( △ 2.3 )	40.2	( △ 2.5 )
建設	37.5	( △ 7.8 )	35.0	( △ 4.4 )	30.9	( △ 5.2 )

<3指標低下業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
染色	32.4	( ▼ 14.7 )	32.4	( ▼ 11.7 )	28.8	( ▼ 13.6 )
印刷	51.9	( ▼ 5.5 )	46.3	( ▼ 1.8 )	48.1	( ▼ 1.9 )
窯業	31.3	( ▼ 15.6 )	30.0	( ▼ 6.7 )	37.5	( ▼ 6.3 )
金属	31.3	( ▼ 2.7 )	33.3	( ▼ 4.7 )	37.5	( ▼ 2.5 )
その他の製造	39.0	( ▼ 3.9 )	41.0	( ▼ 3.0 )	34.3	( ▼ 1.4 )
飲食・宿泊	43.3	( ▼ 8.3 )	40.0	( ▼ 8.1 )	39.3	( ▼ 2.1 )
サービス	40.9	( ▼ 7.3 )	38.8	( ▼ 6.2 )	37.8	( ▼ 9.2 )

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標DI業種別推移（前期／今期／来期見通し）

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	36.5	<b>42.2</b>	40.0	35.3	<b>42.3</b>	39.9	31.5	<b>39.2</b>	37.4
製造業	37.3	<b>43.3</b>	39.8	37.3	<b>42.5</b>	39.4	32.3	<b>38.9</b>	36.9
非製造業	35.8	<b>41.1</b>	40.3	33.0	<b>42.1</b>	40.4	30.5	<b>39.4</b>	37.9

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	37.3	<b>43.3</b>	39.8	37.3	<b>42.5</b>	39.4	32.3	<b>38.9</b>	36.9
西陣	35.4	<b>37.5</b>	43.5	28.3	<b>33.3</b>	34.8	27.3	<b>37.5</b>	39.1
染色	34.8	<b>47.1</b>	32.4	32.8	<b>44.1</b>	32.4	26.6	<b>42.4</b>	28.8
印刷	39.7	<b>57.4</b>	51.9	43.1	<b>48.1</b>	46.3	37.9	<b>50.0</b>	48.1
窯業	36.8	<b>46.9</b>	31.3	33.3	<b>36.7</b>	30.0	39.5	<b>43.8</b>	37.5
化学	42.5	<b>44.1</b>	50.0	42.1	<b>46.9</b>	53.1	50.0	<b>43.8</b>	46.9
金属	42.0	<b>34.0</b>	31.3	41.7	<b>38.0</b>	33.3	38.0	<b>40.0</b>	37.5
機械	50.0	<b>37.5</b>	42.6	53.7	<b>42.9</b>	42.6	40.7	<b>28.6</b>	35.2
その他の製造	31.0	<b>42.9</b>	39.0	32.5	<b>44.0</b>	41.0	23.1	<b>35.7</b>	34.3
非製造業	35.8	<b>41.1</b>	40.3	33.0	<b>42.1</b>	40.4	30.5	<b>39.4</b>	37.9
卸売	34.2	<b>37.1</b>	37.5	34.3	<b>36.8</b>	39.1	31.8	<b>37.7</b>	40.2
小売	27.7	<b>35.3</b>	37.3	25.5	<b>40.7</b>	39.0	16.7	<b>37.3</b>	34.9
情報通信	54.2	<b>51.9</b>	52.0	52.3	<b>60.0</b>	56.3	38.6	<b>50.0</b>	47.9
飲食・宿泊	34.3	<b>51.6</b>	43.3	29.6	<b>48.1</b>	40.0	33.8	<b>41.4</b>	39.3
サービス	38.6	<b>48.2</b>	40.9	37.0	<b>45.0</b>	38.8	39.2	<b>47.0</b>	37.8
建設	36.4	<b>29.7</b>	37.5	30.3	<b>30.6</b>	35.0	31.3	<b>25.7</b>	30.9
観光関連企業	33.7	<b>65.0</b>	50.0	30.0	<b>61.1</b>	47.1	27.6	<b>60.3</b>	46.1

・設備投資DI推移（前期／今期／来期見通し）

	設備投資DI		
	前期	今期	来期見通し
製造業	18.3	<b>14.2</b>	18.0

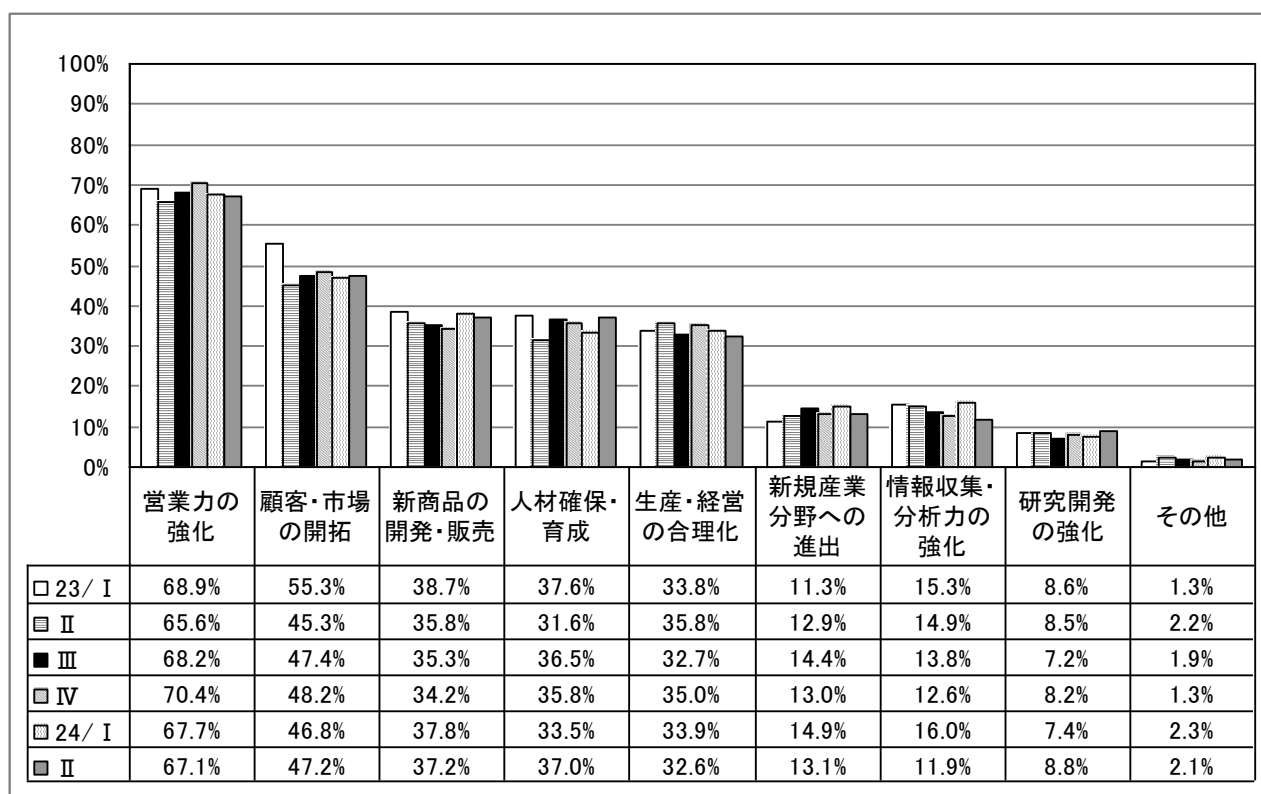
## 2. 当面の経営戦略について

### ● 「営業力の強化」を挙げる企業が67.1%で引き続きトップ。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が全体の67.1%を占め、最も多くなっている。「顧客・市場の開拓」が47.2%で続き、以下「新商品の開発・販売」37.2%、「人材確保・育成」37.0%、「生産・経営の合理化」32.6%の順となっている。

前期と比較すると、回答数上位5項目の内容に変動はなかったものの、「人材確保・育成」の上昇幅が大きくなっており、「慢性的な人手不足で営業日数を削減」（中京区／飲食・宿泊）、「業績は競合に勝てる営業担当の育成次第」（南区／情報通信）といった意見もあることから、人手不足解消や営業担当の能力による差別化を狙うといった、人材を重要視する意識が高まっている。

その他の意見としては、資金を投じて「店舗の改築」（左京区／サービス）に踏み切り、集客力アップを狙う企業や、一部には「資金確保」（伏見区／卸売）といった業容拡大のための手元資金の強化を検討している企業など、積極的な戦略の一方、「輸出見直し」（中京区／化学）といった長期的な円高による影響で戦略転換を迫られている企業も存在している。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

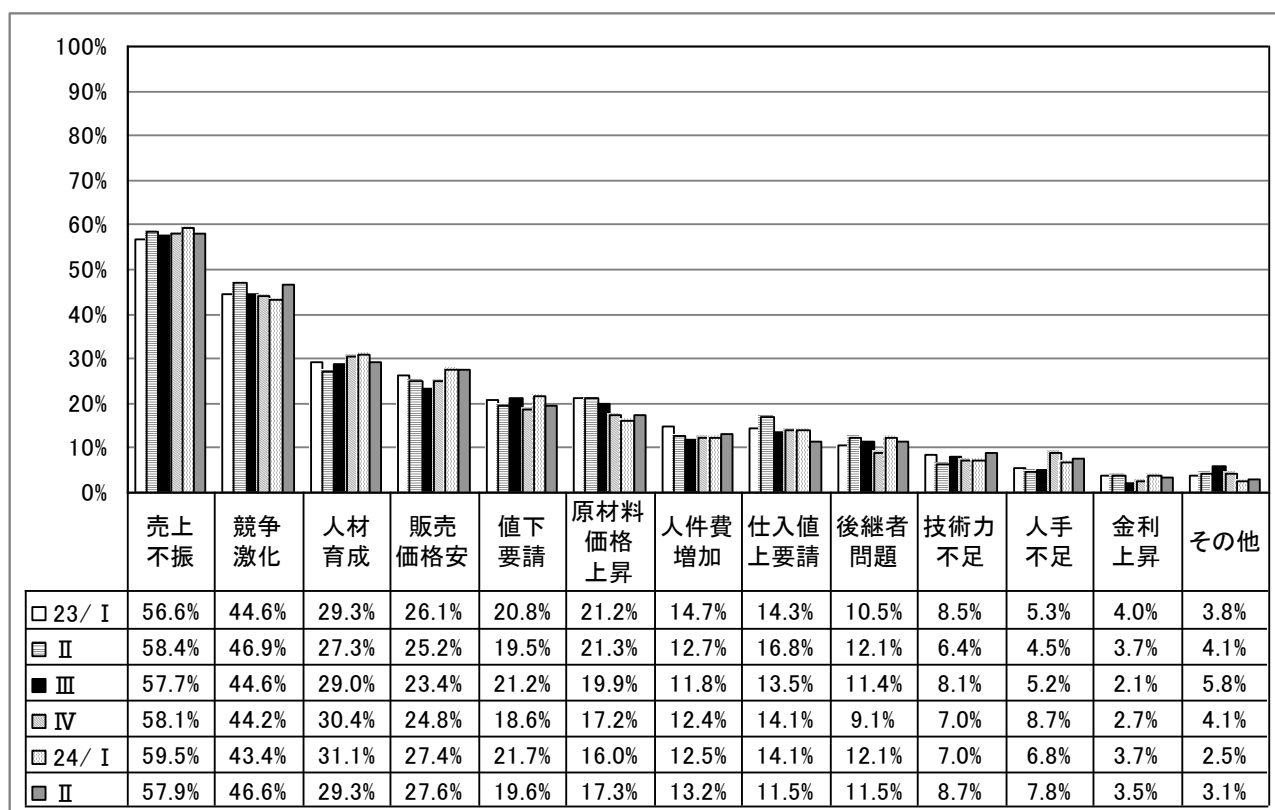
### 3. 経営上の不安要素について

- 「売上不振」を挙げる企業が57.9%で依然トップ。
- 前期との比較で最も増えたのは「競争激化」の3.2ポイント。

経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が57.9%を占めており、2位の「競争激化」46.6%を引き離して最も多くなっている。以下「人材育成」29.3%、「販売価格安」27.6%、「値下要請」19.6%の順となっている。

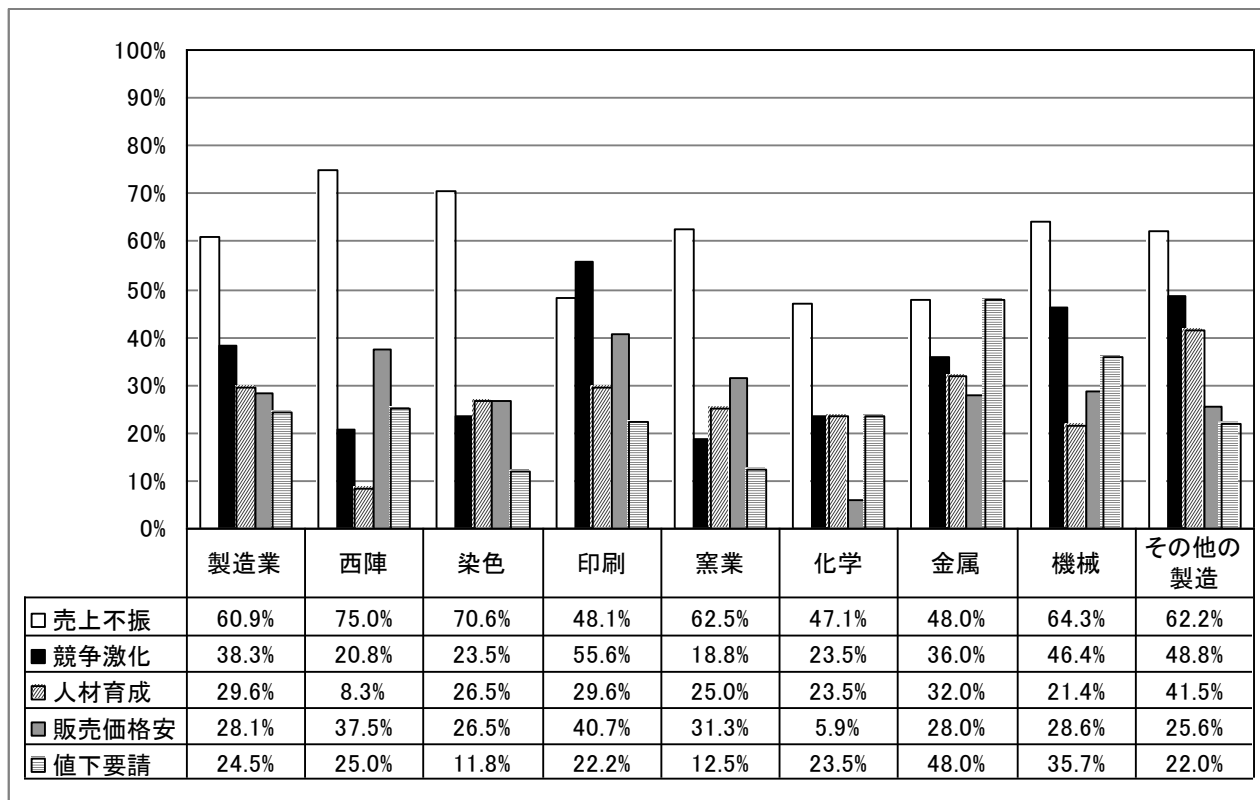
前期と比較すると、回答上位5項目の順位に変動はないが、「競争激化」の増加幅が大きくなっており、「同業他社の増加、不況による単価の低減（左京区／サービス）」「通販・ネット販売事業者の参入（右京区／小売）」「消費マインドの低下」（中京区／小売）といった同業者や新規参入者の増加に加え、消費の冷え込みによる購買力の低下等による競争激化を不安視している。

原材料価格の上昇の中では、「燃料」（南区／染色）、「紙・インク代」（左京区／印刷）、「銅」（伏見区／金属）、といった原材料の価格上昇への不安が示されている。また、その他の意見として「電力供給不安」（下京区／サービス）や、「顧客の海外生産移転」（南区／金属）といった円高による影響を懸念する意見も見受けられた。

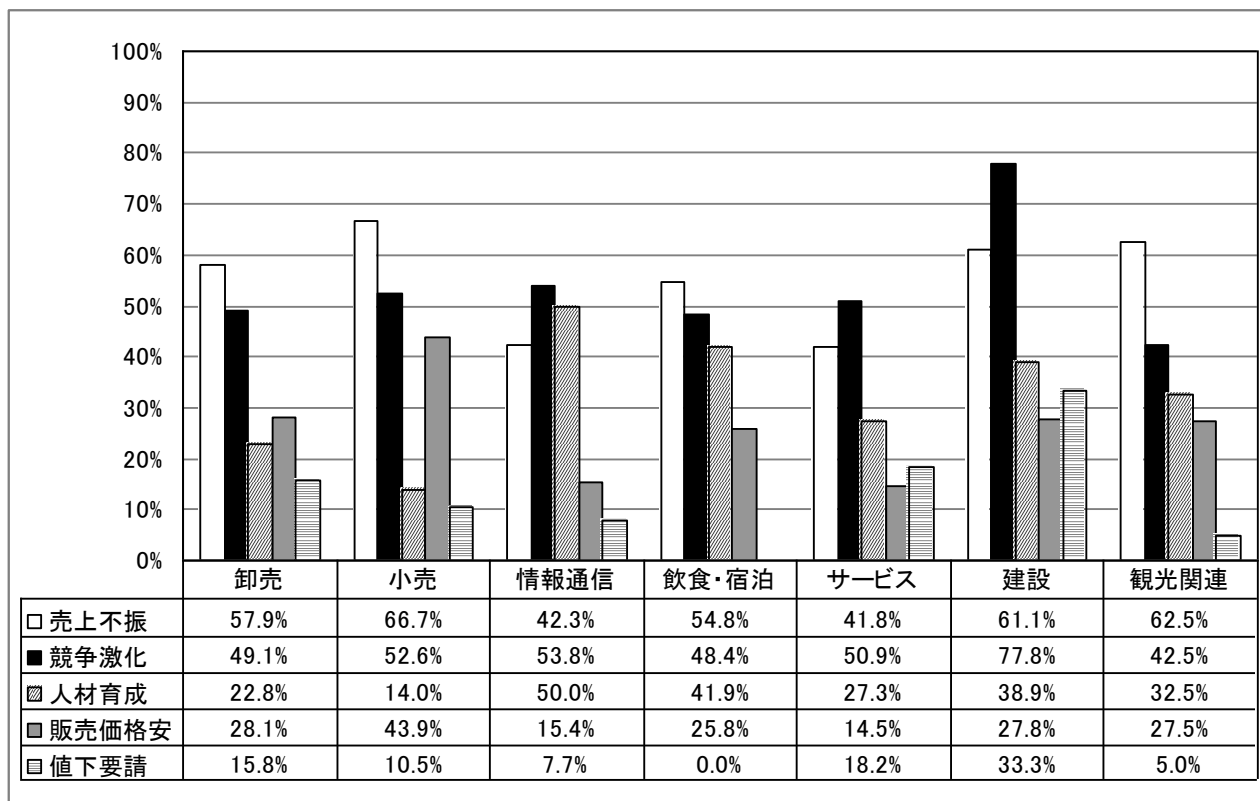


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答



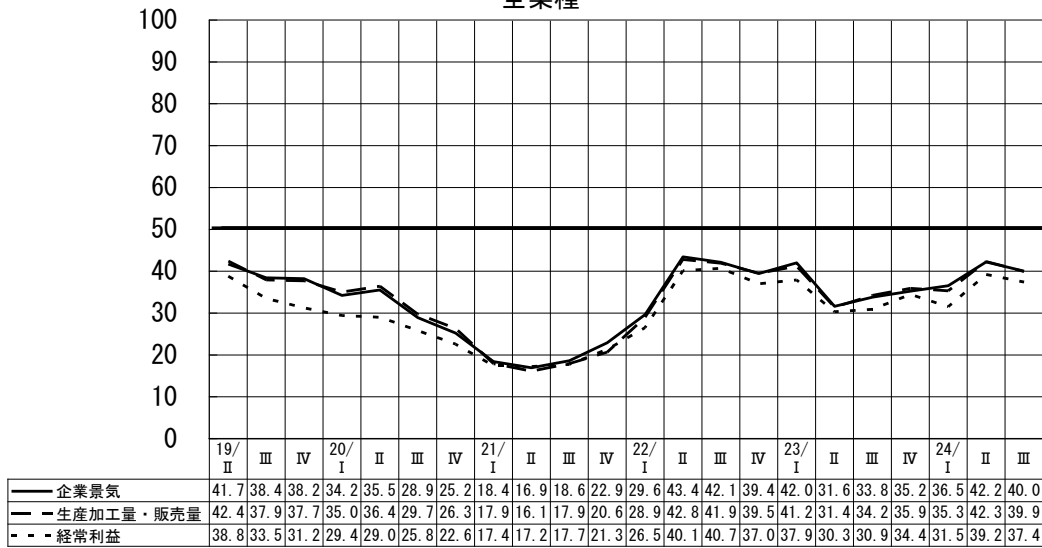
・経営上の不安要素・非製造業主要回答





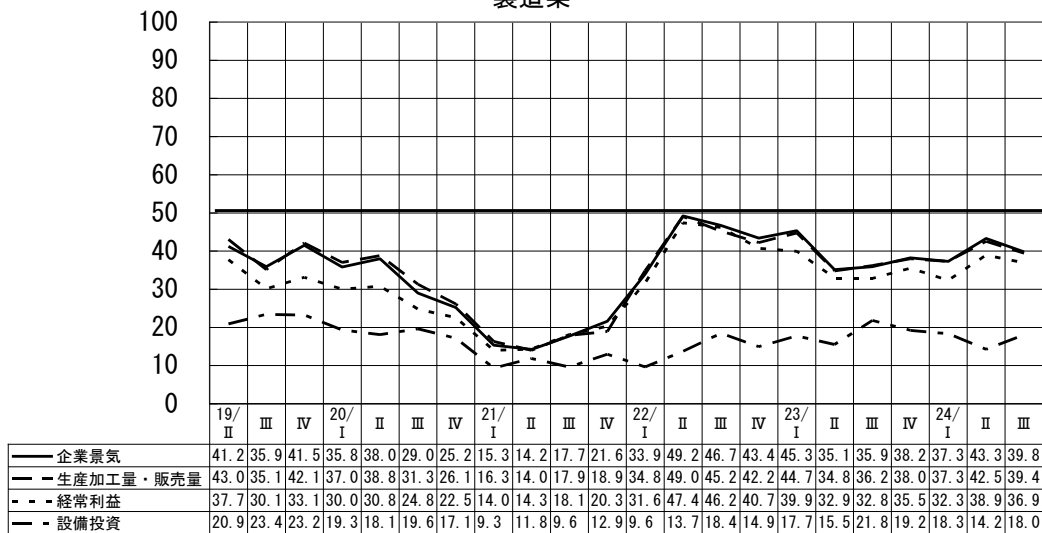
参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

全業種



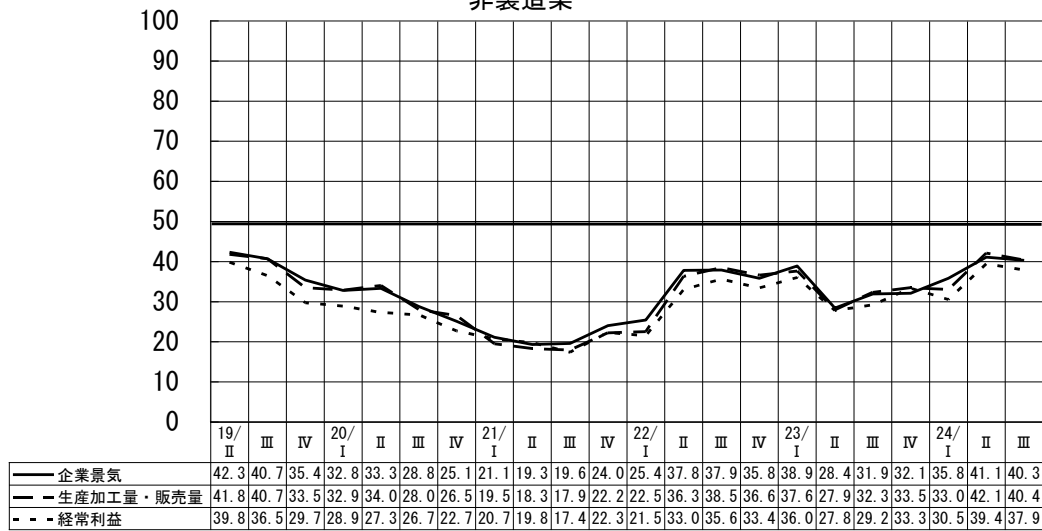
(見通し)

製造業



(見通し)

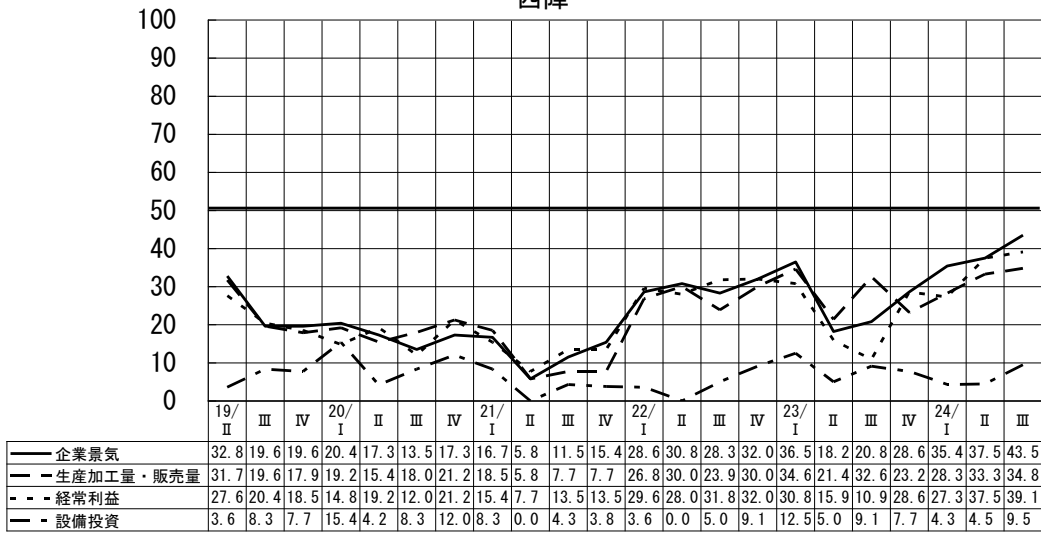
非製造業



(見通し)

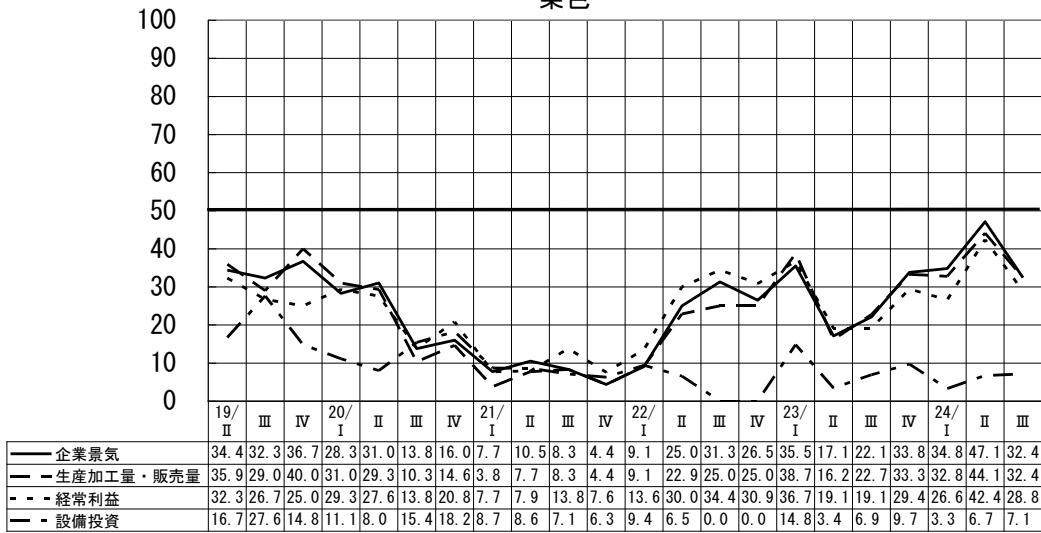
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



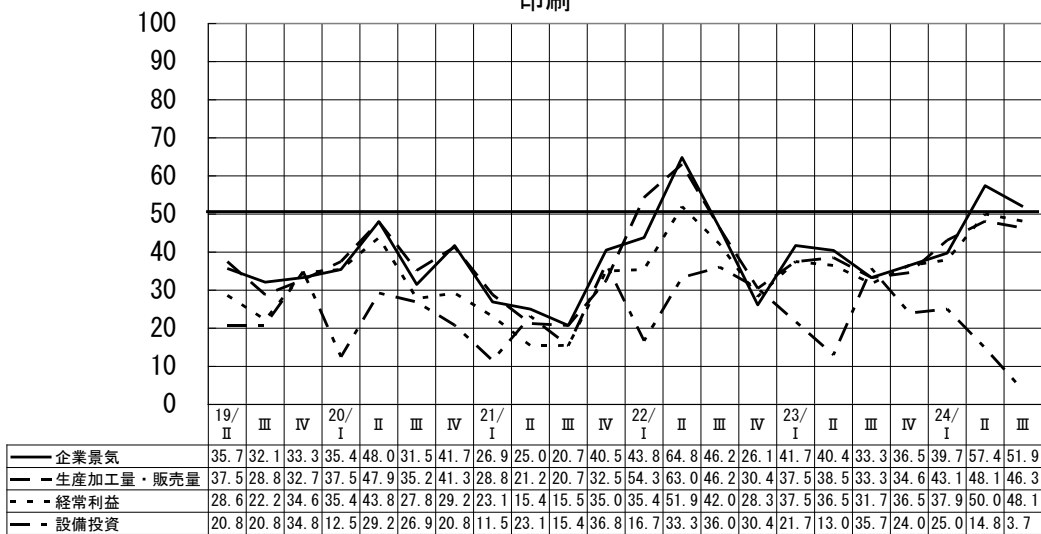
(見通し)

染色



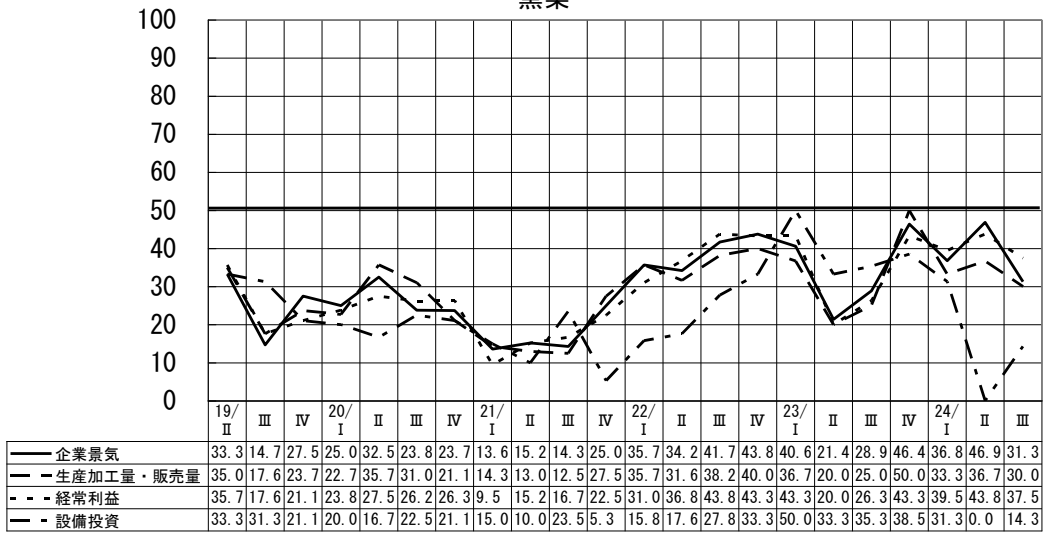
(見通し)

印刷



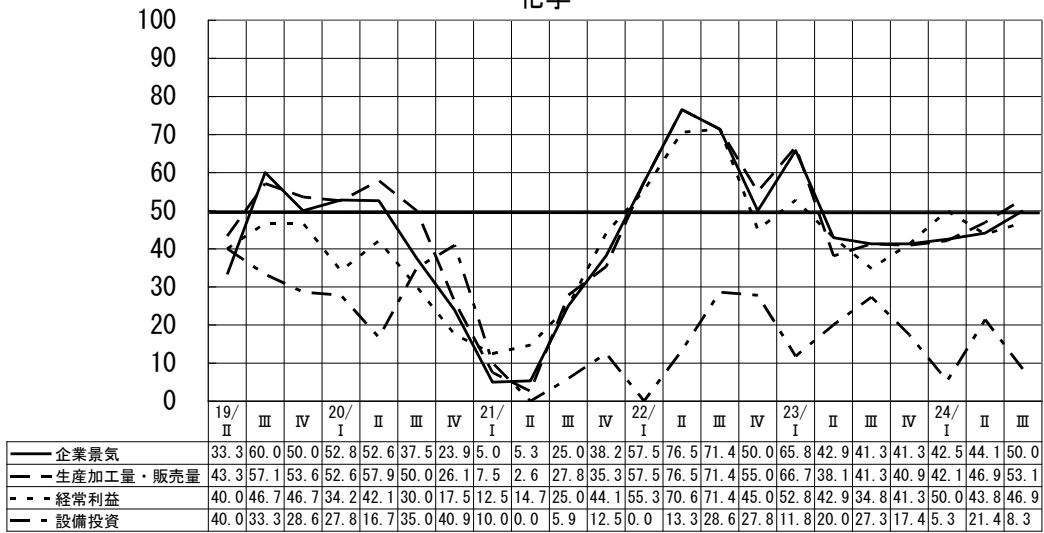
(見通し)

### 窯業



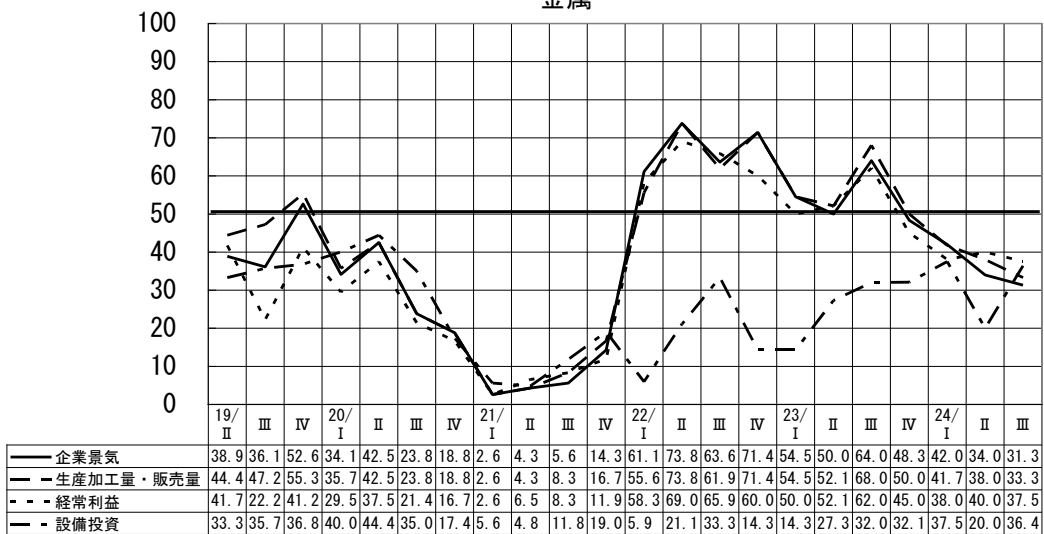
(見通し)

### 化学



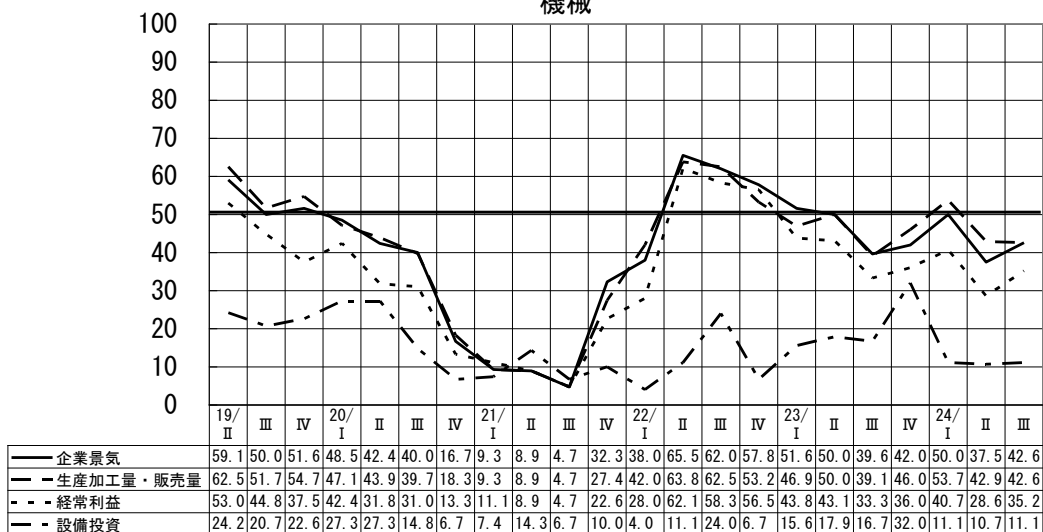
(見通し)

### 金属



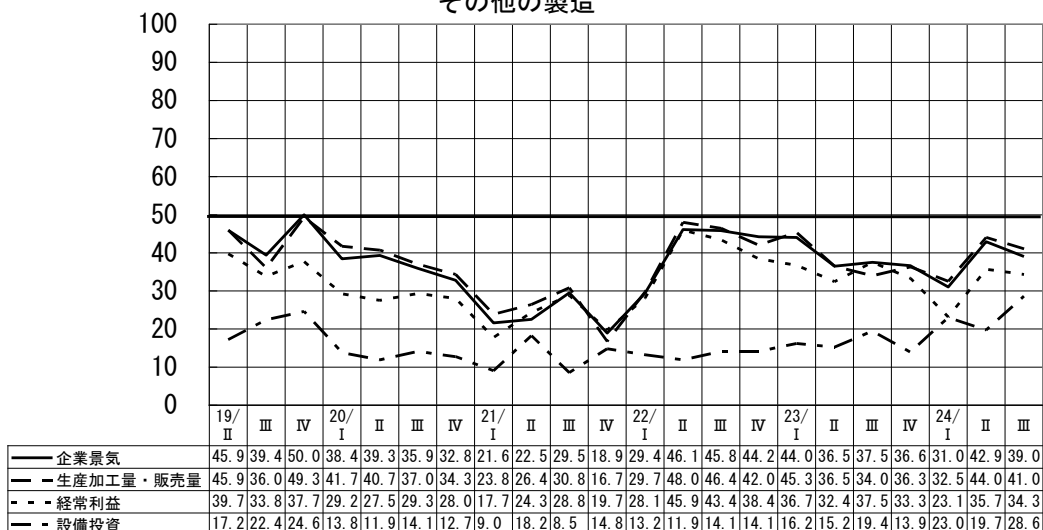
(見通し)

### 機械



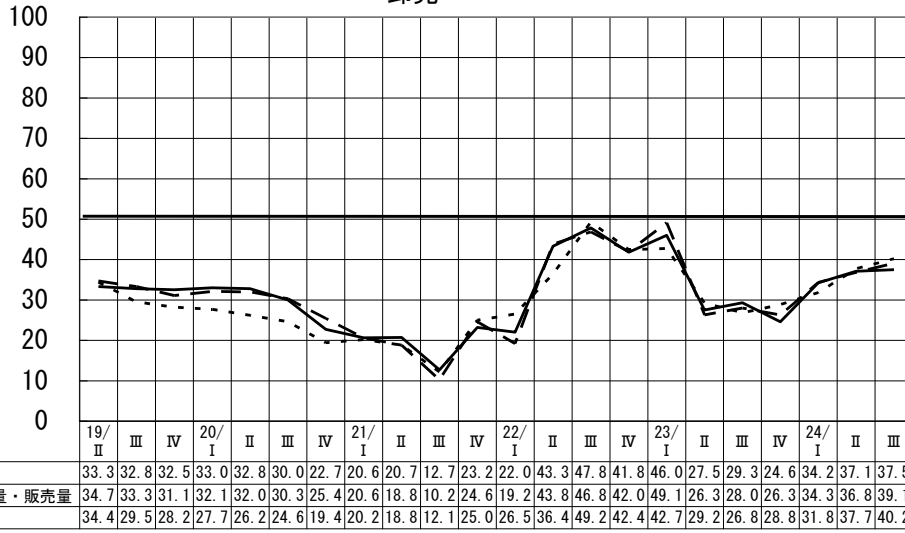
(見通し)

### その他の製造



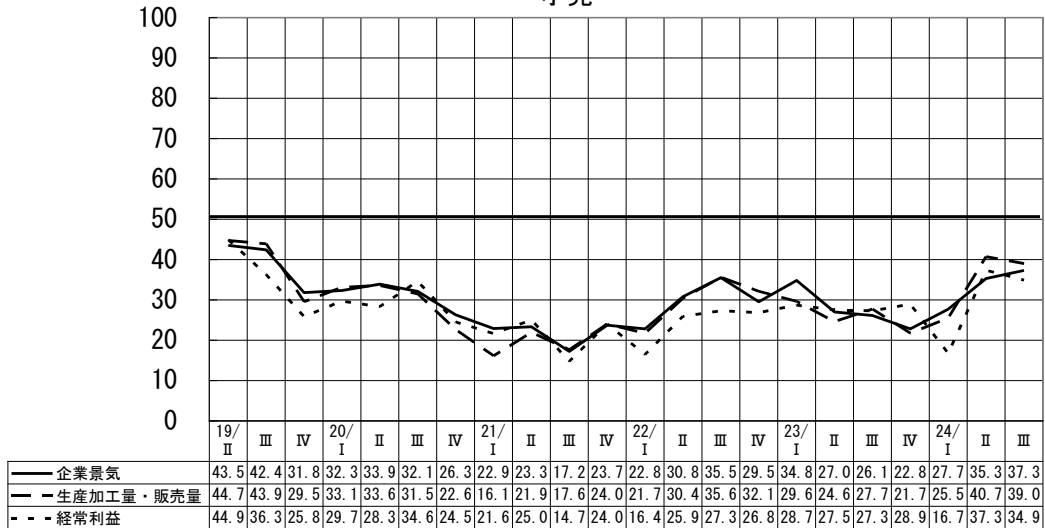
(見通し)

### 卸売



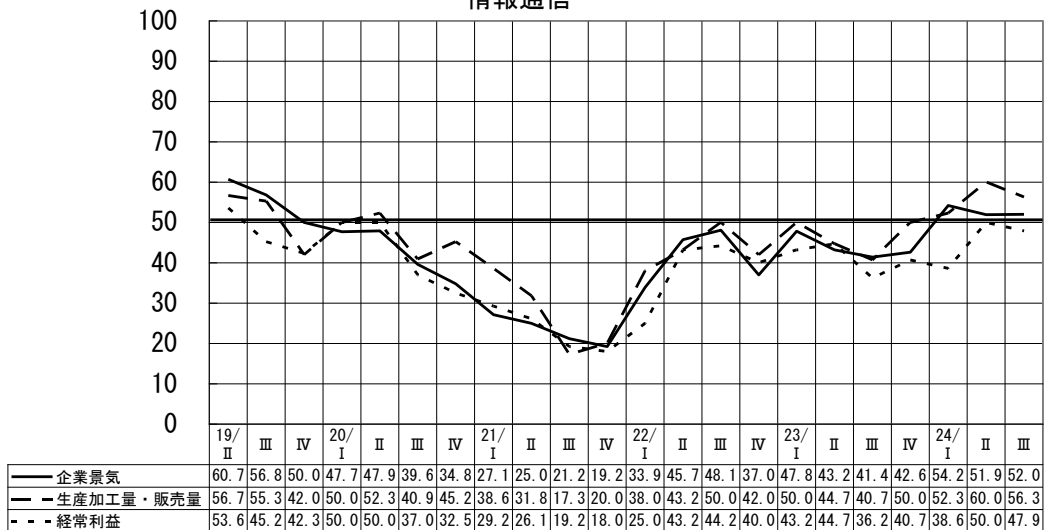
(見通し)

### 小売



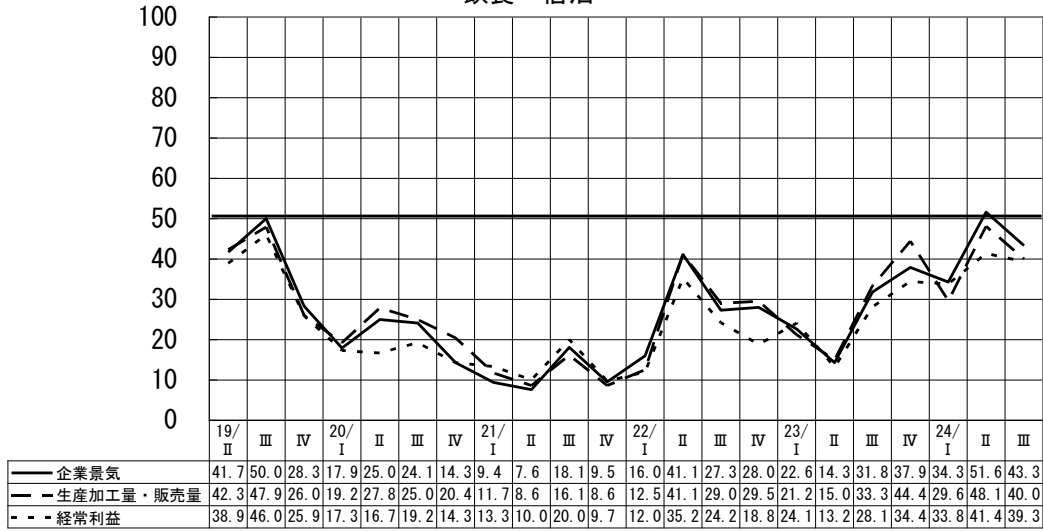
(見通し)

### 情報通信



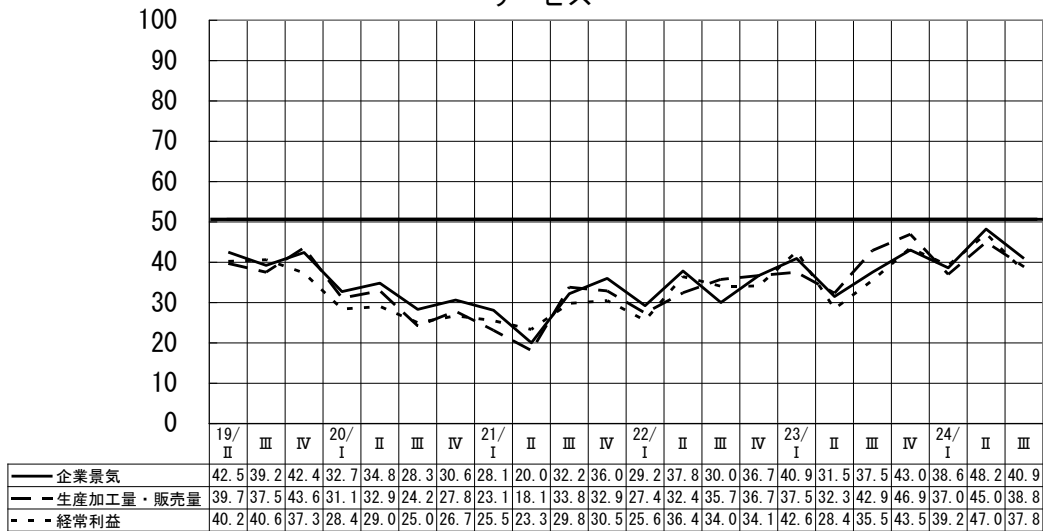
(見通し)

### 飲食・宿泊



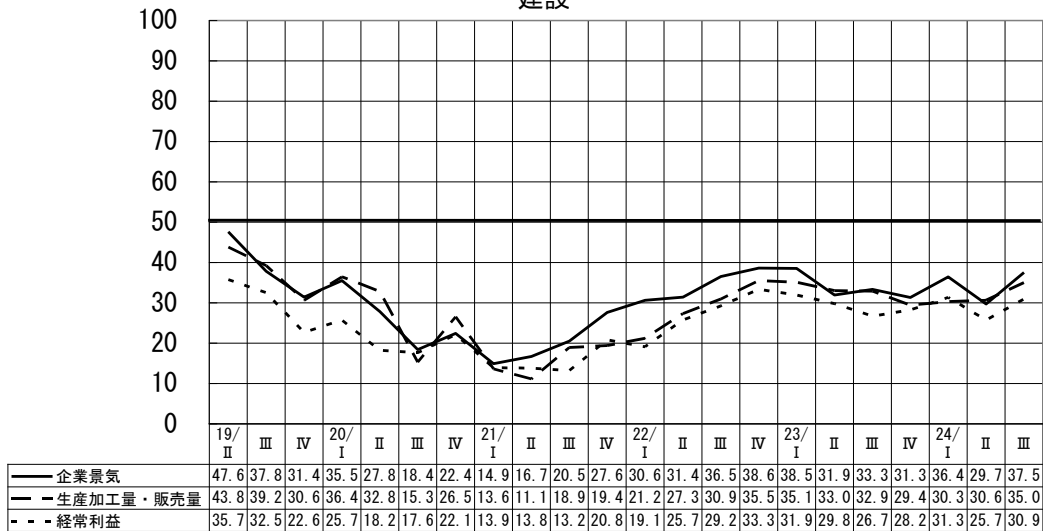
(見通し)

### サービス



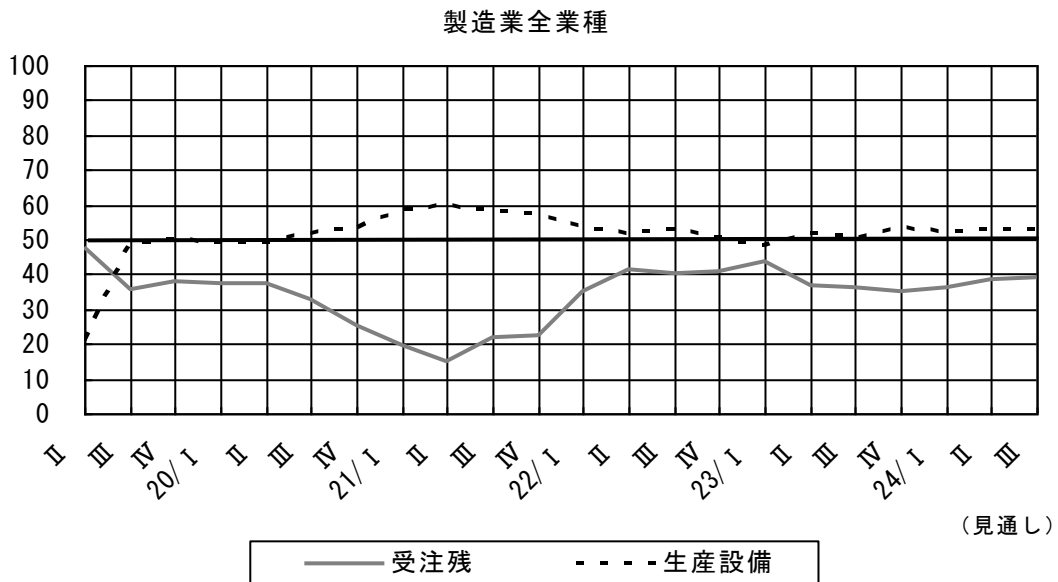
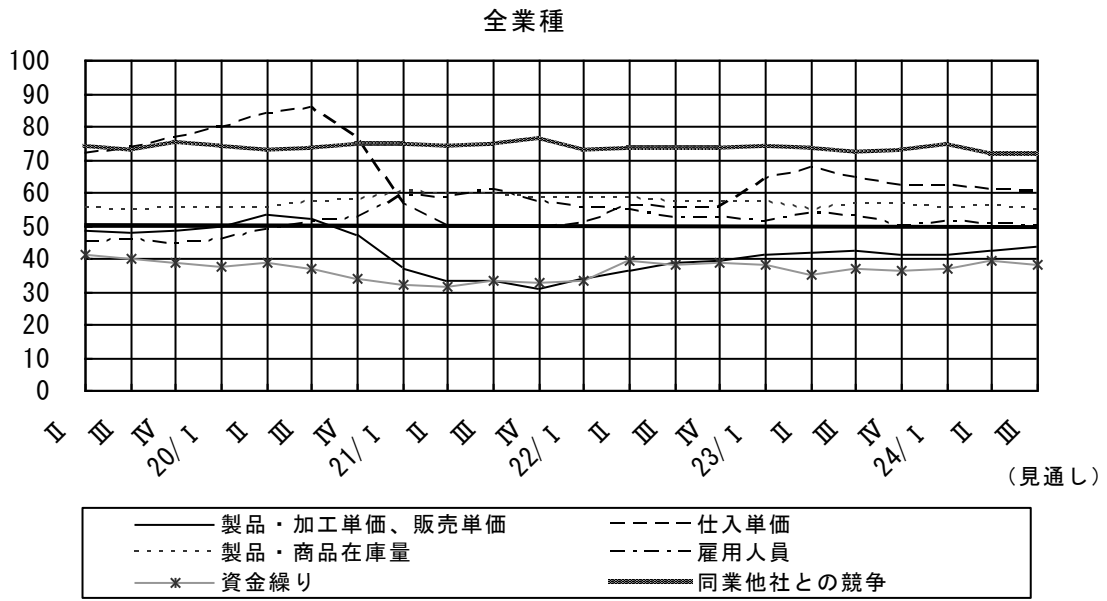
(見通し)

### 建設

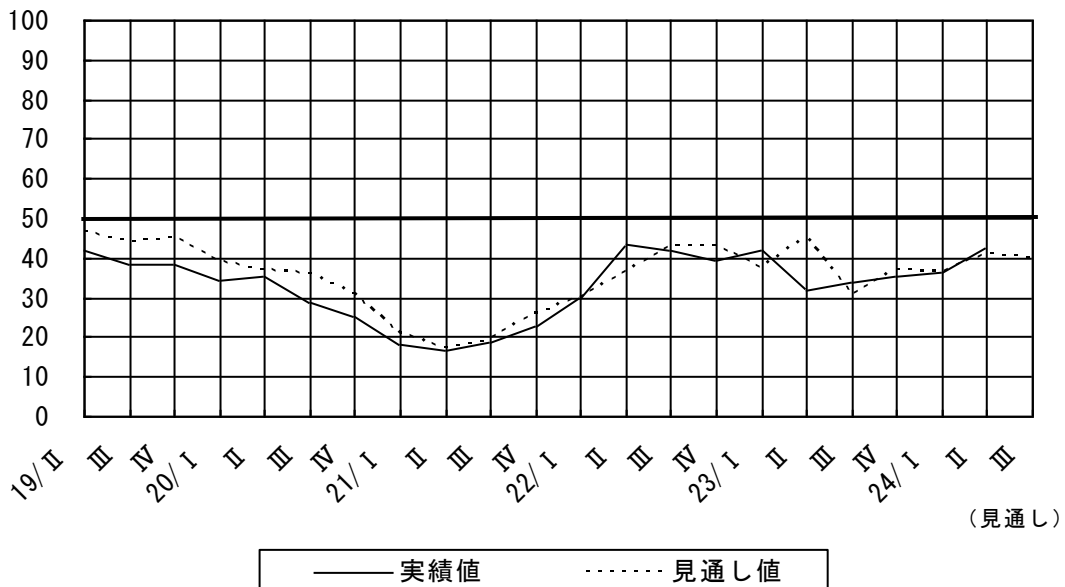


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



## 調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	16
1. 企業景気.....	16
2. 生産加工量・販売量.....	18
3. 経常利益.....	20
4. 製品・加工単価, 販売単価.....	22
5. 仕入単価.....	24
6. 製品・商品在庫量.....	26
7. 雇用人員.....	28
8. 資金繰り.....	30
9. 同業他社との競争.....	32
10. 受注残.....	34
11. 生産設備.....	35
12. 設備投資.....	36
(2) 当面の経営戦略について.....	37
(3) 経営上の不安要素について.....	46
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	56

### 注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。



(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

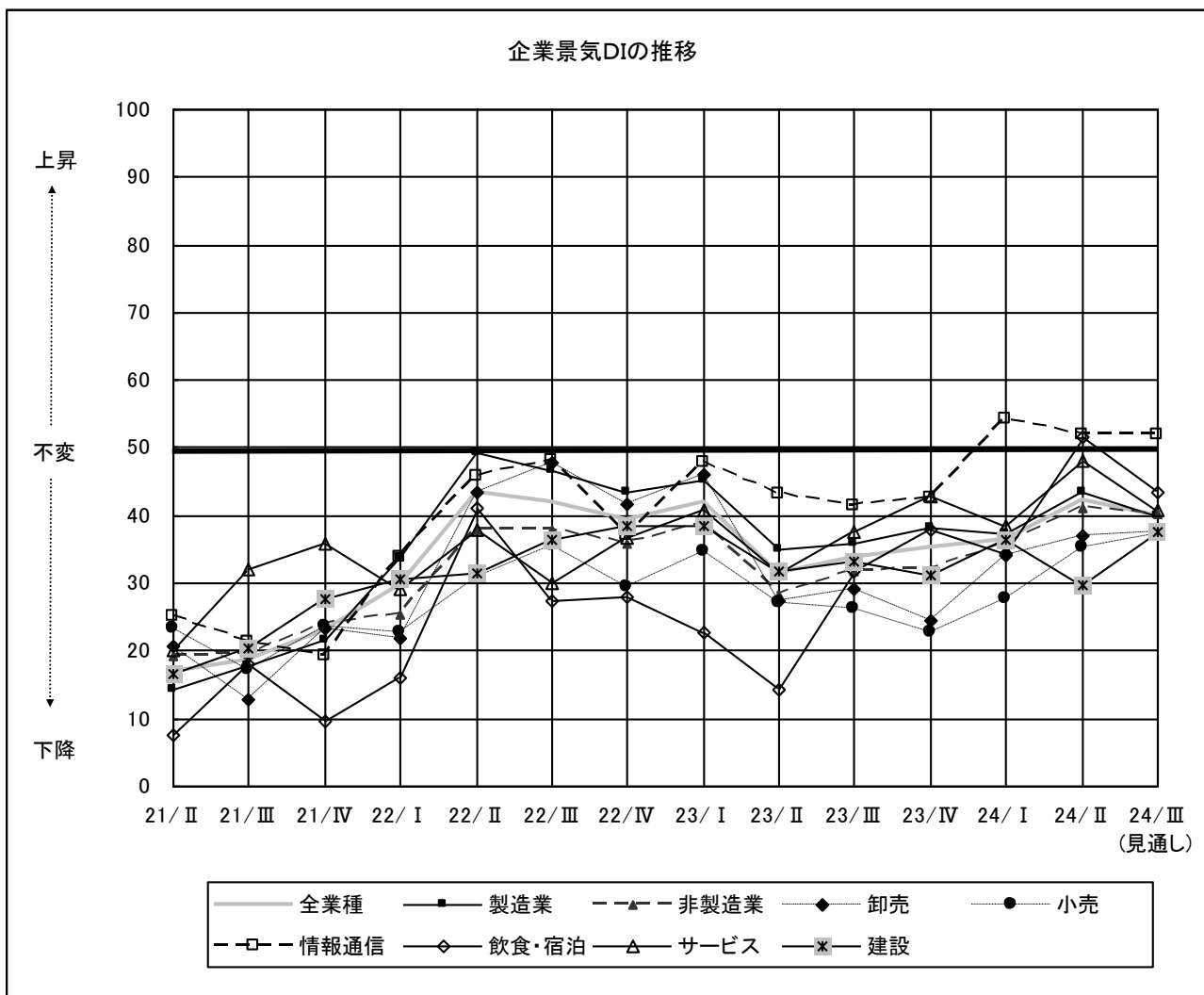


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

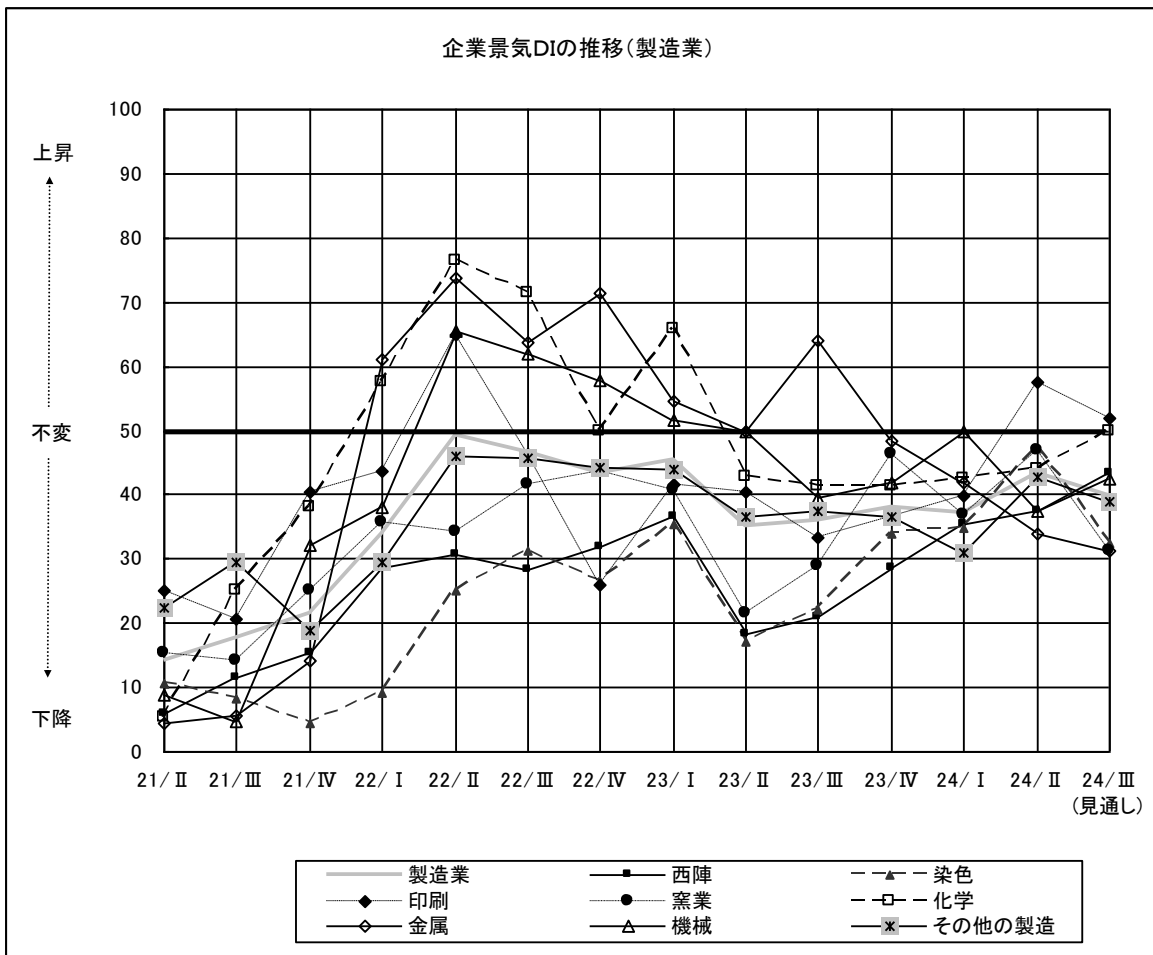


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	36.5	42.2	△ 5.7	40.0	▼ 2.2
製造業	37.3	43.3	△ 6.0	39.8	▼ 3.5
西陣	35.4	37.5	△ 2.1	43.5	△ 6.0
染色	34.8	47.1	△ 12.3	32.4	▼ 14.7
印刷	39.7	57.4	△ 17.7	51.9	▼ 5.5
窯業	36.8	46.9	△ 10.1	31.3	▼ 15.6
化学	42.5	44.1	△ 1.6	50.0	△ 5.9
金属	42.0	34.0	▼ 8.0	31.3	▼ 2.7
機械	50.0	37.5	▼ 12.5	42.6	△ 5.1
その他の製造	31.0	42.9	△ 11.9	39.0	▼ 3.9
非製造業	35.8	41.1	△ 5.3	40.3	▼ 0.8
卸売	34.2	37.1	△ 2.9	37.5	△ 0.4
小売	27.7	35.3	△ 7.6	37.3	△ 2.0
情報通信	54.2	51.9	▼ 2.3	52.0	△ 0.1
飲食・宿泊	34.3	51.6	△ 17.3	43.3	▼ 8.3
サービス	38.6	48.2	△ 9.6	40.9	▼ 7.3
建設	36.4	29.7	▼ 6.7	37.5	△ 7.8
観光関連	33.7	65.0	△ 31.3	50.0	▼ 15.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

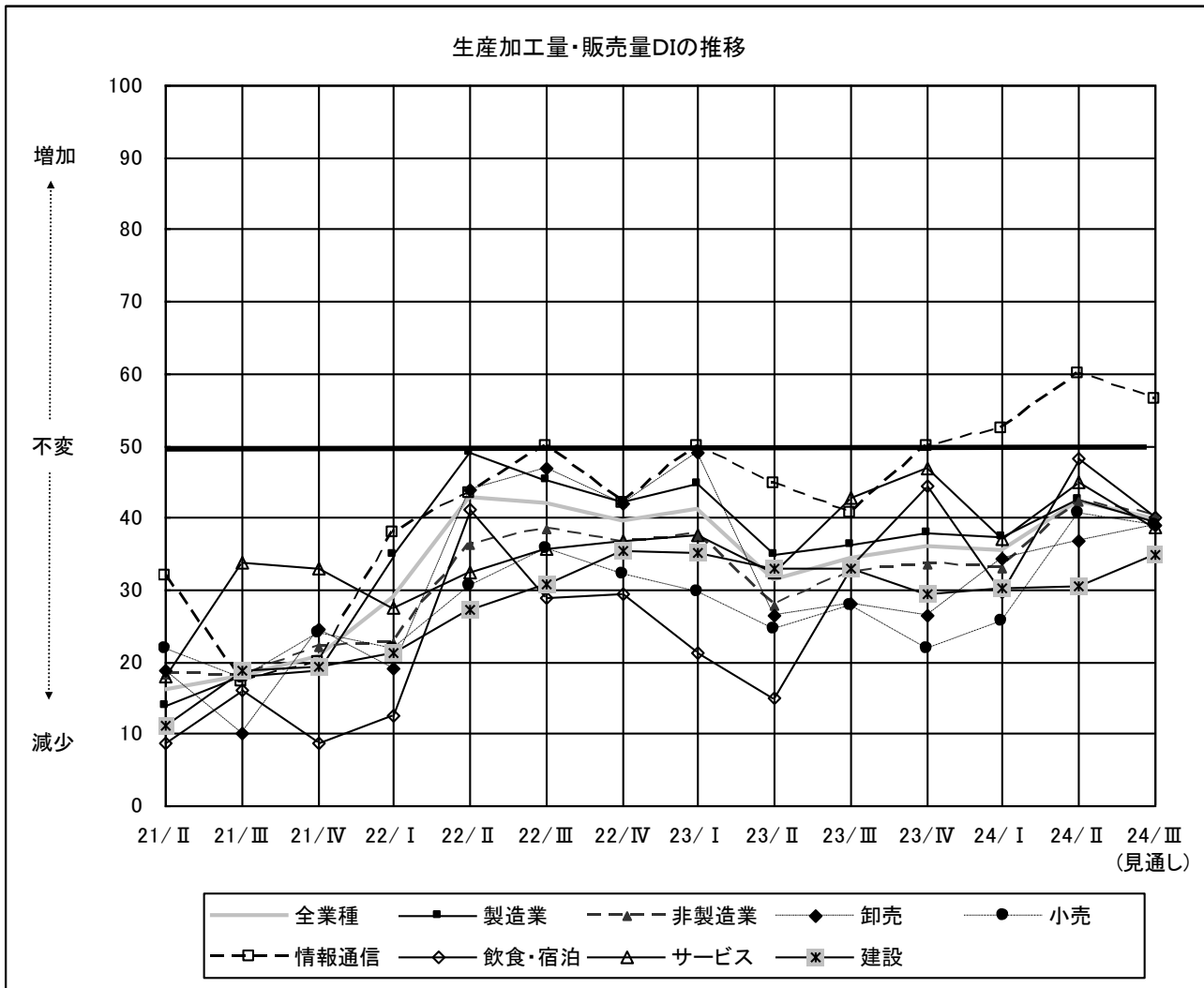


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

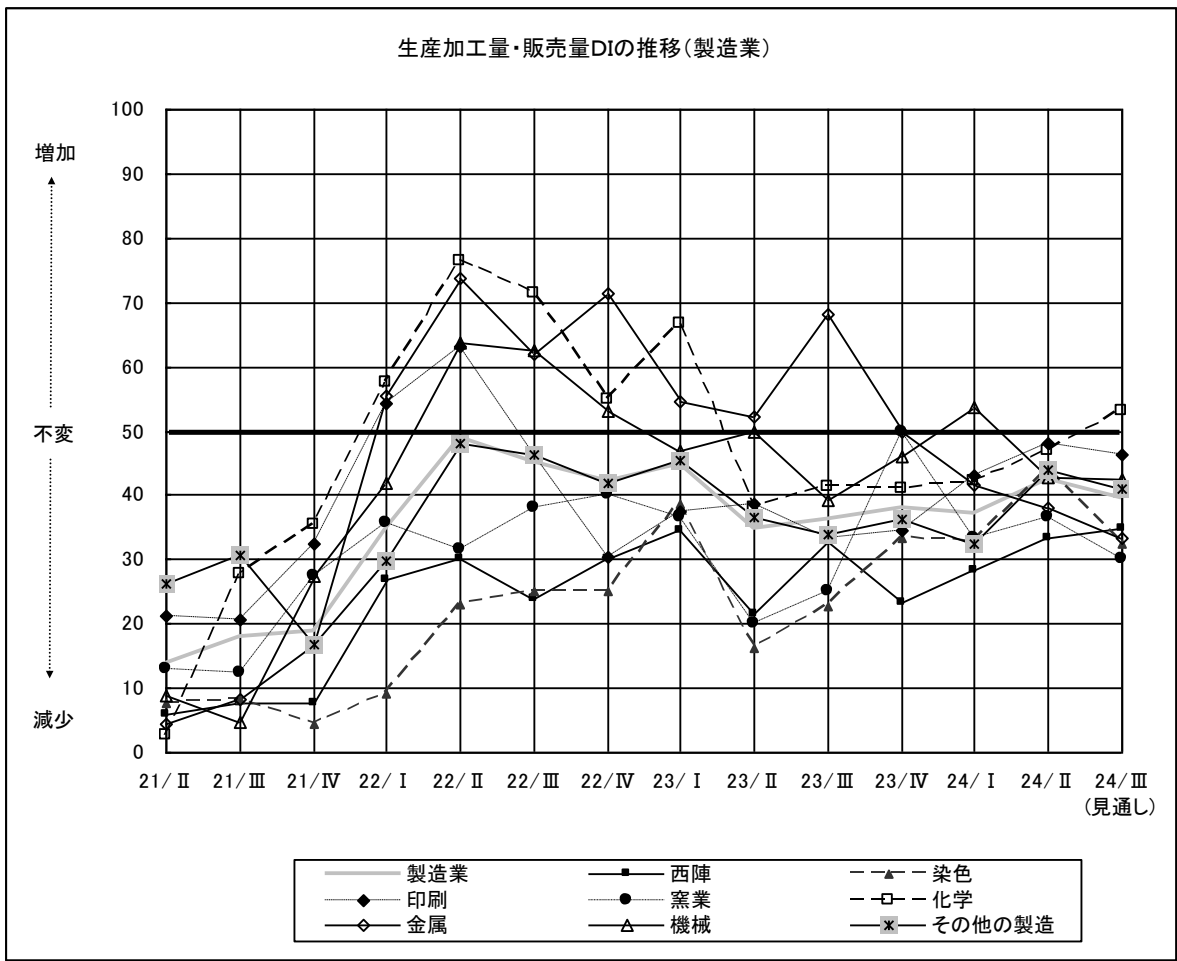


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	35.3	42.3	△ 7.0	▼ 2.4
製造業	37.3	42.5	△ 5.2	▼ 3.1
西陣	28.3	33.3	△ 5.0	△ 1.5
染色	32.8	44.1	△ 11.3	▼ 11.7
印刷	43.1	48.1	△ 5.0	▼ 1.8
窯業	33.3	36.7	△ 3.4	▼ 6.7
化学	42.1	46.9	△ 4.8	△ 6.2
金属	41.7	38.0	▼ 3.7	▼ 4.7
機械	53.7	42.9	▼ 10.8	▼ 0.3
その他の製造	32.5	44.0	△ 11.5	▼ 3.0
非製造業	33.0	42.1	△ 9.1	▼ 1.7
卸売	34.3	36.8	△ 2.5	△ 2.3
小売	25.5	40.7	△ 15.2	▼ 1.7
情報通信	52.3	60.0	△ 7.7	▼ 3.7
飲食・宿泊	29.6	48.1	△ 18.5	▼ 8.1
サービス	37.0	45.0	△ 8.0	▼ 6.2
建設	30.3	30.6	△ 0.3	△ 4.4
観光関連	30.0	61.1	△ 31.1	▼ 14.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

### 3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移 (全体)

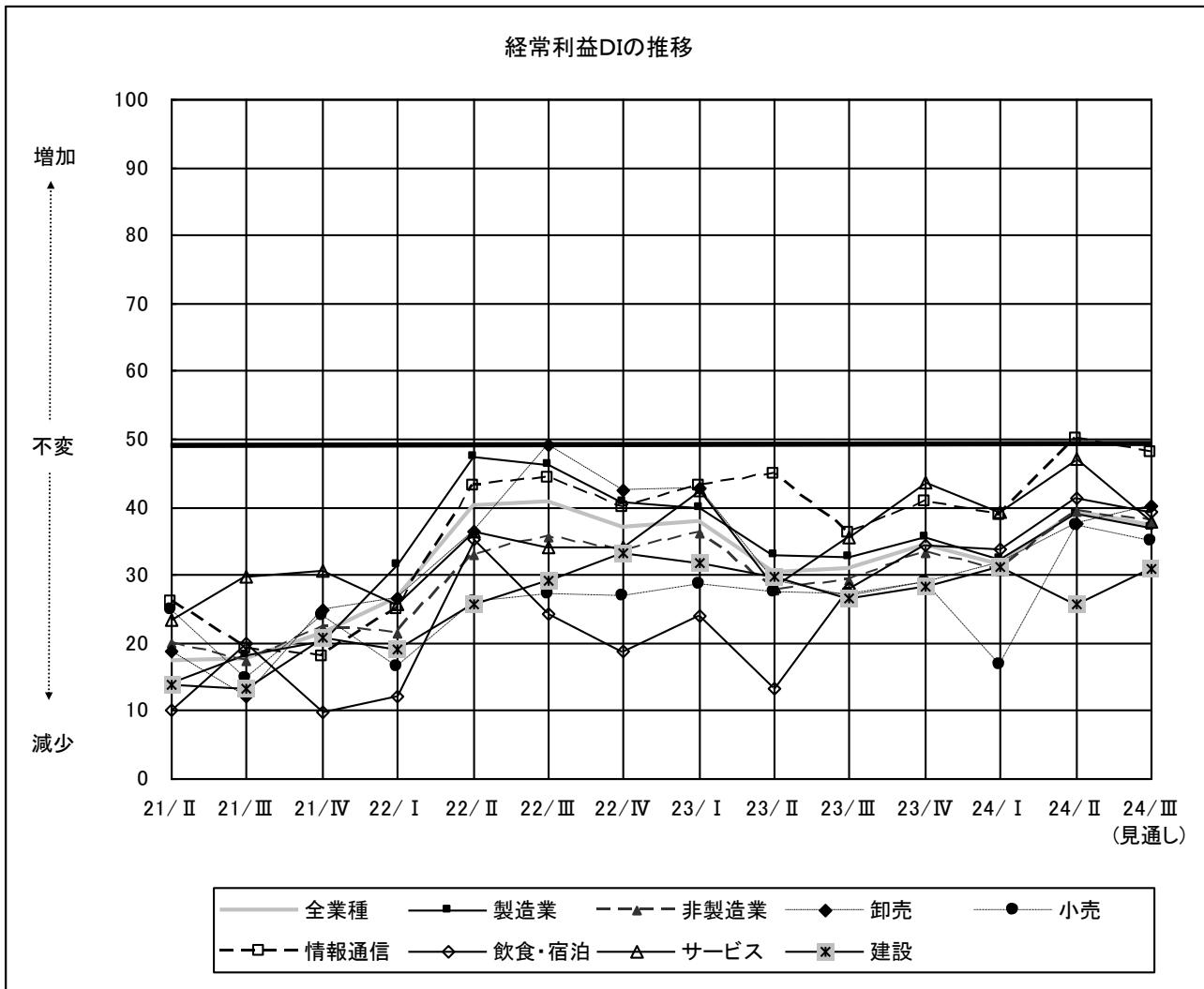


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

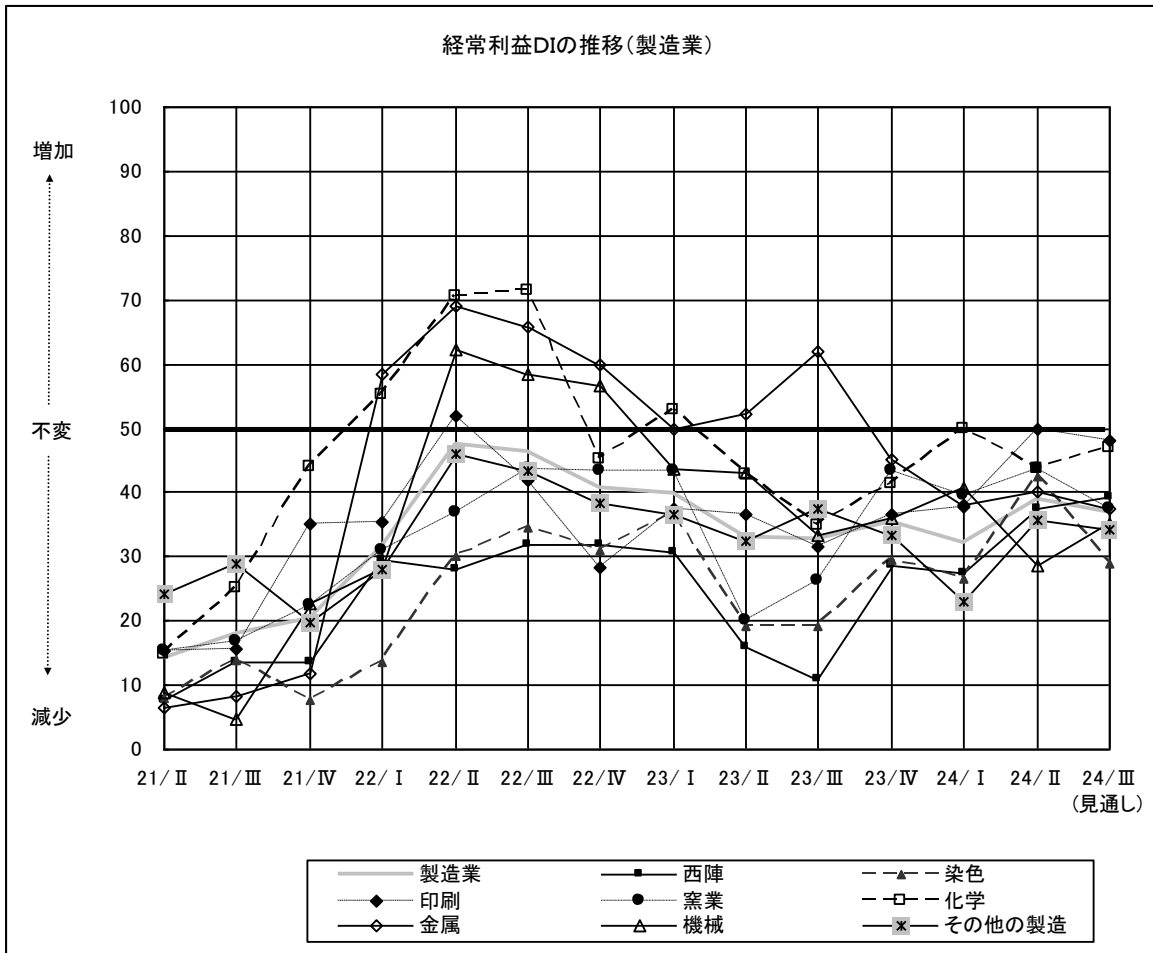


表3. 経常利益DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	31.5	39.2	△ 7.7	▼ 1.8
製造業	32.3	38.9	△ 6.6	▼ 2.0
西陣	27.3	37.5	△ 10.2	△ 1.6
染色	26.6	42.4	△ 15.8	▼ 13.6
印刷	37.9	50.0	△ 12.1	▼ 1.9
窯業	39.5	43.8	△ 4.3	▼ 6.3
化学	50.0	43.8	▼ 6.2	△ 3.1
金属	38.0	40.0	△ 2.0	▼ 2.5
機械	40.7	28.6	▼ 12.1	△ 6.6
その他の製造	23.1	35.7	△ 12.6	▼ 1.4
非製造業	30.5	39.4	△ 8.9	▼ 1.5
卸売	31.8	37.7	△ 5.9	△ 2.5
小売	16.7	37.3	△ 20.6	▼ 2.4
情報通信	38.6	50.0	△ 11.4	▼ 2.1
飲食・宿泊	33.8	41.4	△ 7.6	▼ 2.1
サービス	39.2	47.0	△ 7.8	▼ 9.2
建設	31.3	25.7	▼ 5.6	△ 5.2
観光関連	27.6	60.3	△ 32.7	▼ 14.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

#### 4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

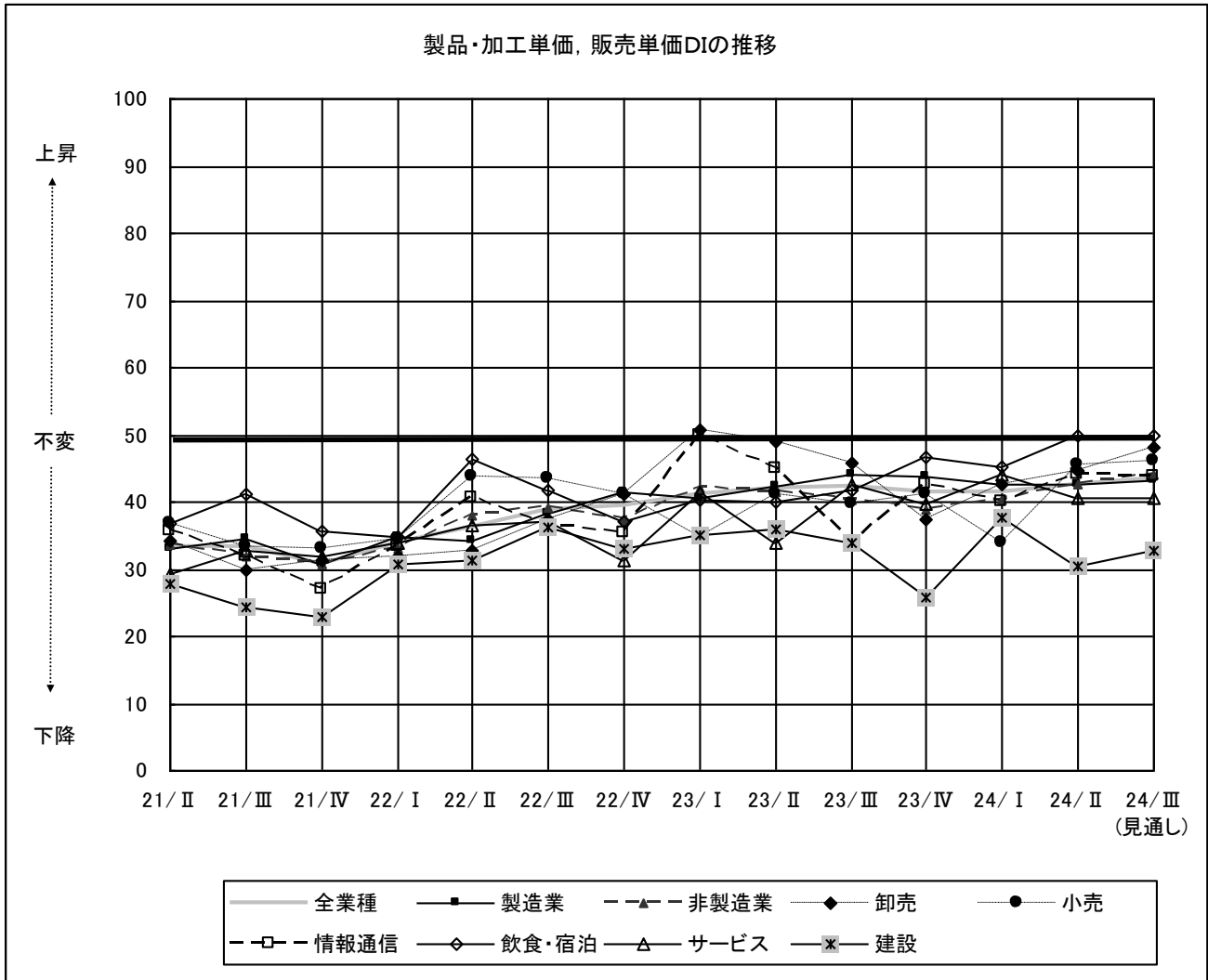


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

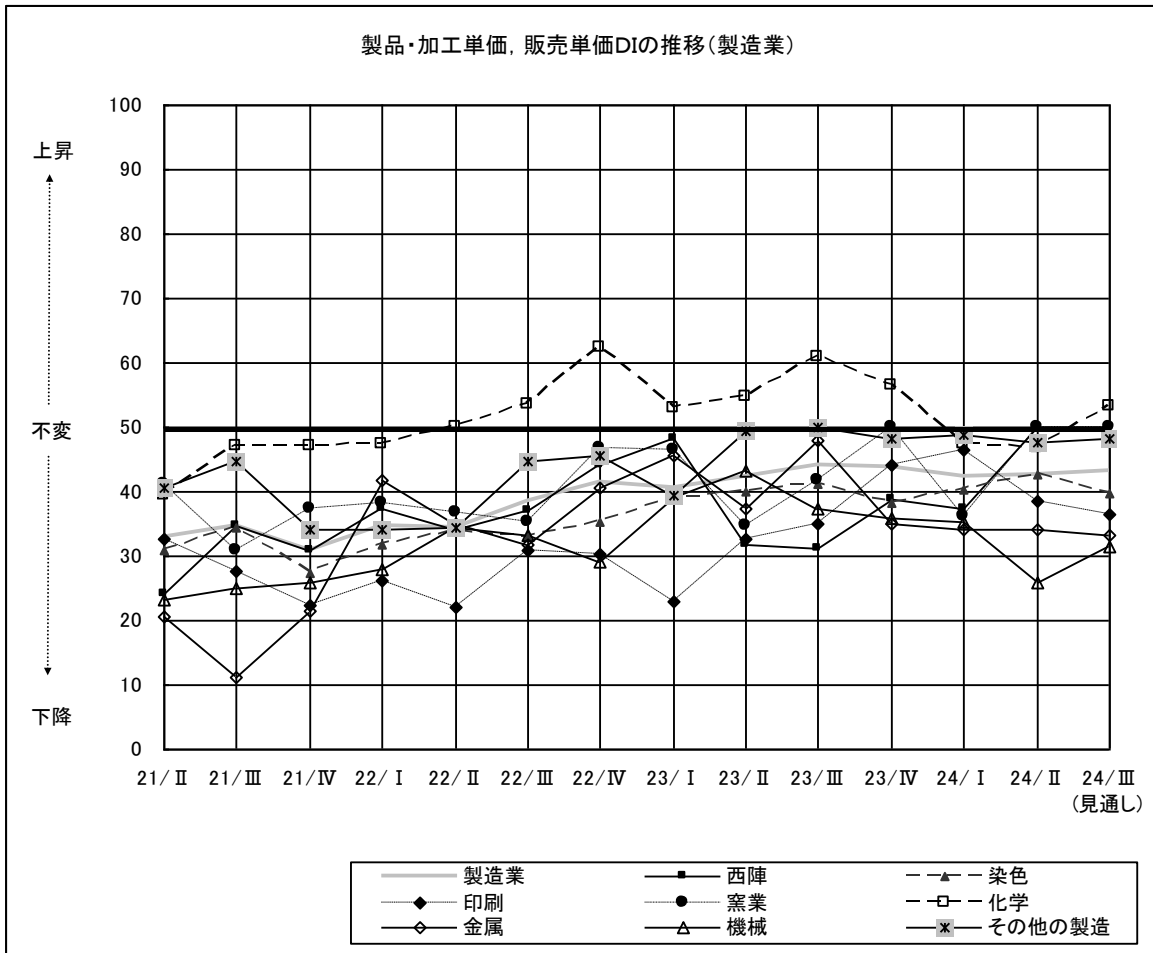


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	41.4	42.6	△ 1.2	43.5 △ 0.9
製造業	42.5	42.6	△ 0.1	43.1 △ 0.5
西陣	37.5	50.0	△ 12.5	50.0 △ 0.0
染色	40.3	42.6	△ 2.3	39.7 ▼ 2.9
印刷	46.6	38.5	▼ 8.1	36.5 ▼ 2.0
窯業	36.1	50.0	△ 13.9	50.0 △ 0.0
化学	47.5	46.9	▼ 0.6	53.1 △ 6.2
金属	34.0	34.0	△ 0.0	33.3 ▼ 0.7
機械	35.2	25.9	▼ 9.3	31.5 △ 5.6
その他の製造	48.7	47.6	▼ 1.1	48.2 △ 0.6
非製造業	40.2	42.7	△ 2.5	44.0 △ 1.3
卸売	42.7	44.6	△ 1.9	48.2 △ 3.6
小売	34.0	45.4	△ 11.4	46.2 △ 0.8
情報通信	40.0	44.0	△ 4.0	43.8 ▼ 0.2
飲食・宿泊	45.2	50.0	△ 4.8	50.0 △ 0.0
サービス	44.2	40.7	▼ 3.5	40.7 △ 0.0
建設	37.8	30.3	▼ 7.5	32.8 △ 2.5
観光関連	51.1	48.6	▼ 2.5	51.4 △ 2.8

※ 網掛けは, 10ポイント以上の変動を示す。



## 5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

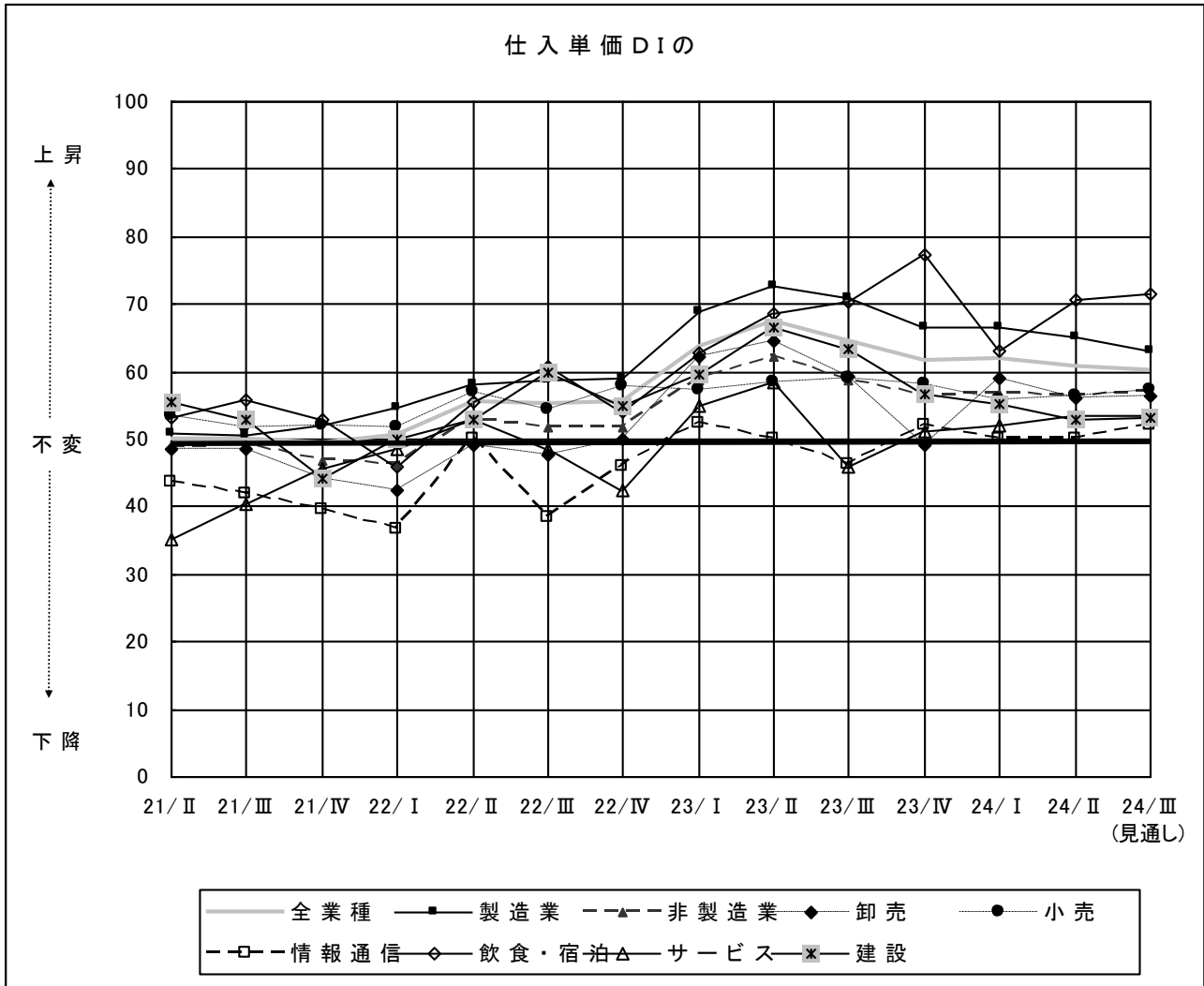


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

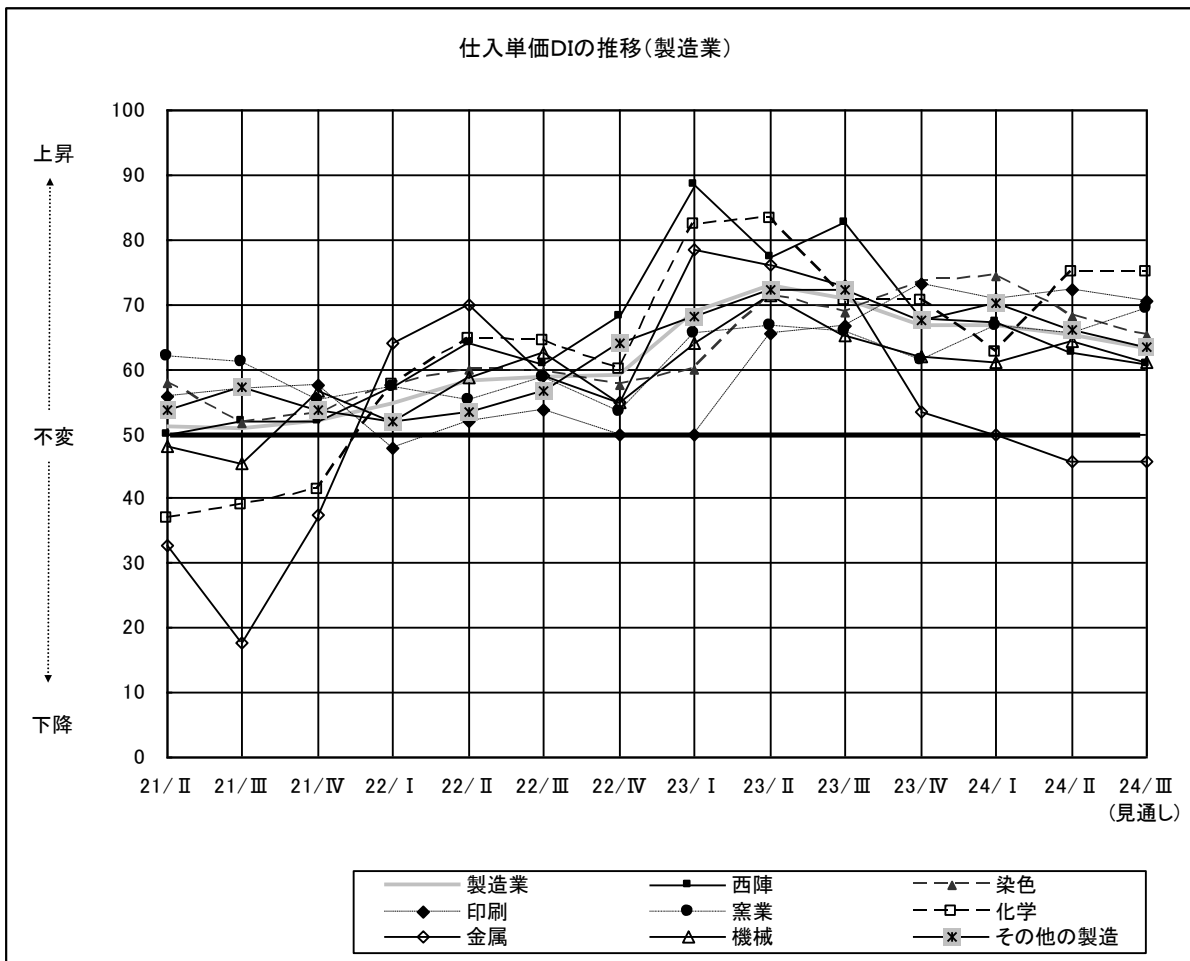


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	61.9	60.8	▼ 1.1	60.2 ▼ 0.6
製造業	66.7	65.1	▼ 1.6	63.2 ▼ 1.9
西陣	67.4	62.5	▼ 4.9	60.9 ▼ 1.6
染色	74.2	68.2	▼ 6.0	65.2 ▼ 3.0
印刷	70.7	72.2	△ 1.5	70.4 ▼ 1.8
窯業	66.7	65.4	▼ 1.3	69.2 △ 3.8
化学	62.5	75.0	△ 12.5	75.0 △ 0.0
金属	50.0	45.8	▼ 4.2	45.8 △ 0.0
機械	61.1	64.3	△ 3.2	61.1 ▼ 3.2
その他の製造	70.3	66.1	▼ 4.2	63.3 ▼ 2.8
非製造業	56.6	56.4	▼ 0.2	57.0 △ 0.6
卸売	59.1	56.1	▼ 3.0	56.3 △ 0.2
小売	55.9	56.4	△ 0.5	57.4 △ 1.0
情報通信	50.0	50.0	△ 0.0	52.1 △ 2.1
飲食・宿泊	63.2	70.7	△ 7.5	71.4 △ 0.7
サービス	51.9	53.6	△ 1.7	53.6 △ 0.0
建設	55.3	52.9	▼ 2.4	53.1 △ 0.2
観光関連	68.4	67.1	▼ 1.3	68.9 △ 1.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

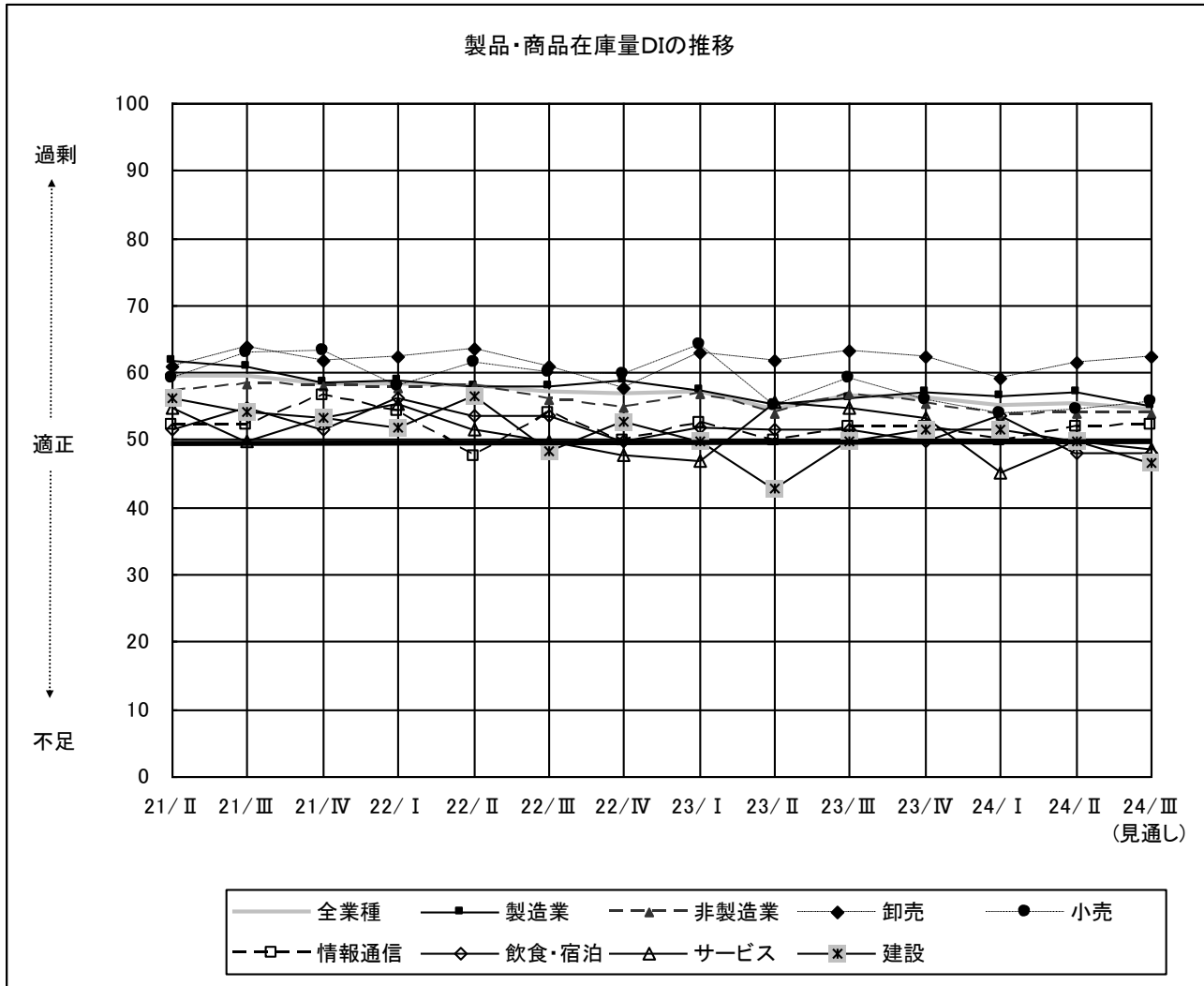


図 12. 製品・商品在庫量DI の推移 (製造業)

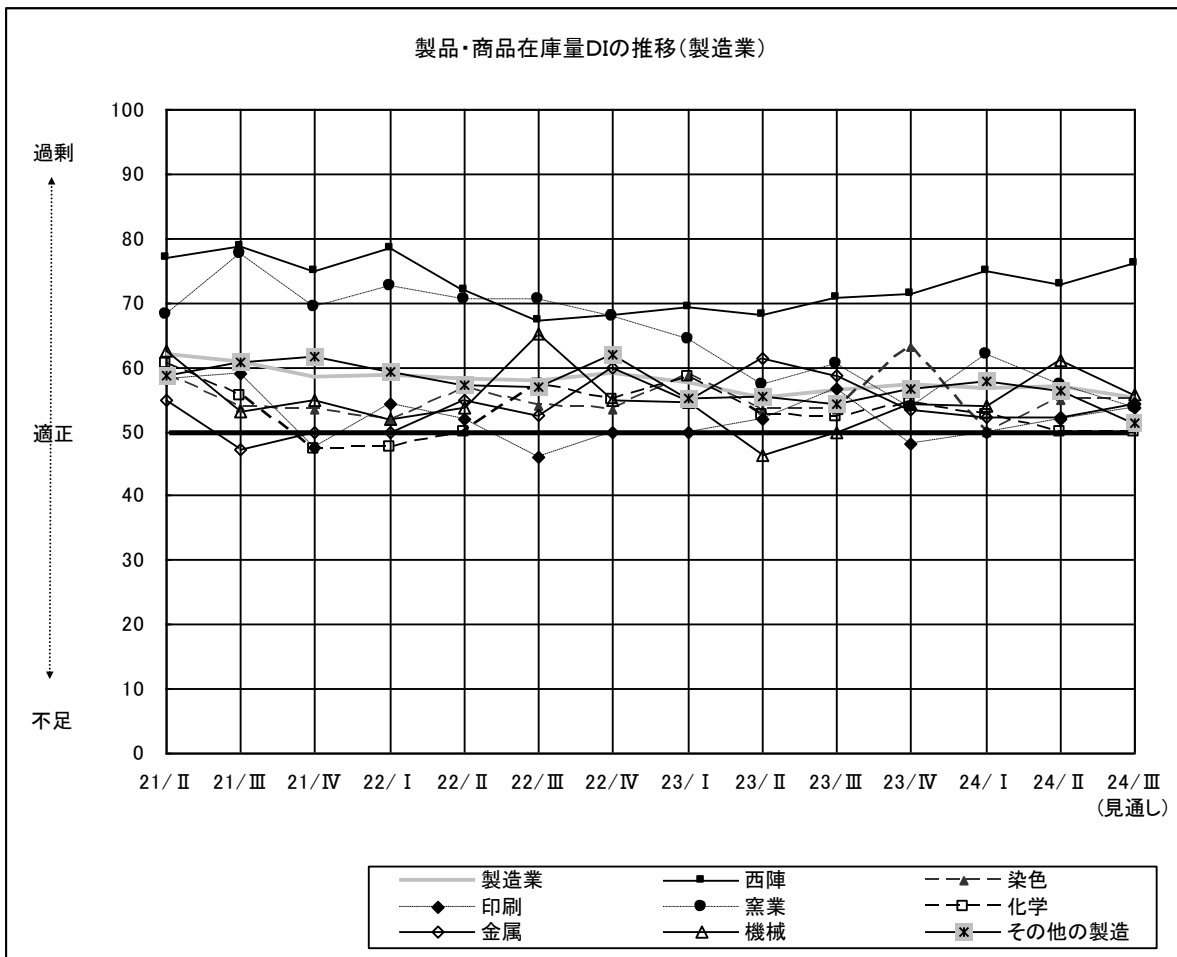


表 6. 製品・商品在庫量DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	55.2	55.5	△ 0.3	54.5	▼ 1.0
製造業	56.6	57.0	△ 0.4	55.2	▼ 1.8
西陣	75.0	72.9	▼ 2.1	76.1	△ 3.2
染色	50.0	55.0	△ 5.0	55.0	△ 0.0
印刷	50.0	51.9	△ 1.9	53.8	△ 1.9
窯業	61.8	57.1	▼ 4.7	53.6	▼ 3.5
化学	52.5	50.0	▼ 2.5	50.0	△ 0.0
金属	52.1	52.1	△ 0.0	54.2	△ 2.1
機械	54.0	61.1	△ 7.1	55.8	▼ 5.3
その他の製造	57.8	56.2	▼ 1.6	51.3	▼ 4.9
非製造業	53.6	53.9	△ 0.3	53.8	▼ 0.1
卸売	59.1	61.4	△ 2.3	62.5	△ 1.1
小売	53.9	54.6	△ 0.7	55.8	△ 1.2
情報通信	50.0	52.0	△ 2.0	52.1	△ 0.1
飲食・宿泊	53.7	48.1	▼ 5.6	48.1	△ 0.0
サービス	45.2	50.0	△ 4.8	48.7	▼ 1.3
建設	51.6	50.0	▼ 1.6	46.6	▼ 3.4
観光関連	51.2	52.8	△ 1.6	51.4	▼ 1.4

## 7. 雇用人員

図 13. 雇用人員DIの推移 (全体)

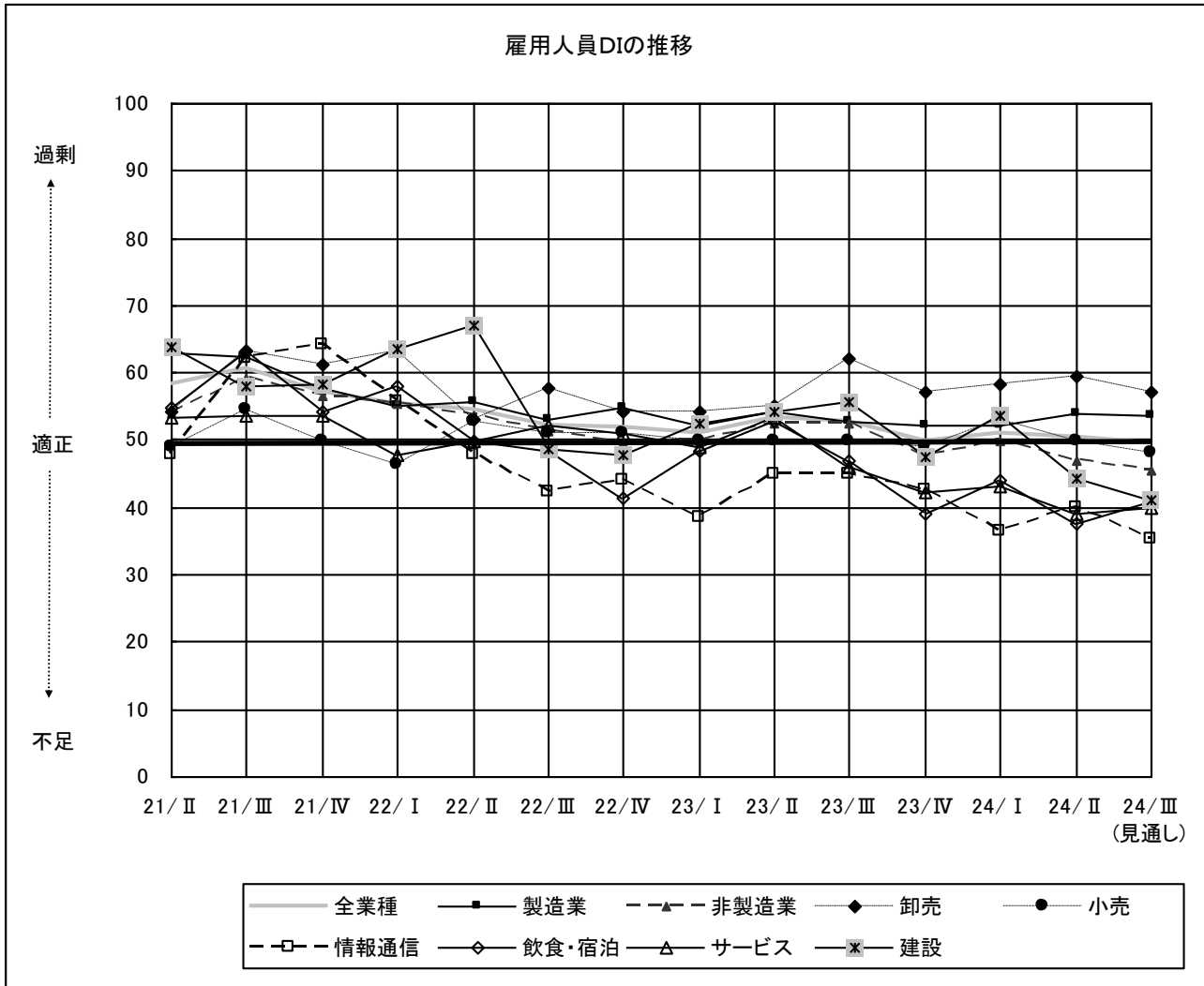


図14. 雇用人員DIの推移（製造業）

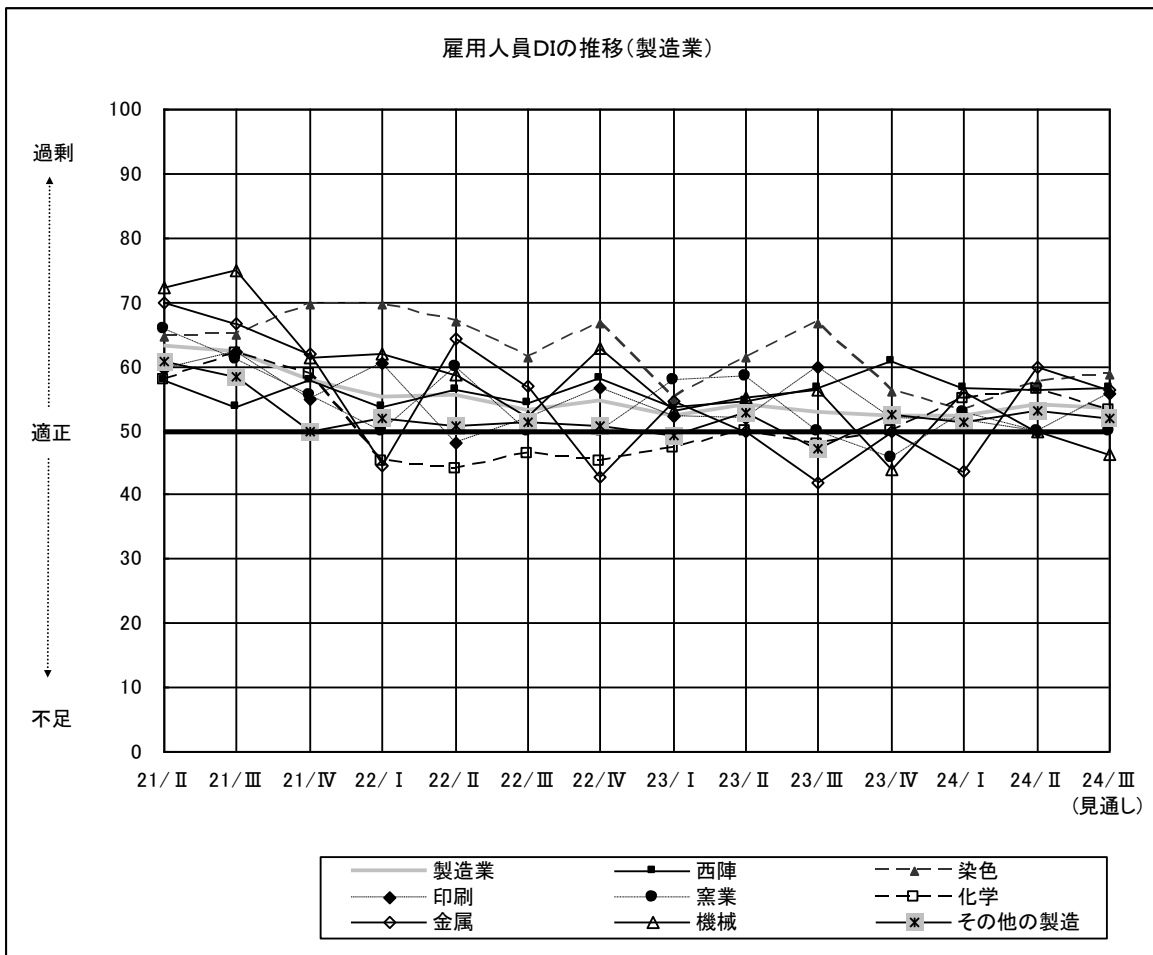


表7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	51.1	50.4	▼ 0.7	49.5	▼ 0.9
製造業	52.2	54.0	△ 1.8	53.5	▼ 0.5
西陣	56.5	56.3	▼ 0.2	56.5	△ 0.2
染色	53.1	57.4	△ 4.3	58.8	△ 1.4
印刷	51.7	50.0	▼ 1.7	55.8	△ 5.8
窯業	52.9	50.0	▼ 2.9	50.0	△ 0.0
化学	55.0	56.3	△ 1.3	53.1	▼ 3.2
金属	43.8	60.0	△ 16.2	56.3	▼ 3.7
機械	56.0	50.0	▼ 6.0	46.3	▼ 3.7
その他の製造	51.3	53.0	△ 1.7	51.8	▼ 1.2
非製造業	50.0	46.8	▼ 3.2	45.5	▼ 1.3
卸売	58.2	59.5	△ 1.3	57.1	▼ 2.4
小売	53.0	50.0	▼ 3.0	48.1	▼ 1.9
情報通信	36.4	40.0	△ 3.6	35.4	▼ 4.6
飲食・宿泊	43.9	37.5	▼ 6.4	40.7	△ 3.2
サービス	43.2	39.0	▼ 4.2	40.0	△ 1.0
建設	53.6	44.3	▼ 9.3	41.2	▼ 3.1
観光関連	52.1	47.4	▼ 4.7	52.7	△ 5.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 8. 資金繰り

図 15. 資金繰り DI の推移 (全体)

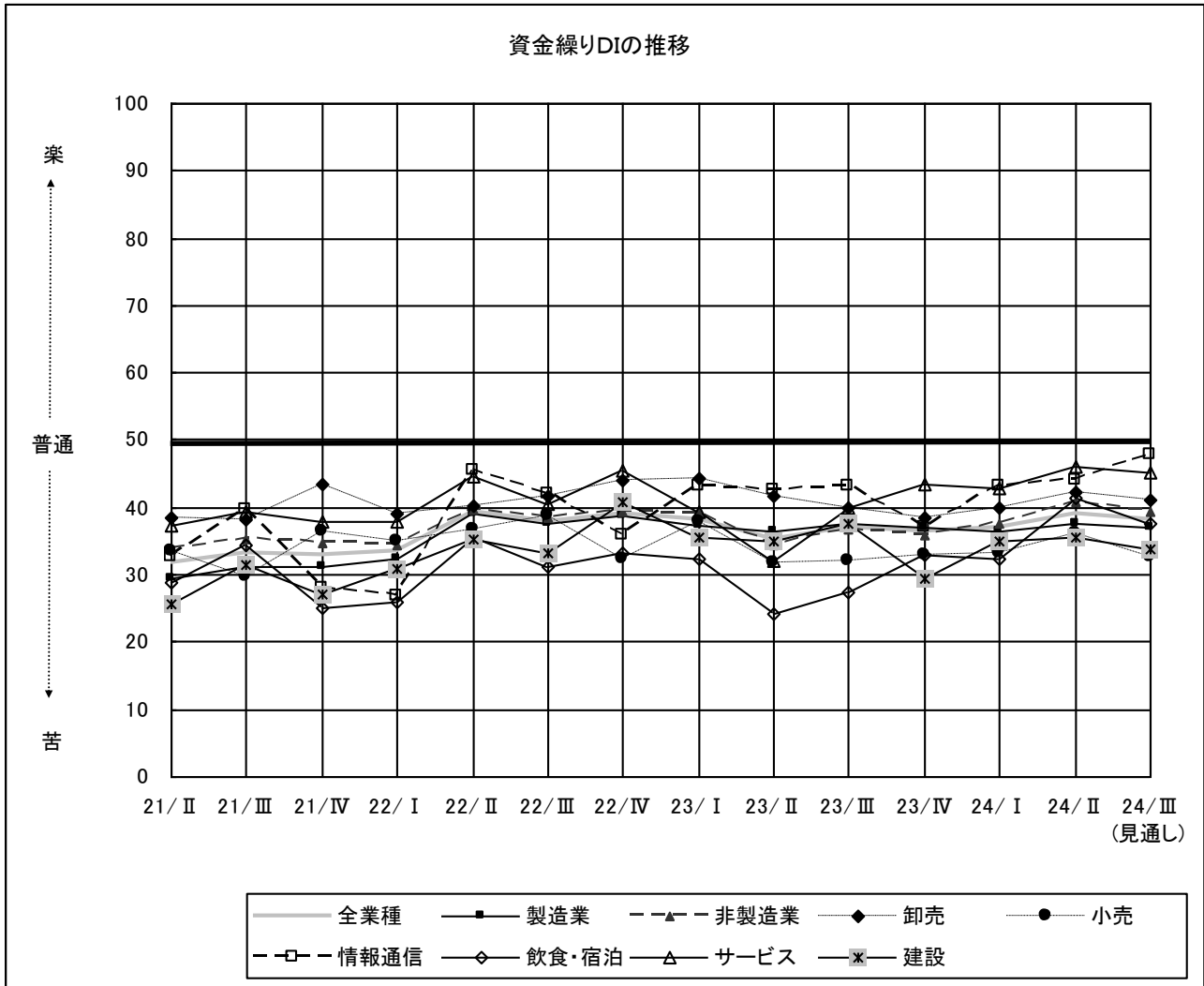


図 16. 資金繰りDIの推移（製造業）

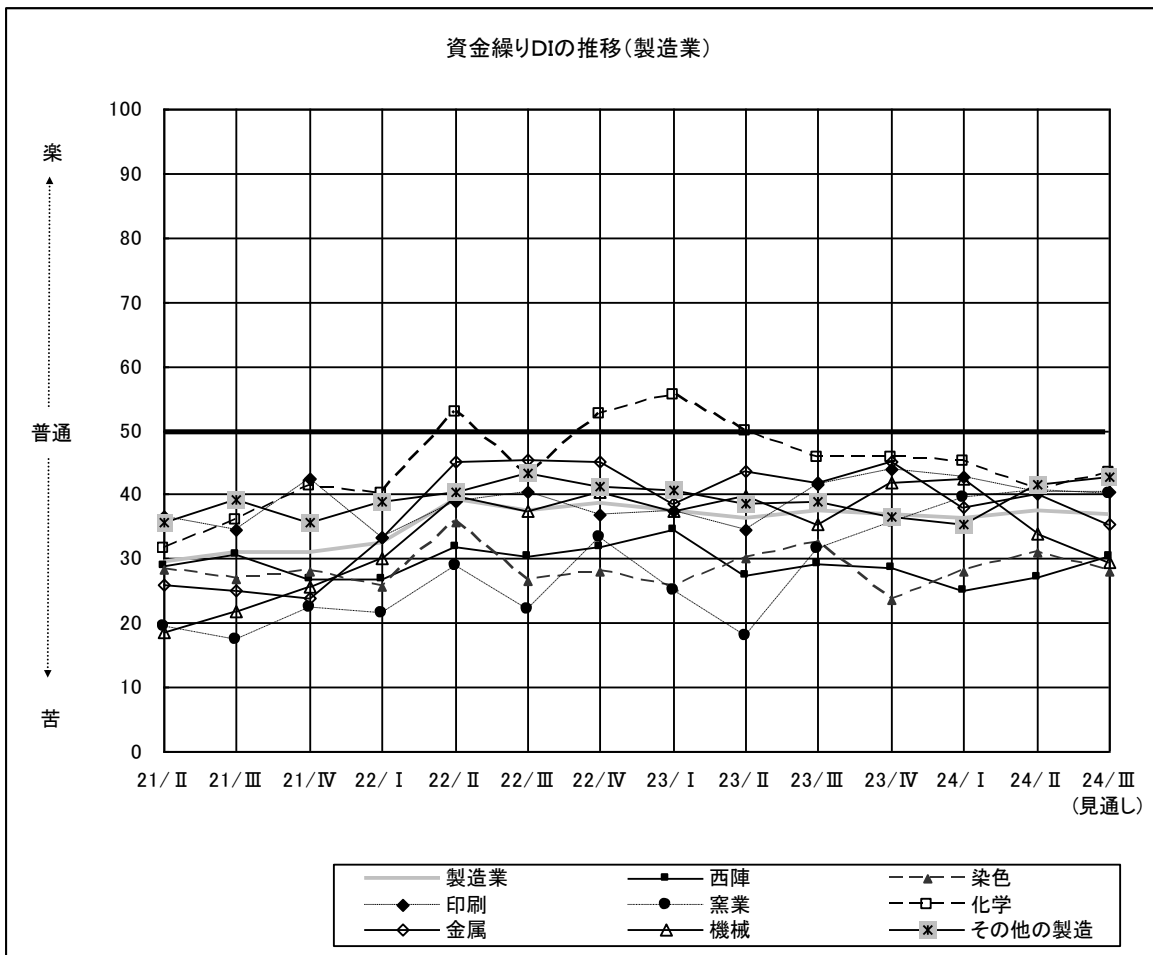


表 8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	37.0	39.2	△ 2.2	▼ 1.0
製造業	36.4	37.5	△ 1.1	▼ 0.5
西陣	25.0	27.1	△ 2.1	△ 3.3
染色	28.1	30.9	△ 2.8	▼ 3.0
印刷	42.9	40.4	▼ 2.5	△ 0.0
窯業	39.5	40.6	△ 1.1	▼ 0.6
化学	45.0	40.6	▼ 4.4	△ 2.7
金属	38.0	40.0	△ 2.0	▼ 4.6
機械	42.6	33.9	▼ 8.7	▼ 4.3
その他の製造	35.4	41.7	△ 6.3	△ 1.1
非製造業	37.5	40.9	△ 3.4	▼ 1.5
卸売	40.0	42.2	△ 2.2	▼ 1.1
小売	33.3	36.1	△ 2.8	▼ 3.4
情報通信	43.2	44.0	△ 0.8	△ 3.9
飲食・宿泊	32.4	41.4	△ 9.0	▼ 3.9
サービス	43.0	46.2	△ 3.2	▼ 1.0
建設	34.9	35.7	△ 0.8	▼ 1.9
観光関連	37.8	35.9	▼ 1.9	△ 0.9



## 9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移 (全体)

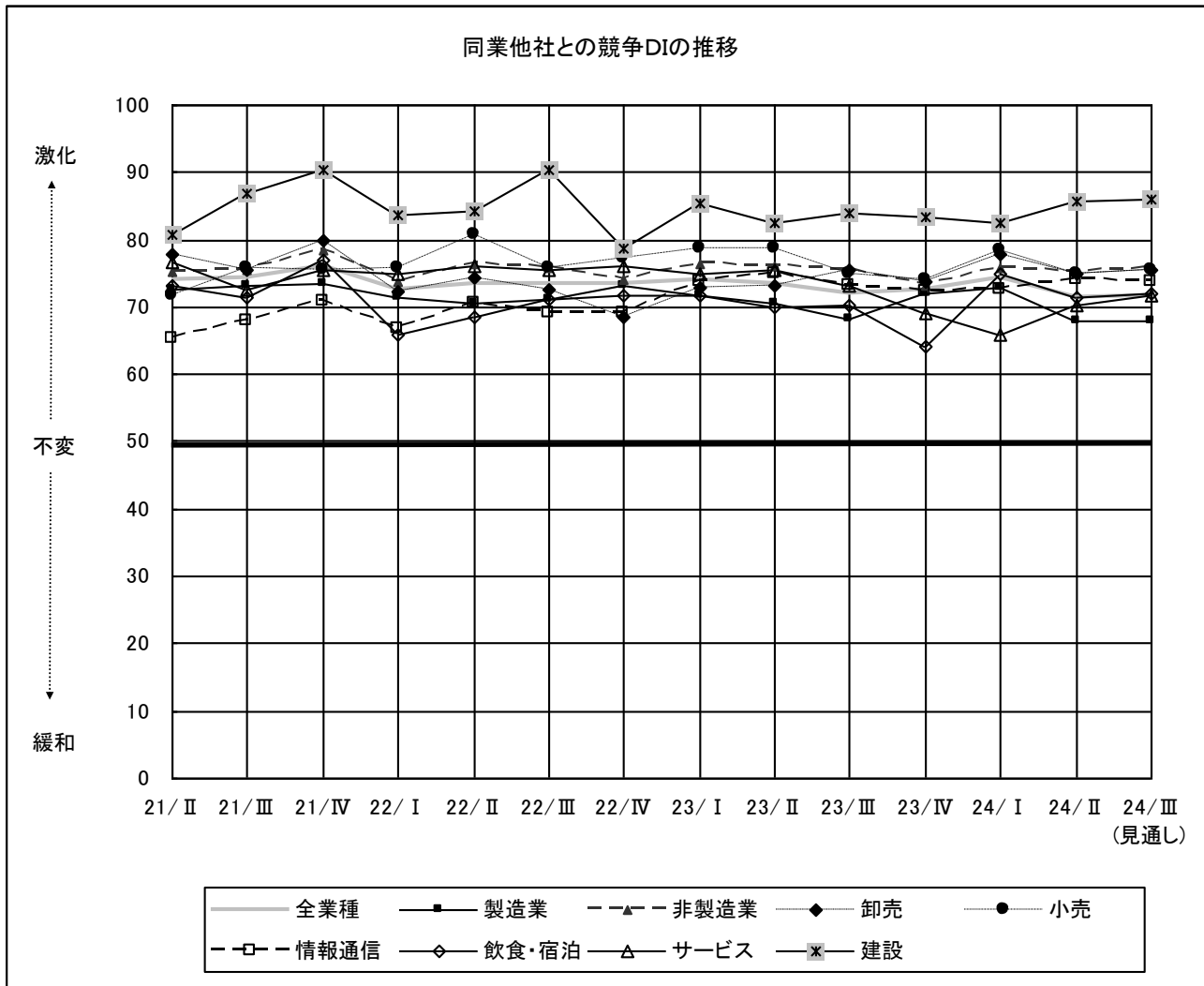


図 18. 同業他社との競争DIの推移 (製造業)

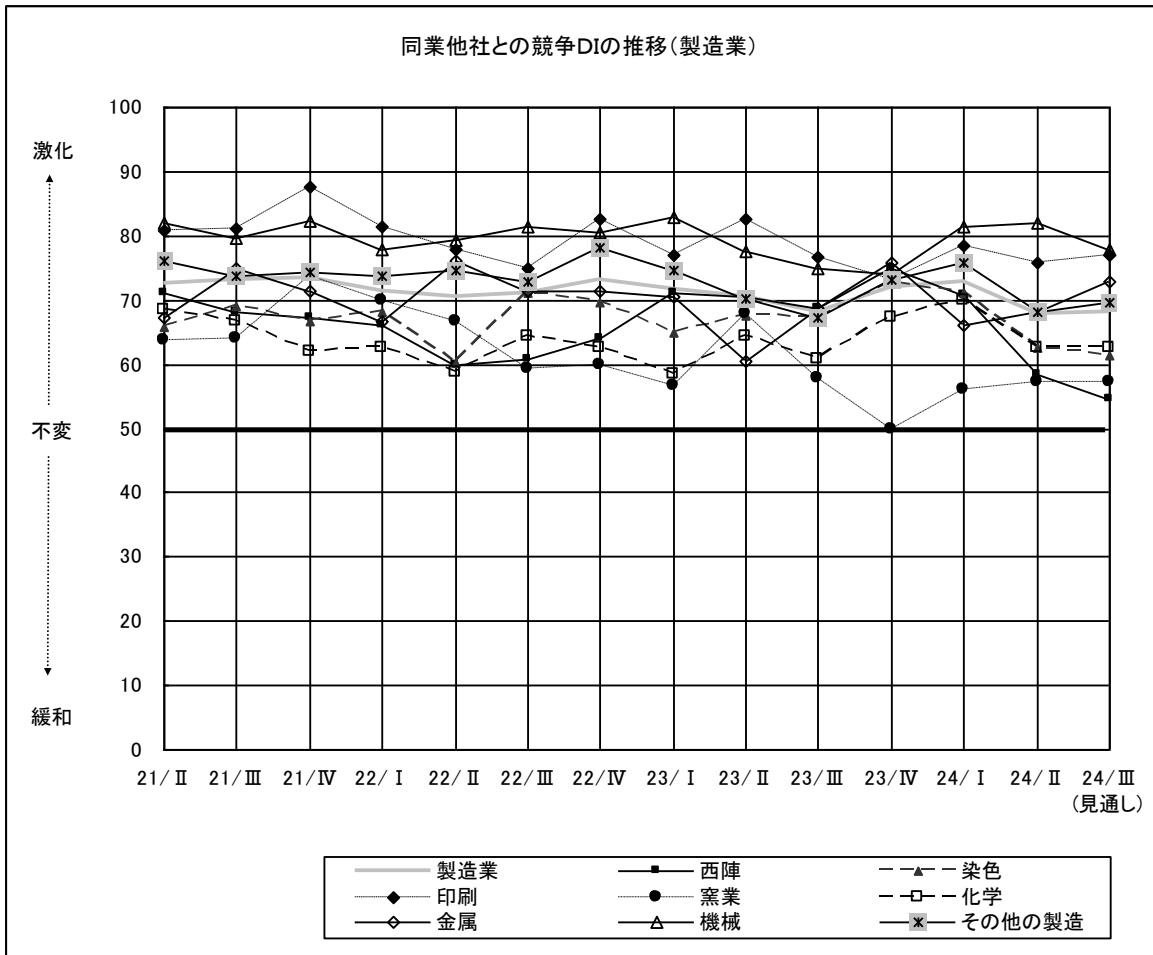


表 9. 同業他社との競争DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	74.4	71.5	▼ 2.9	71.7 △ 0.2
製造業	72.9	67.9	▼ 5.0	68.0 △ 0.1
西陣	70.8	58.3	▼ 12.5	54.5 ▼ 3.8
染色	71.0	62.5	▼ 8.5	61.3 ▼ 1.2
印刷	78.6	75.9	▼ 2.7	76.9 △ 1.0
窯業	55.9	57.1	△ 1.2	57.1 △ 0.0
化学	70.0	62.5	▼ 7.5	62.5 △ 0.0
金属	66.0	68.0	△ 2.0	72.9 △ 4.9
機械	81.5	82.1	△ 0.6	77.8 ▼ 4.3
その他の製造	75.9	68.1	▼ 7.8	69.5 △ 1.4
非製造業	75.9	75.1	▼ 0.8	75.7 △ 0.6
卸売	77.8	75.0	▼ 2.8	75.5 △ 0.5
小売	78.4	75.0	▼ 3.4	75.5 △ 0.5
情報通信	72.7	74.0	△ 1.3	73.7 ▼ 0.3
飲食・宿泊	75.0	71.4	▼ 3.6	72.0 △ 0.6
サービス	65.9	70.2	△ 4.3	71.7 △ 1.5
建設	82.6	85.7	△ 3.1	85.9 △ 0.2
観光関連	70.4	68.9	▼ 1.5	65.2 ▼ 3.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

# 10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

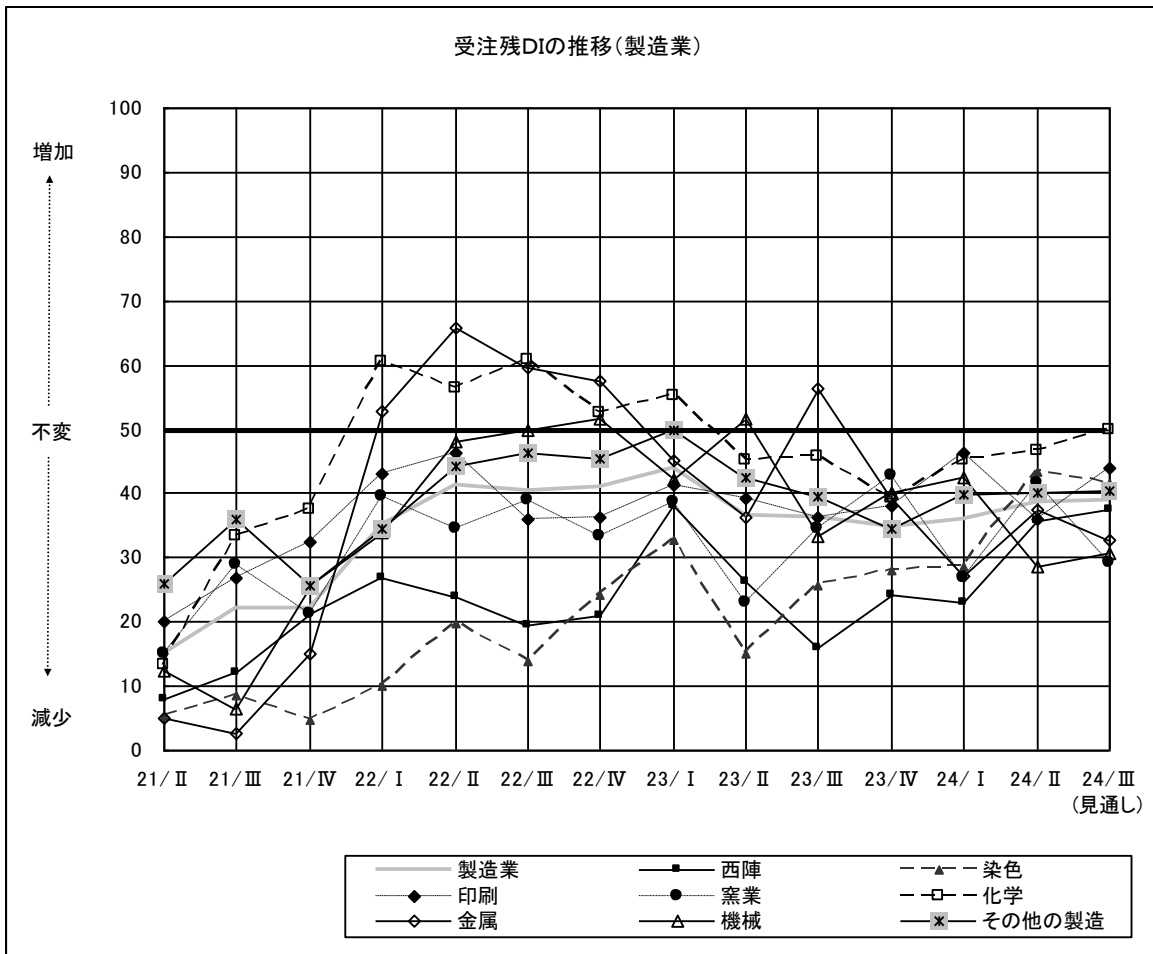


表10. 受注残DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し		
			前期比	今期比	
製造業	36.1	38.5	△ 2.4	38.9	△ 0.4
西陣	22.9	35.7	△ 12.8	37.5	△ 1.8
染色	28.6	43.3	△ 14.7	41.7	▼ 1.6
印刷	46.3	36.0	▼ 10.3	44.0	△ 8.0
窯業	26.7	41.7	△ 15.0	29.2	▼ 12.5
化学	45.0	46.7	△ 1.7	50.0	△ 3.3
金属	27.1	37.5	△ 10.4	32.6	▼ 4.9
機械	42.6	28.6	▼ 14.0	30.8	△ 2.2
その他の製造	39.7	40.0	△ 0.3	40.4	△ 0.4
観光関連	40.0	41.7	△ 1.7	73.1	△ 31.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

# 11. 生産設備

図 20. 生産設備DIの推移

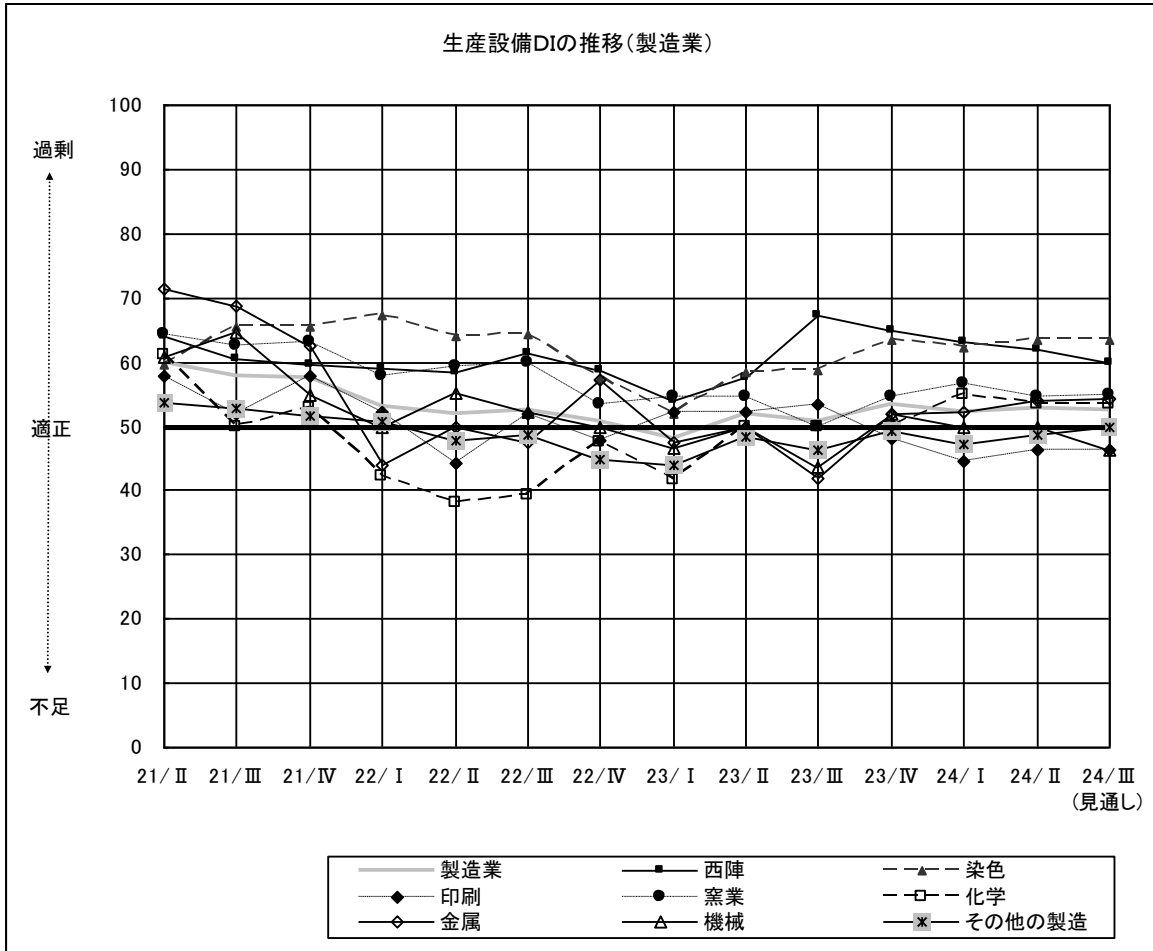


表 11. 生産設備DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	52.3	52.8	△ 0.5	52.6 ▼ 0.2
西陣	63.0	61.9	▼ 1.1	60.0 ▼ 1.9
染色	62.1	63.3	△ 1.2	63.3 △ 0.0
印刷	44.6	46.3	△ 1.7	46.2 ▼ 0.1
窯業	56.7	54.5	▼ 2.2	55.0 △ 0.5
化学	55.0	53.3	▼ 1.7	53.3 △ 0.0
金属	52.1	54.0	△ 1.9	54.2 △ 0.2
機械	50.0	50.0	△ 0.0	46.2 ▼ 3.8
その他の製造	47.1	48.7	△ 1.6	50.0 △ 1.3
観光関連	53.6	54.5	△ 0.9	54.5 △ 0.0

## 12. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

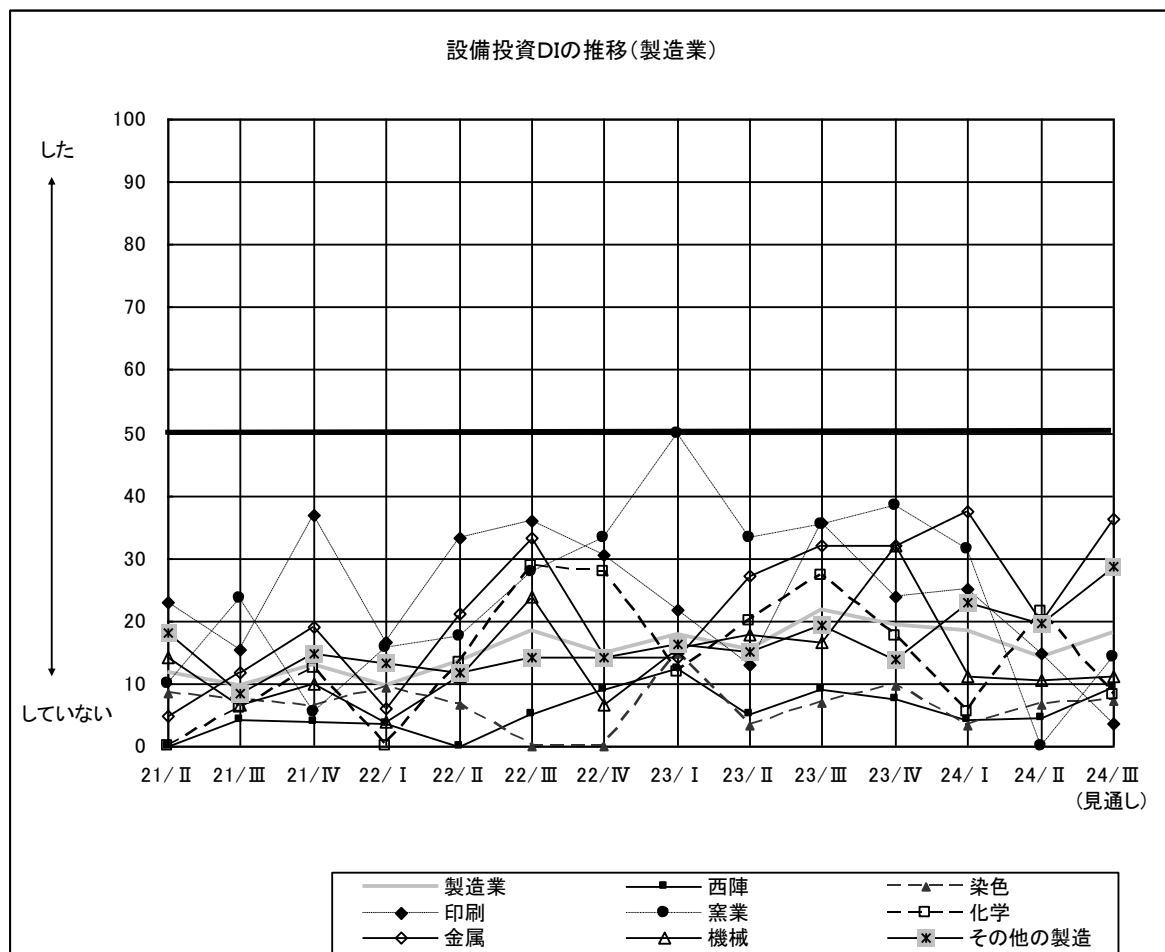


表12. 設備投資DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	18.3	14.2	▼ 4.1	18.0 △ 3.8
西陣	4.3	4.5	△ 0.2	9.5 △ 5.0
染色	3.3	6.7	△ 3.4	7.1 △ 0.4
印刷	25.0	14.8	▼ 10.2	3.7 ▼ 11.1
窯業	31.3	0.0	▼ 31.3	14.3 △ 14.3
化学	5.3	21.4	△ 16.1	8.3 ▼ 13.1
金属	37.5	20.0	▼ 17.5	36.4 △ 16.4
機械	11.1	10.7	▼ 0.4	11.1 △ 0.4
その他の製造	23.0	19.7	▼ 3.3	28.6 △ 8.9
観光関連	13.3	9.1	▼ 4.2	16.7 △ 7.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## (2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

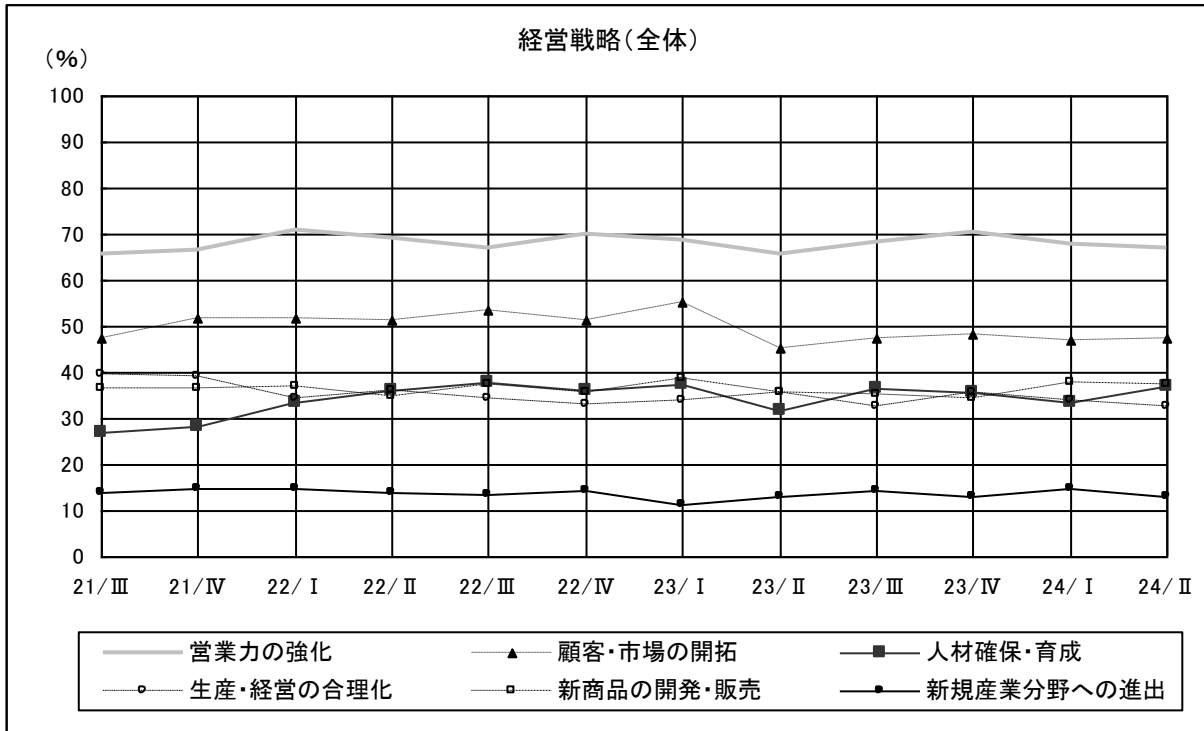


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

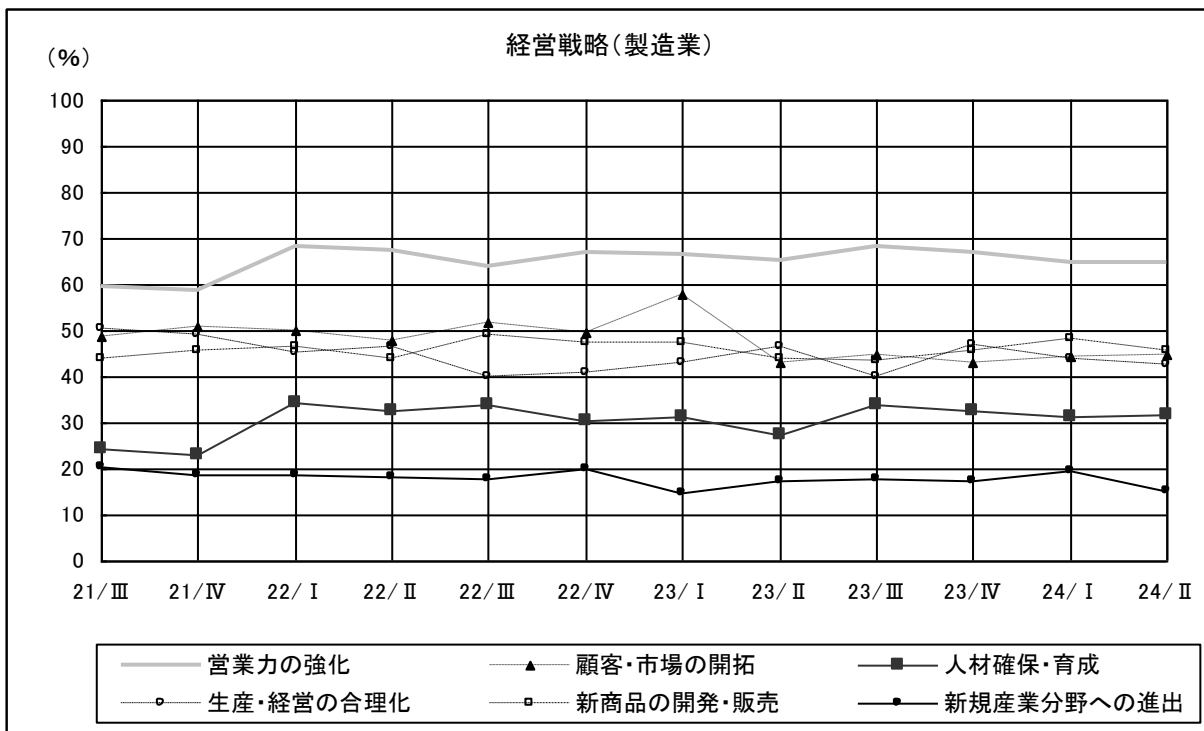


図 24. 当面の経営戦略・西陣

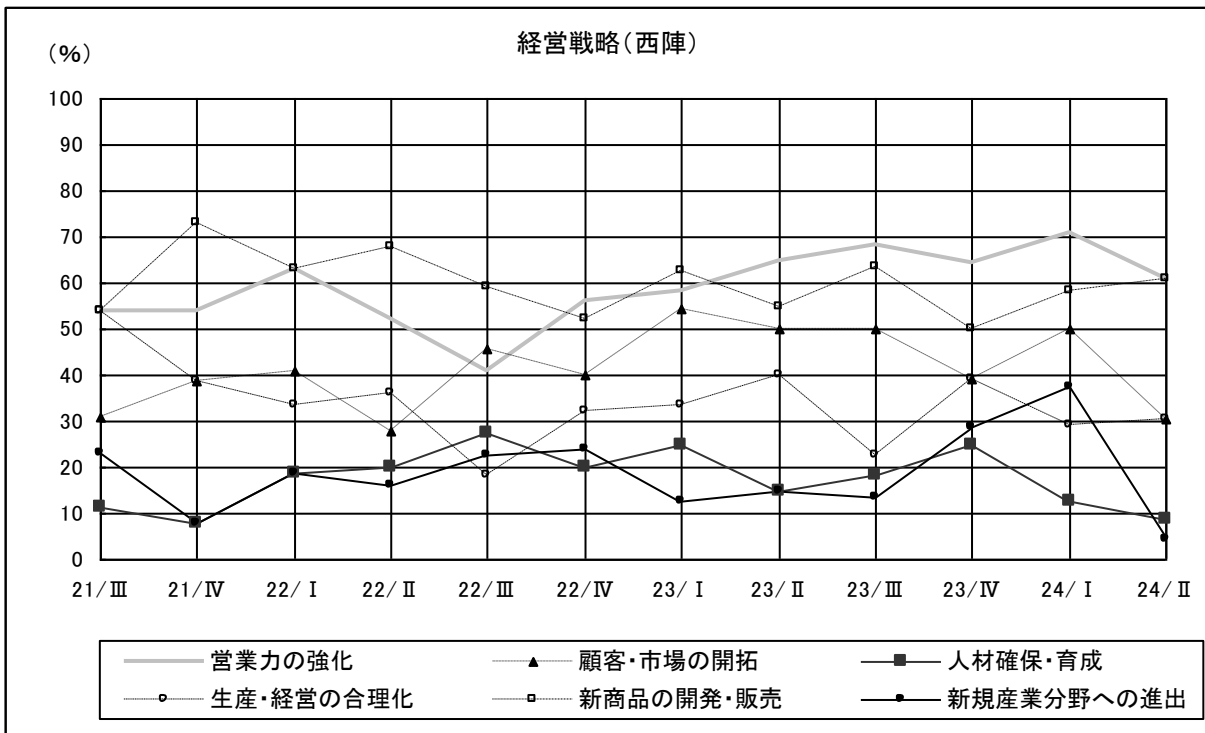


図 25. 当面の経営戦略・染色

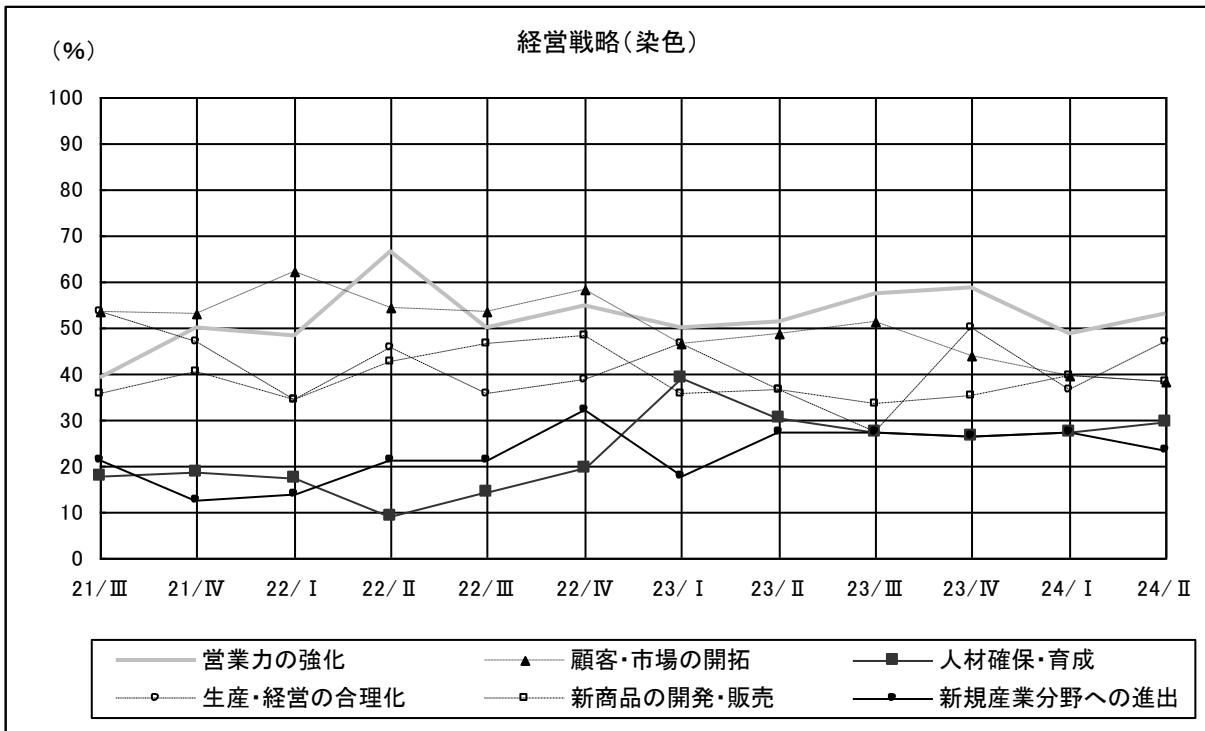


図 26. 当面の経営戦略・印刷

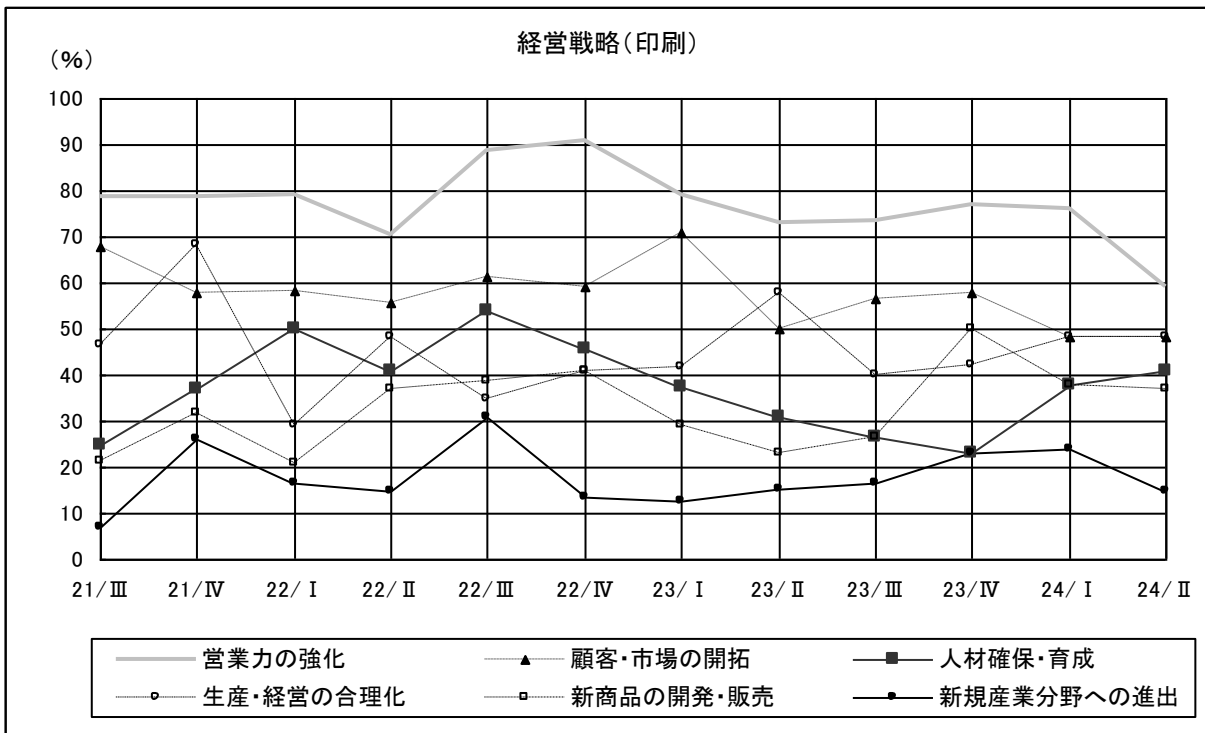


図 27. 当面の経営戦略・窯業

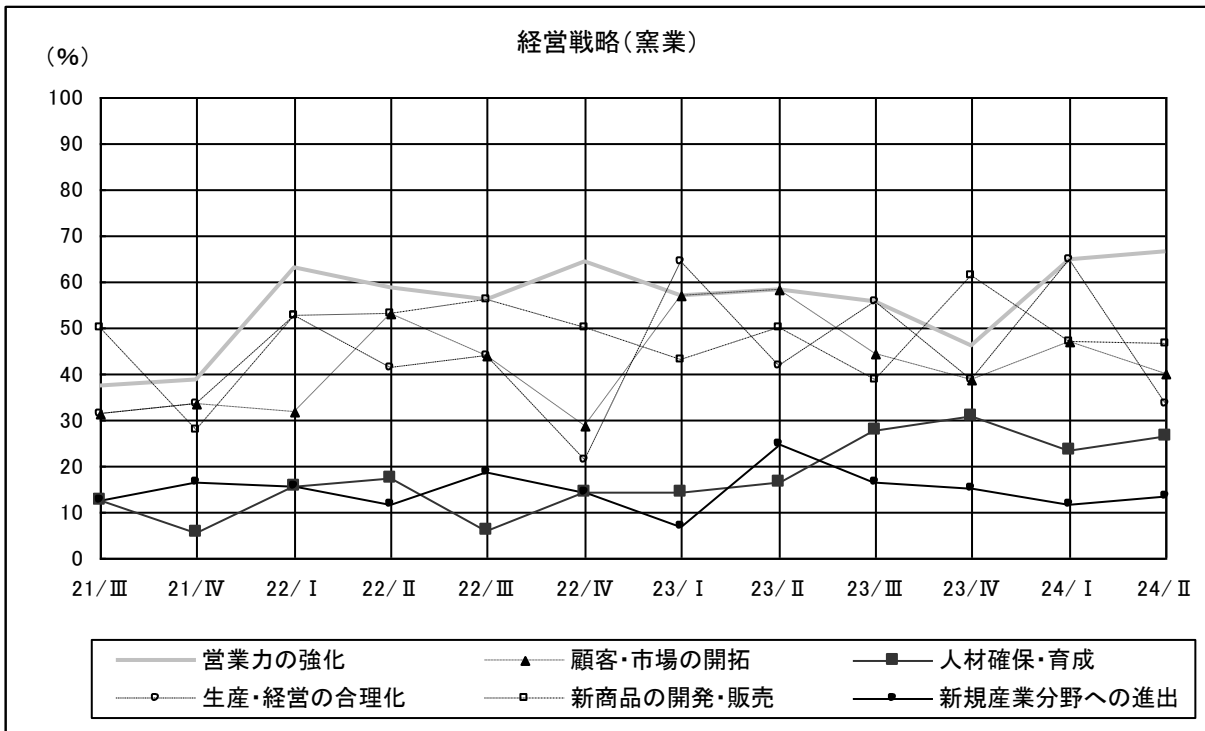




図 28. 当面の経営戦略・化学

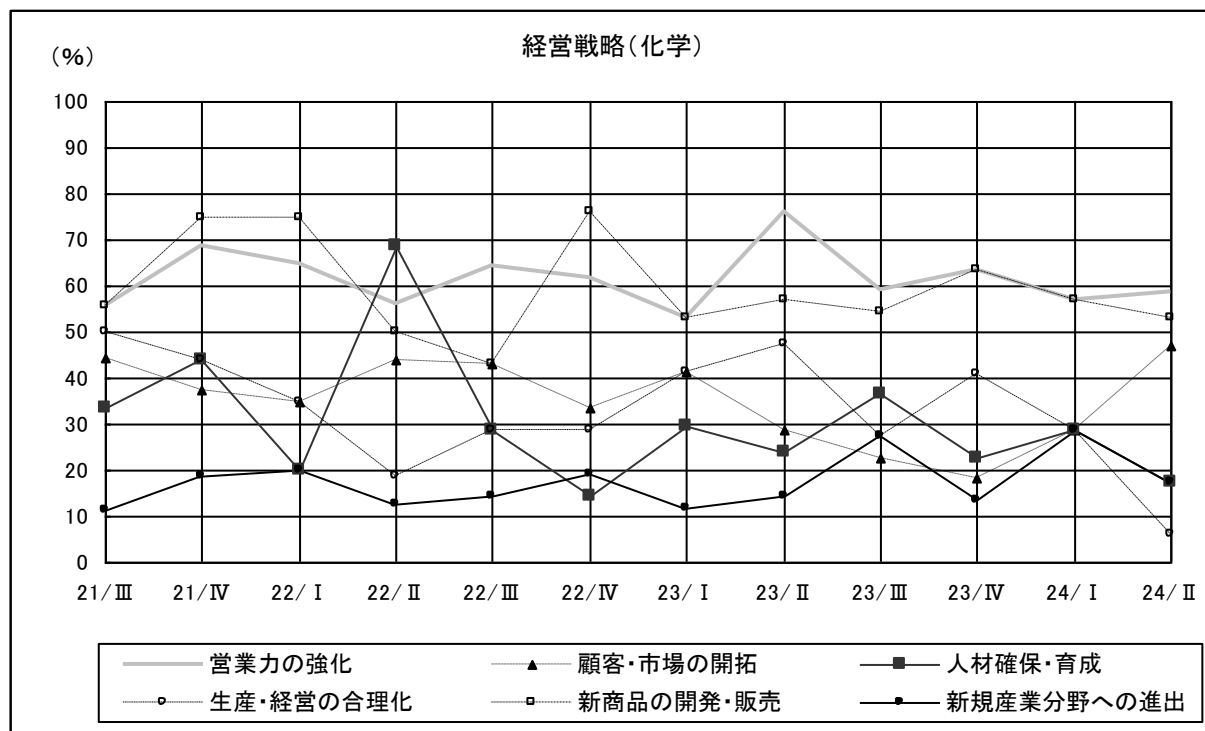


図 29. 当面の経営戦略・金属

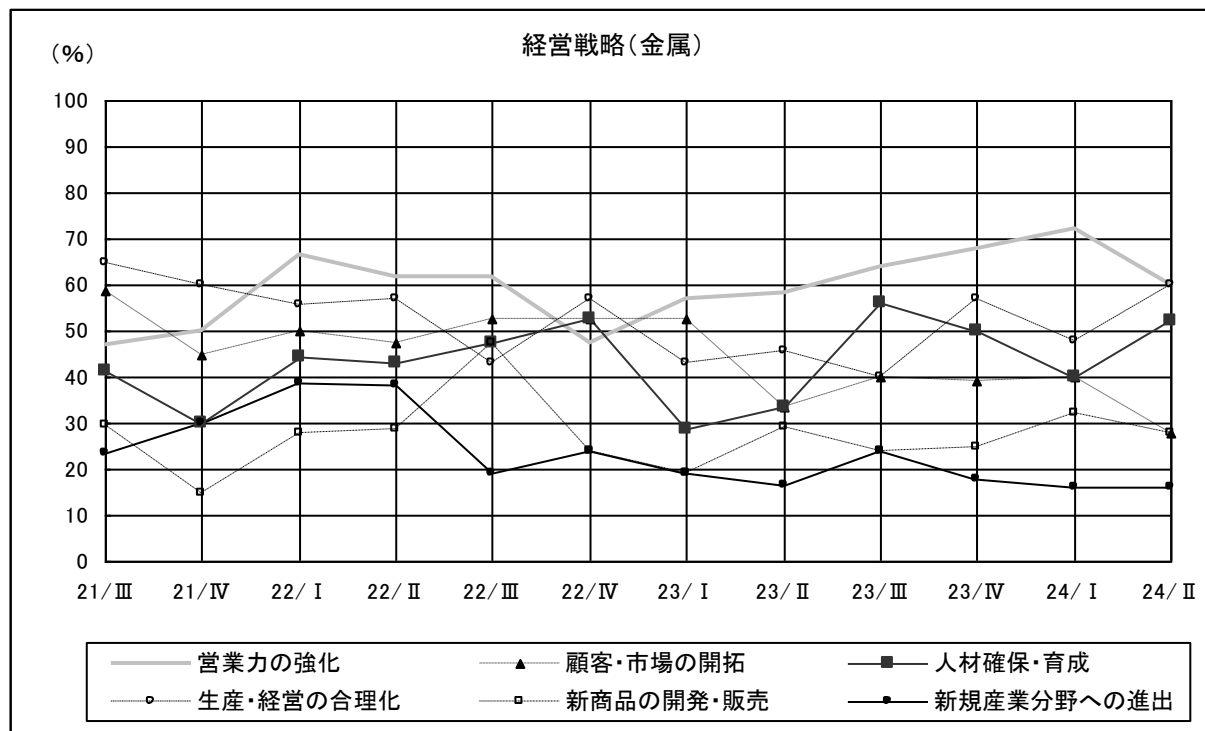


図 30. 当面の経営戦略・機械

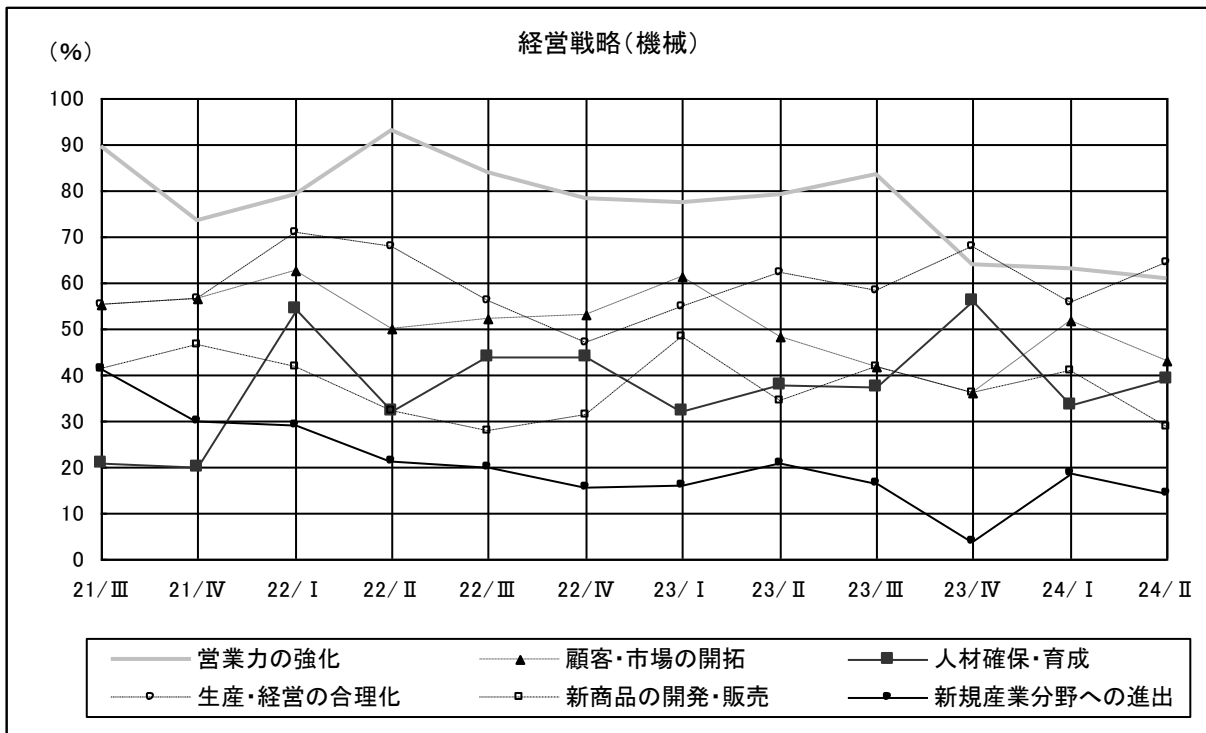


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

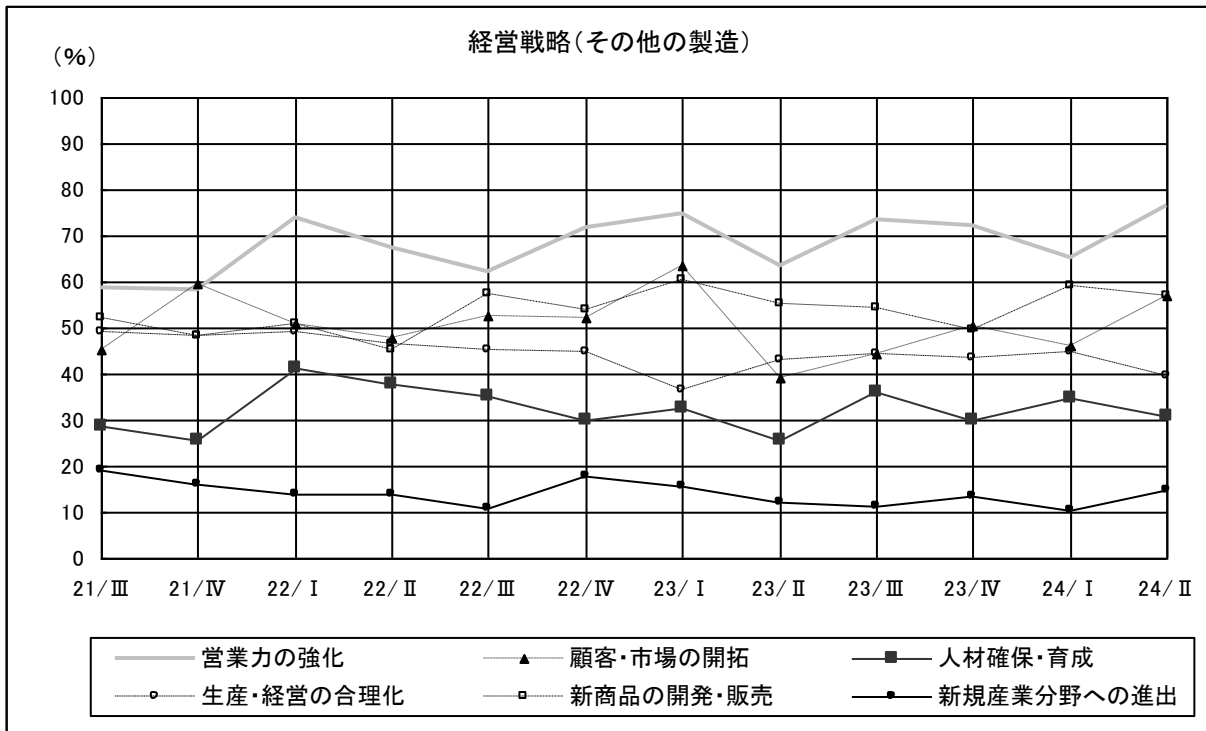


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

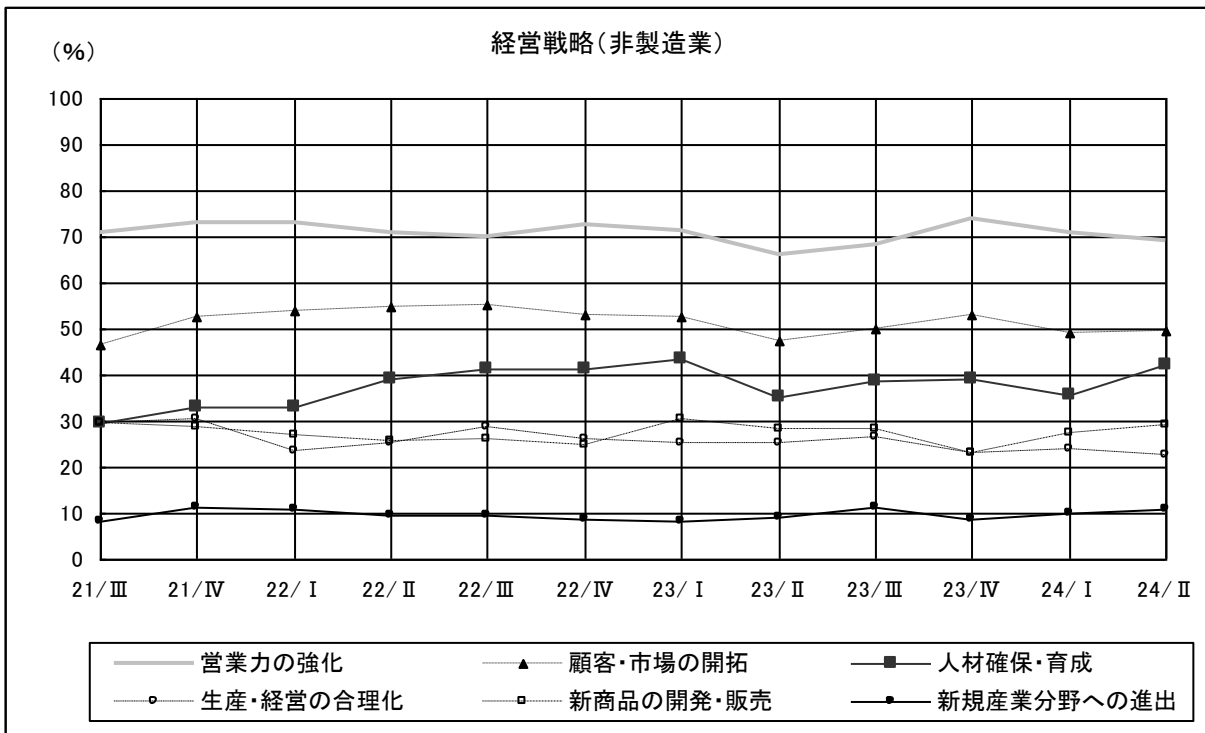


図 33. 当面の経営戦略・卸売

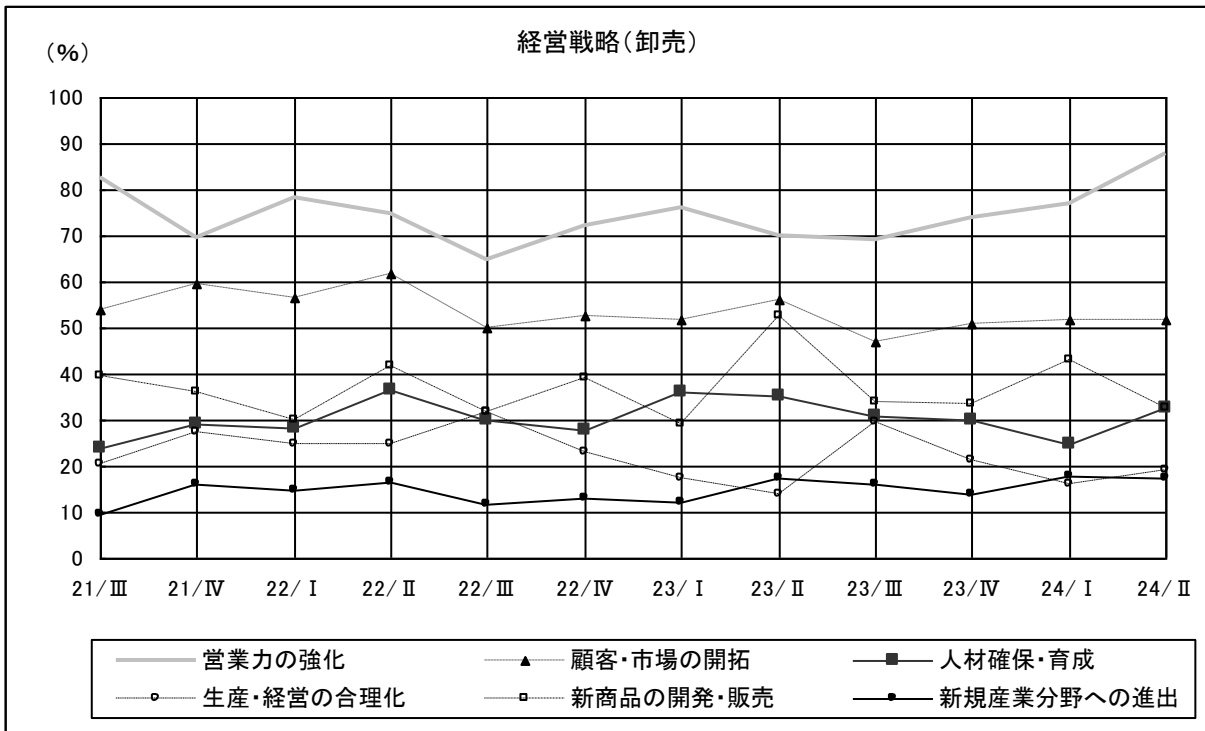


図 34. 当面の経営戦略・小売

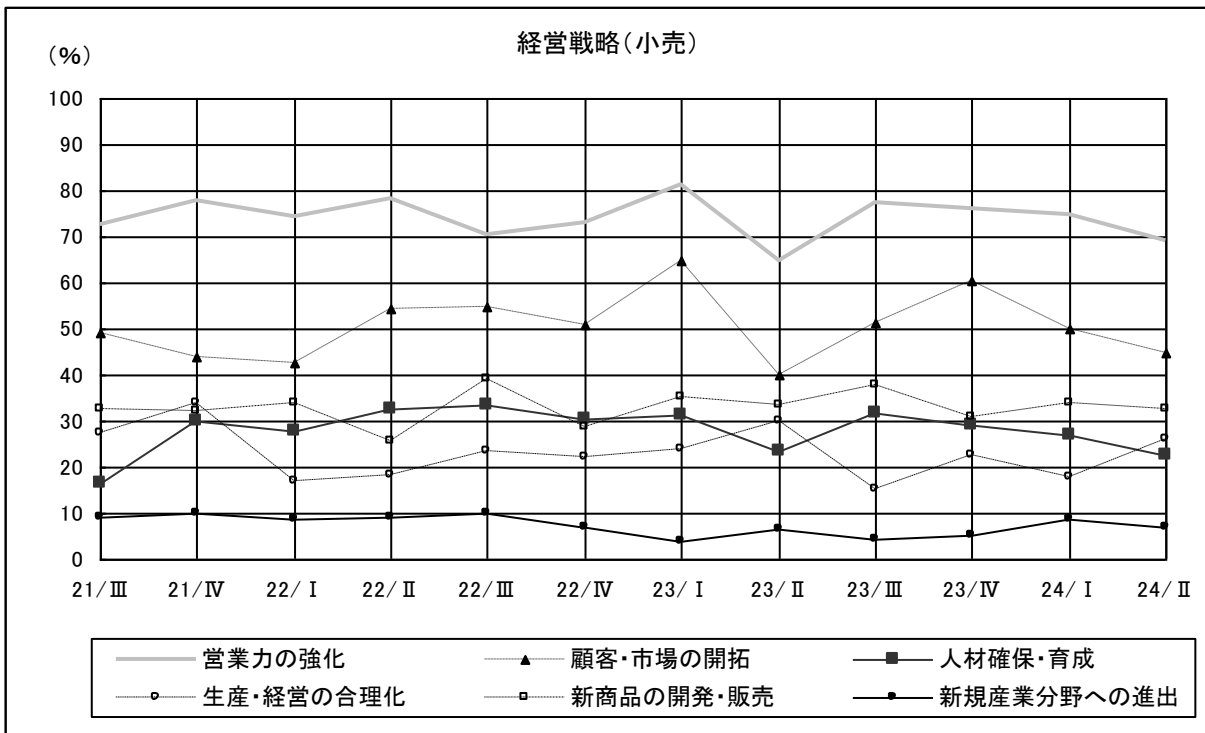


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

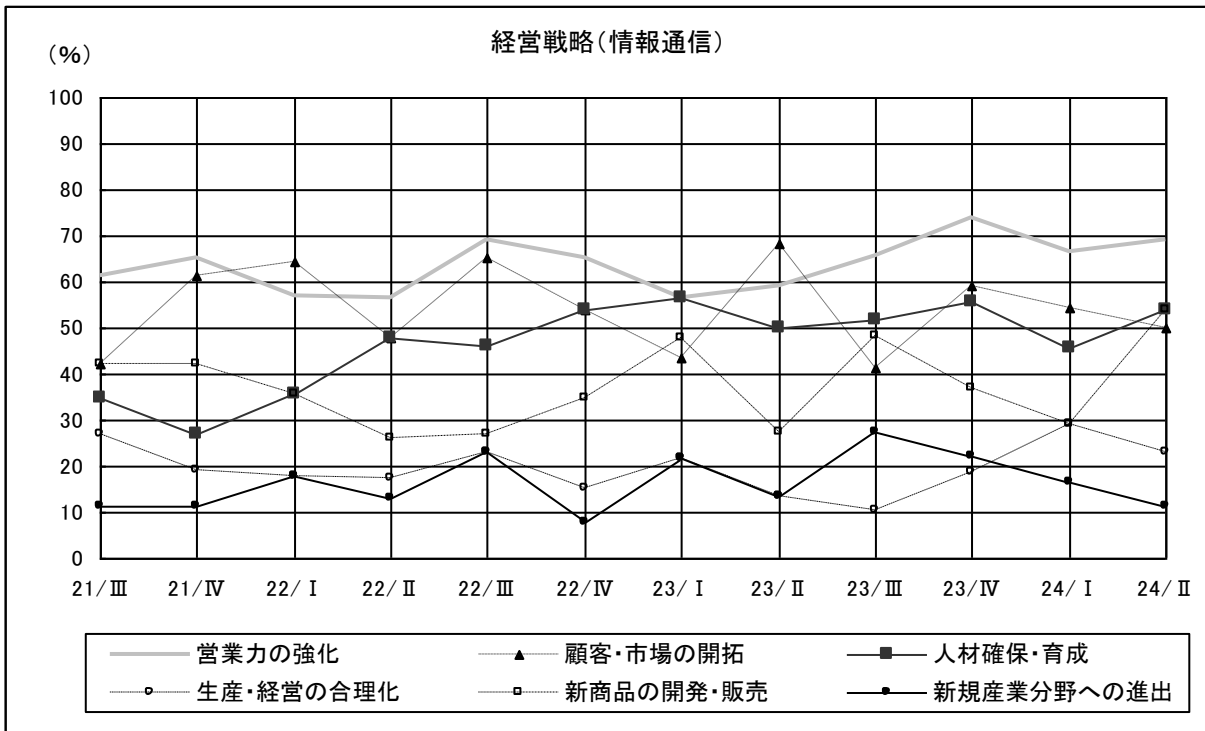


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

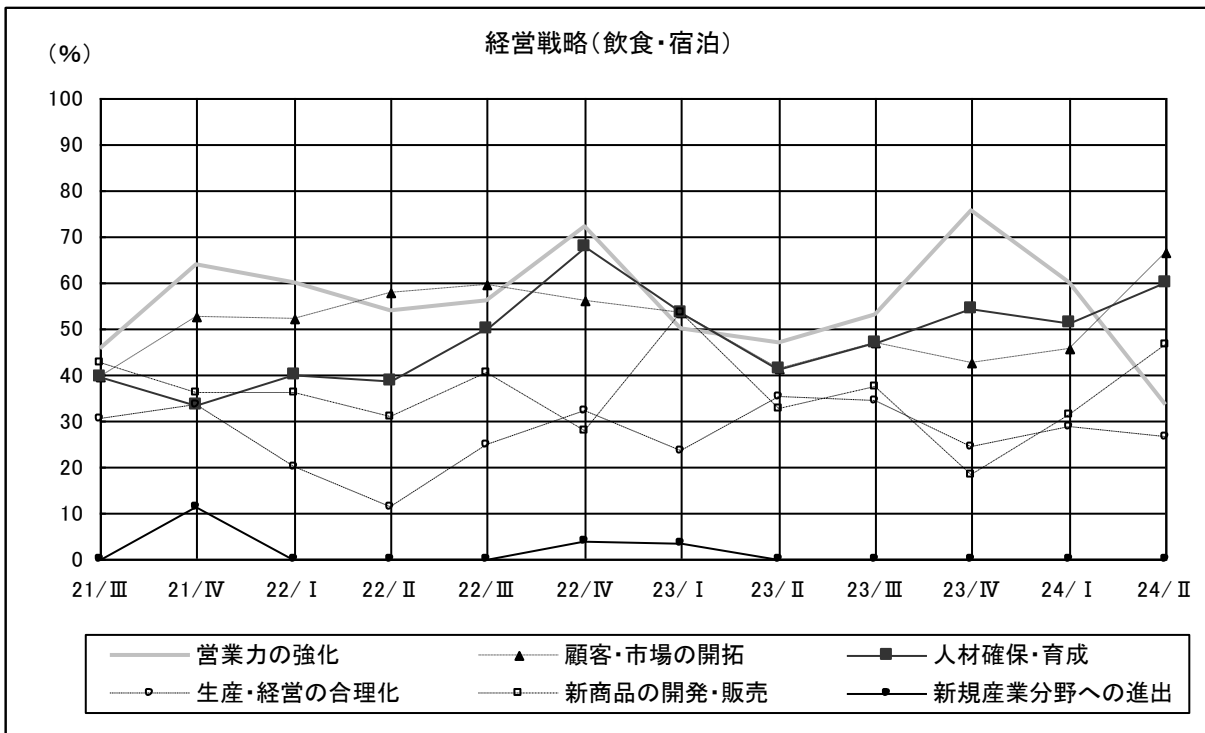


図 37. 当面の経営戦略・サービス

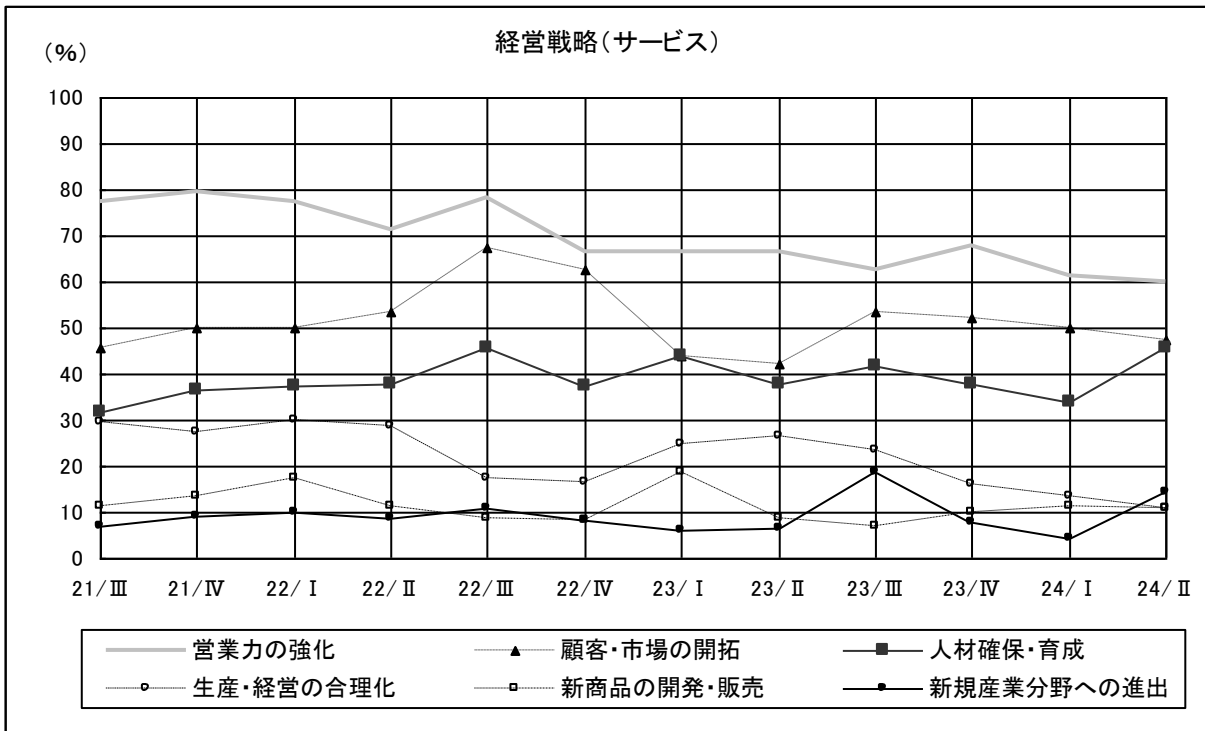


図 38. 当面の経営戦略・建設

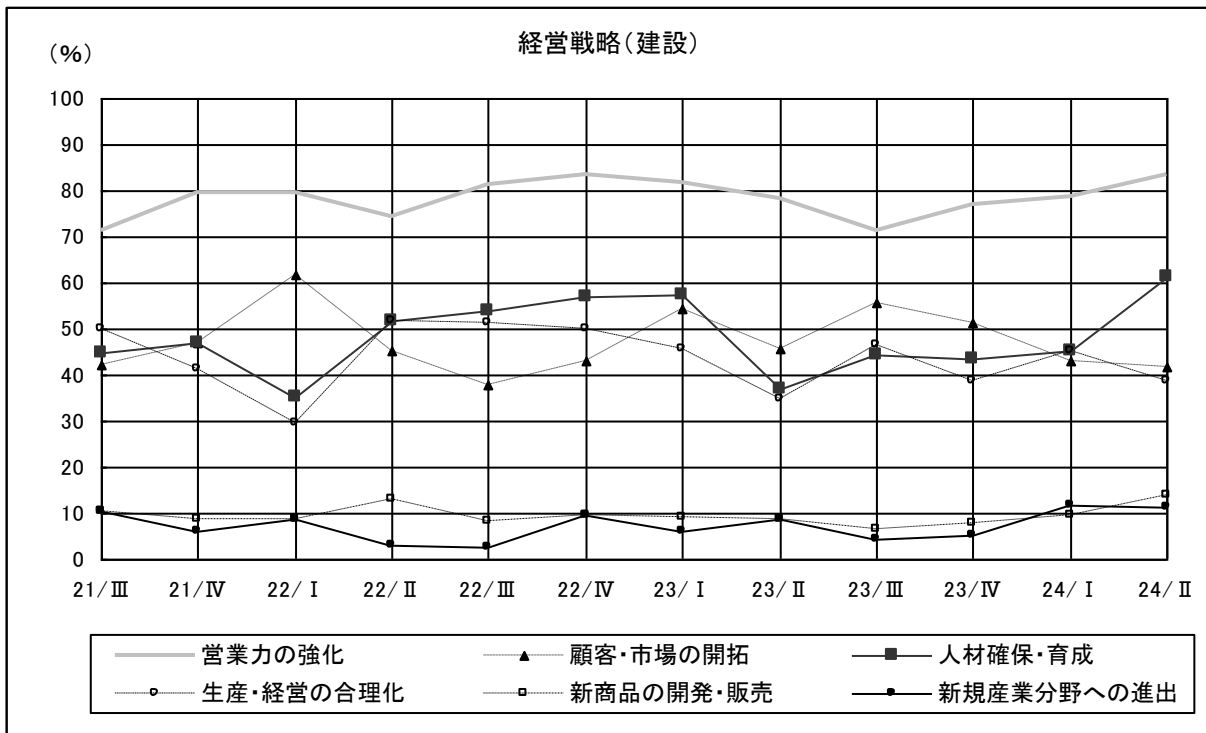


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	344 67.1%	167 32.6%	190 37.0%	67 13.1%	242 47.2%	191 37.2%	45 8.8%	61 11.9%	11 2.1%	513 100.0%	7
製造業	162 64.8%	107 42.8%	79 31.6%	38 15.2%	112 44.8%	114 45.6%	37 14.8%	33 13.2%	4 1.6%	250 100.0%	5
西陣	14 60.9%	7 30.4%	2 8.7%	1 4.3%	7 30.4%	14 60.9%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	23 100.0%	1
染色	18 52.9%	16 47.1%	10 29.4%	8 23.5%	13 38.2%	13 38.2%	6 17.6%	5 14.7%	1 2.9%	34 100.0%	0
印刷	16 59.3%	13 48.1%	11 40.7%	4 14.8%	13 48.1%	10 37.0%	0 0.0%	9 33.3%	0 0.0%	27 100.0%	0
窯業	10 66.7%	5 33.3%	4 26.7%	2 13.3%	6 40.0%	7 46.7%	2 13.3%	4 26.7%	1 6.7%	15 100.0%	1
化学	10 58.8%	1 5.9%	3 17.6%	3 17.6%	8 47.1%	9 52.9%	8 47.1%	3 17.6%	1 5.9%	17 100.0%	0
金属	15 60.0%	15 60.0%	13 52.0%	4 16.0%	7 28.0%	7 28.0%	2 8.0%	3 12.0%	1 4.0%	25 100.0%	0
機械	17 60.7%	18 64.3%	11 39.3%	4 14.3%	12 42.9%	8 28.6%	2 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%	0
その他の製造	62 76.5%	32 39.5%	25 30.9%	12 14.8%	46 56.8%	46 56.8%	15 18.5%	9 11.1%	0 0.0%	81 100.0%	3
非製造業	182 69.2%	60 22.8%	111 42.2%	29 11.0%	130 49.4%	77 29.3%	8 3.0%	28 10.6%	7 2.7%	263 100.0%	2
卸売	51 87.9%	11 19.0%	19 32.8%	10 17.2%	30 51.7%	19 32.8%	3 5.2%	2 3.4%	2 3.4%	58 100.0%	0
小売	40 69.0%	15 25.9%	13 22.4%	4 6.9%	26 44.8%	19 32.8%	0 0.0%	6 10.3%	3 5.2%	58 100.0%	0
情報通信	18 69.2%	6 23.1%	14 53.8%	3 11.5%	13 50.0%	14 53.8%	2 7.7%	5 19.2%	0 0.0%	26 100.0%	0
飲食・宿泊	10 33.3%	8 26.7%	18 60.0%	0 0.0%	20 66.7%	14 46.7%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%	30 100.0%	1
サービス	33 60.0%	6 10.9%	25 45.5%	8 14.5%	26 47.3%	6 10.9%	2 3.6%	10 18.2%	2 3.6%	55 100.0%	0
建設	30 83.3%	14 38.9%	22 61.1%	4 11.1%	15 41.7%	5 13.9%	1 2.8%	4 11.1%	0 0.0%	36 100.0%	1
観光関連	20 51.3%	13 33.3%	19 48.7%	4 10.3%	19 48.7%	21 53.8%	2 5.1%	4 10.3%	1 2.6%	39 100.0%	1

### (3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

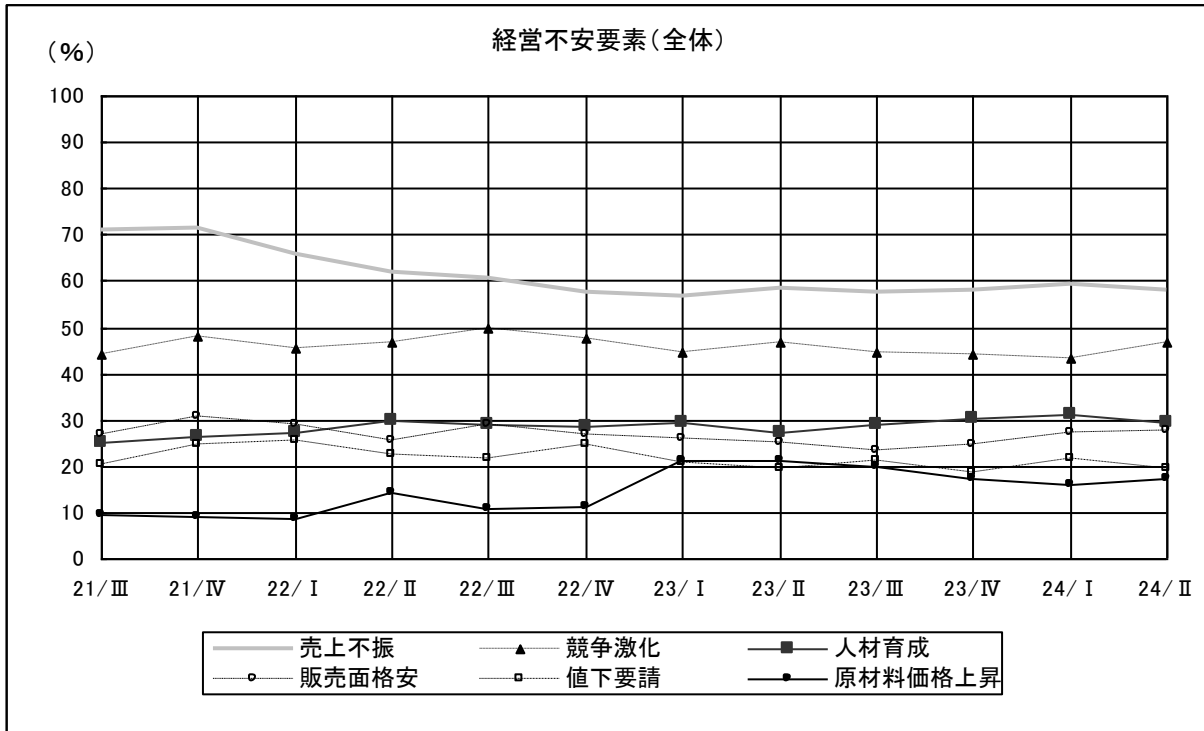


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

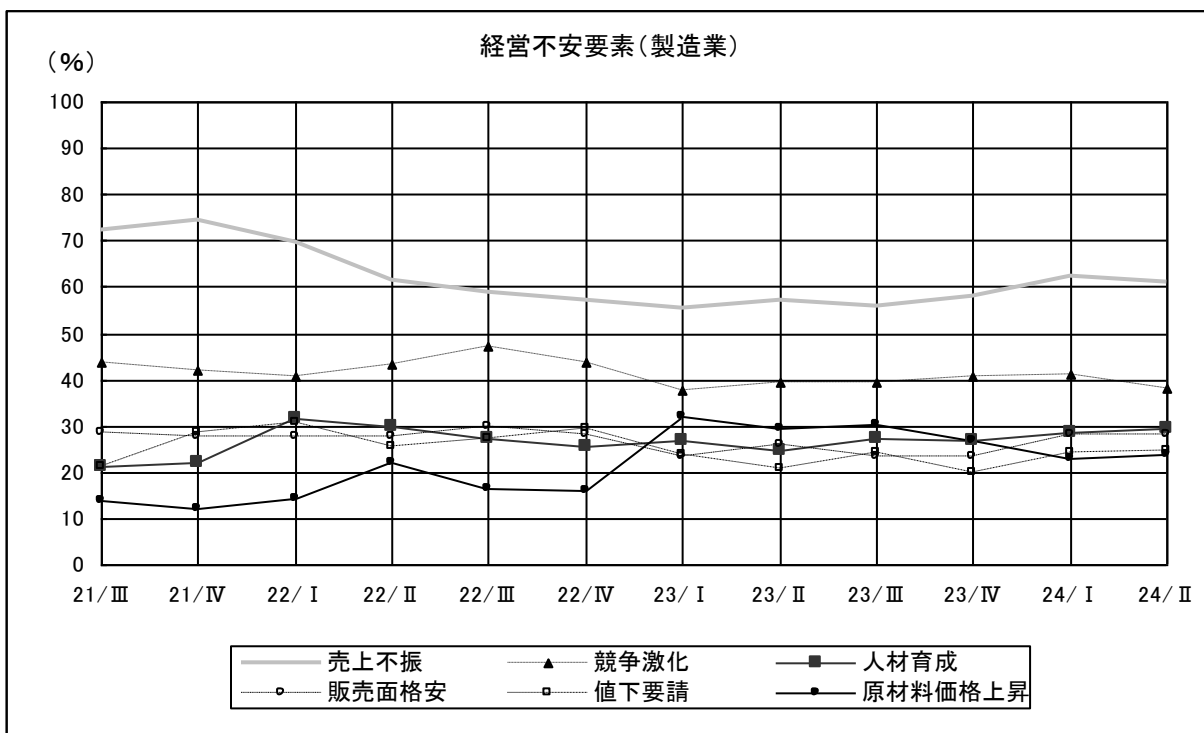


図 41. 経営上の不安要素・西陣

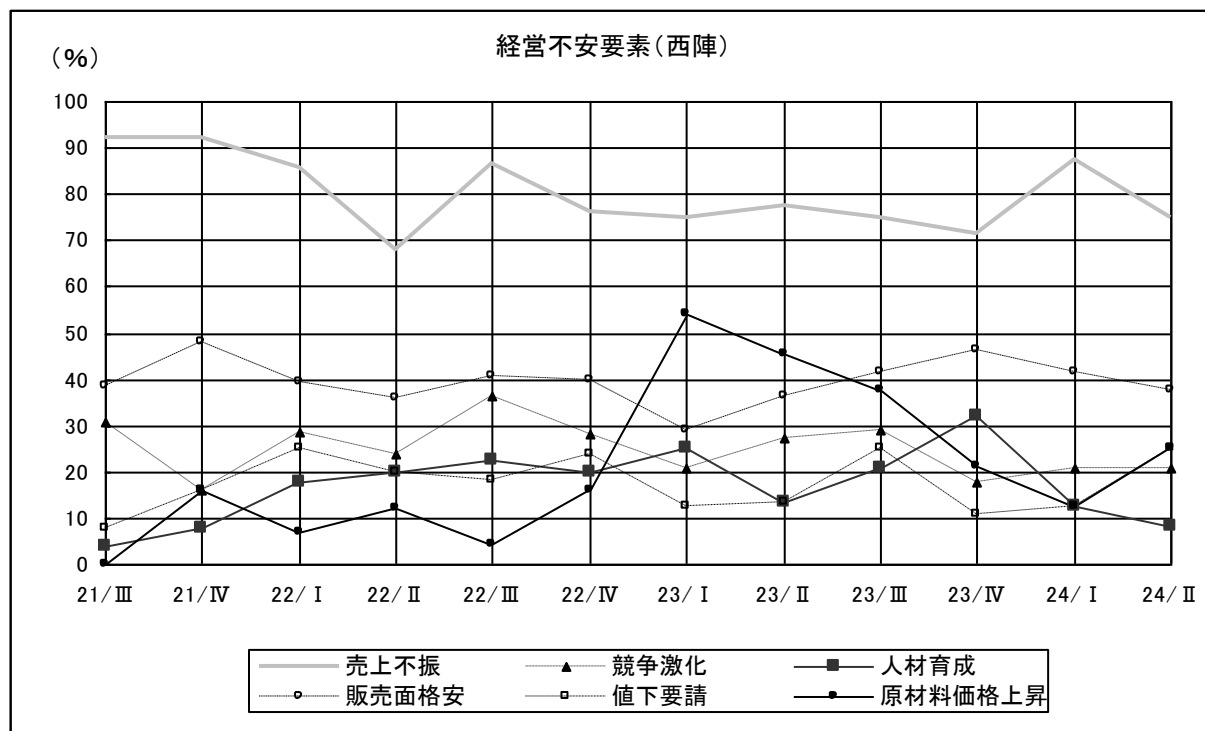


図 42. 経営上の不安要素・染色

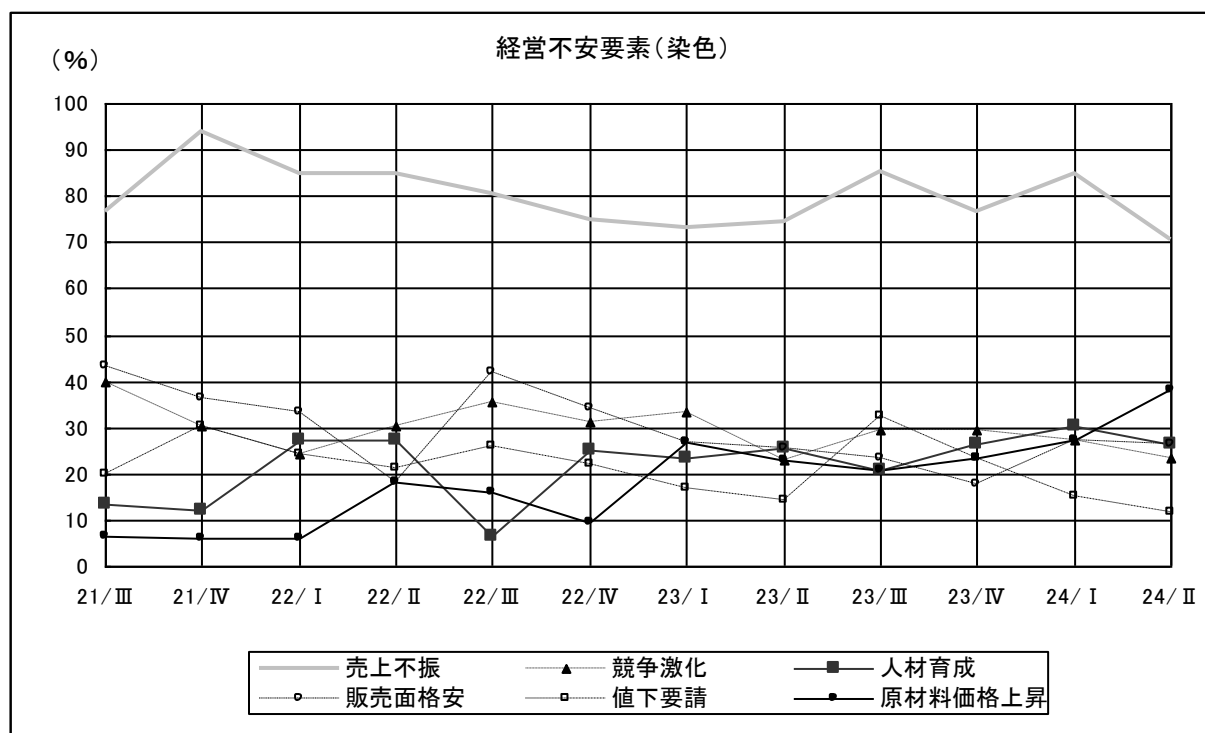




図 43. 経営上の不安要素・印刷

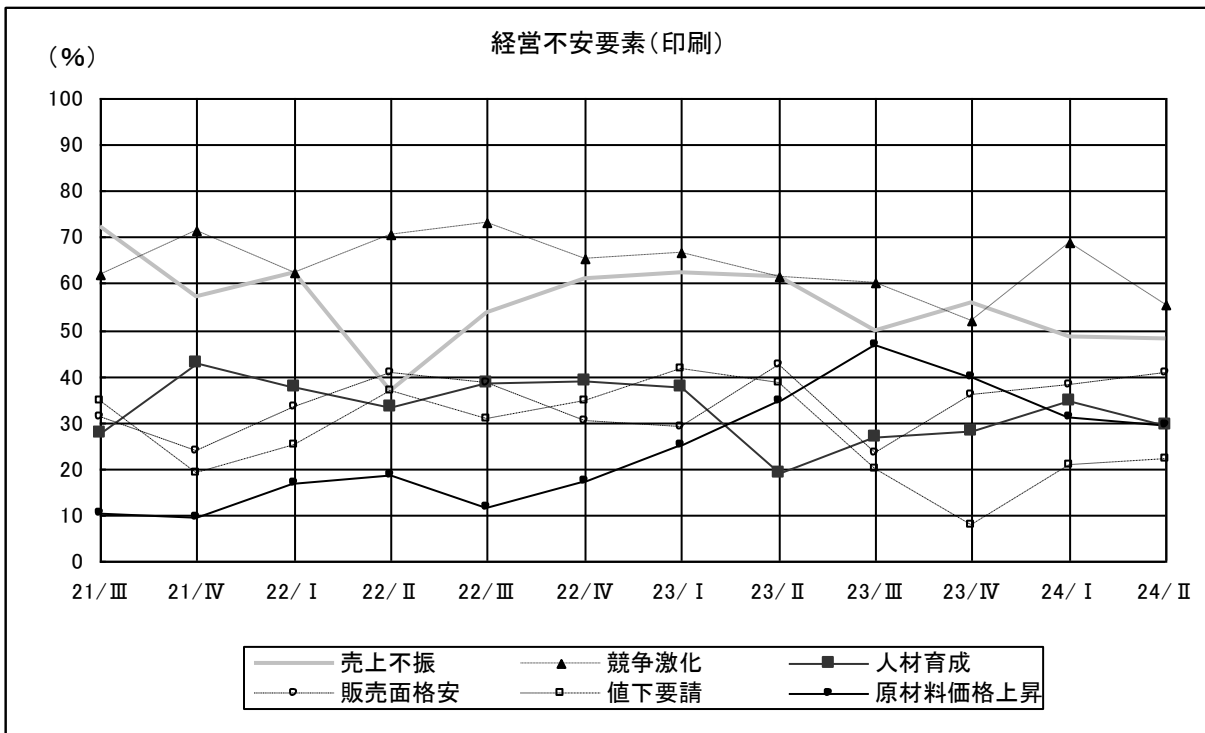


図 44. 経営上の不安要素・窯業

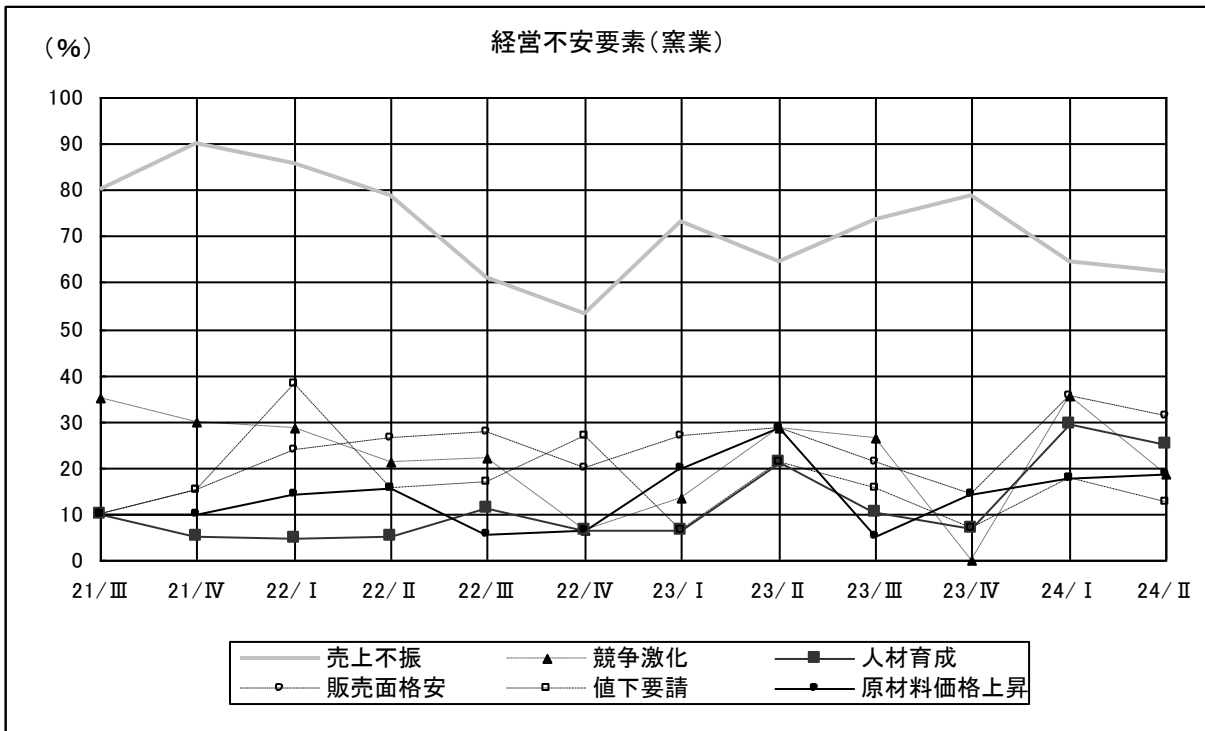


図 45. 経営上の不安要素・化学

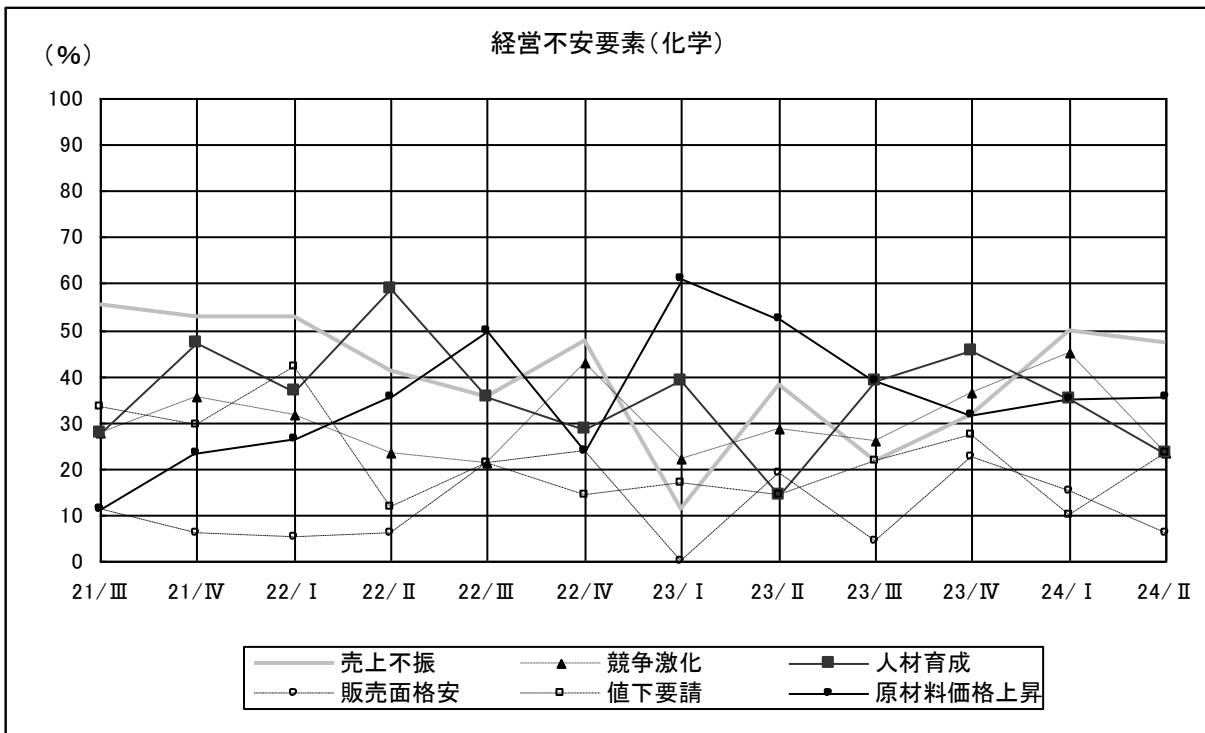


図 46. 経営上の不安要素・金属

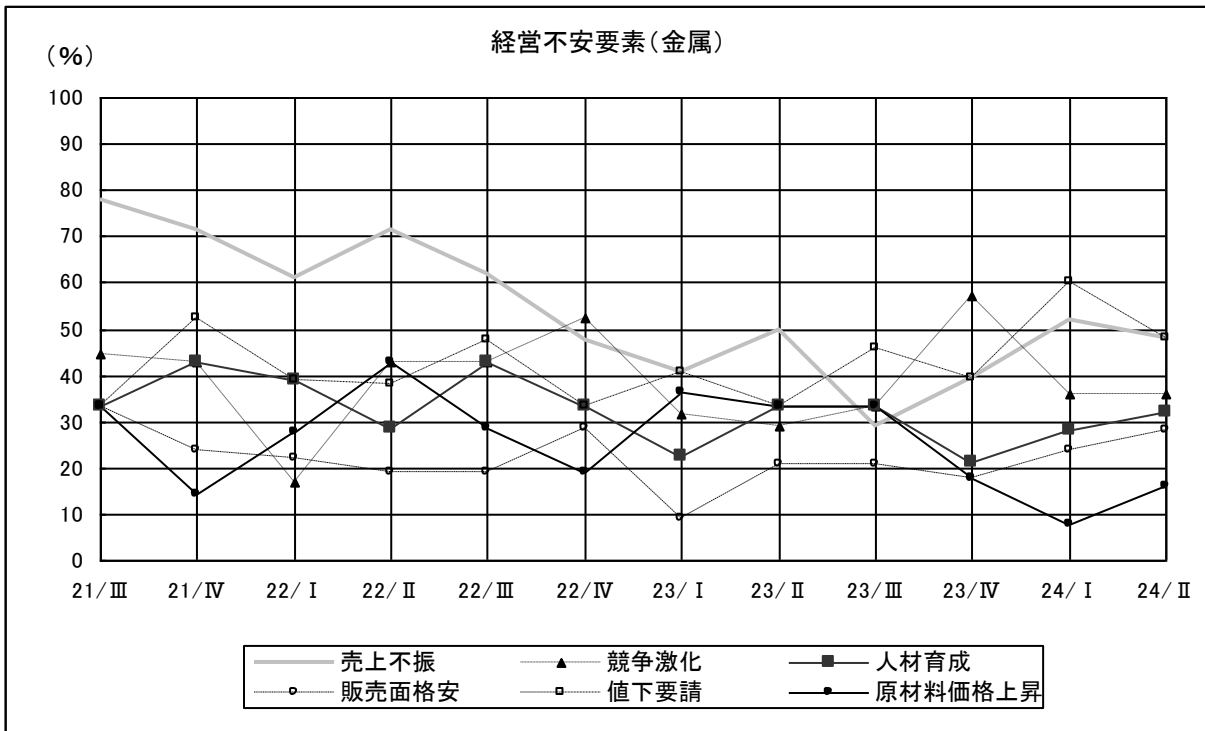


図 47. 経営上の不安要素・機械

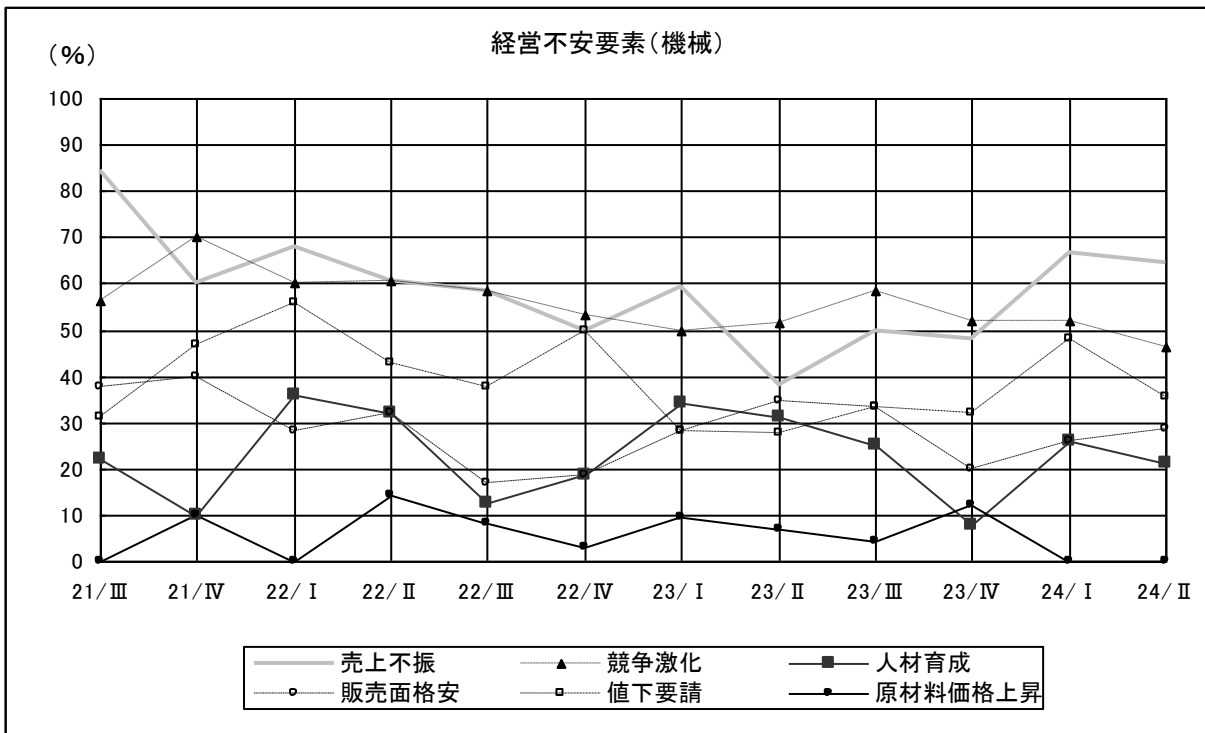


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

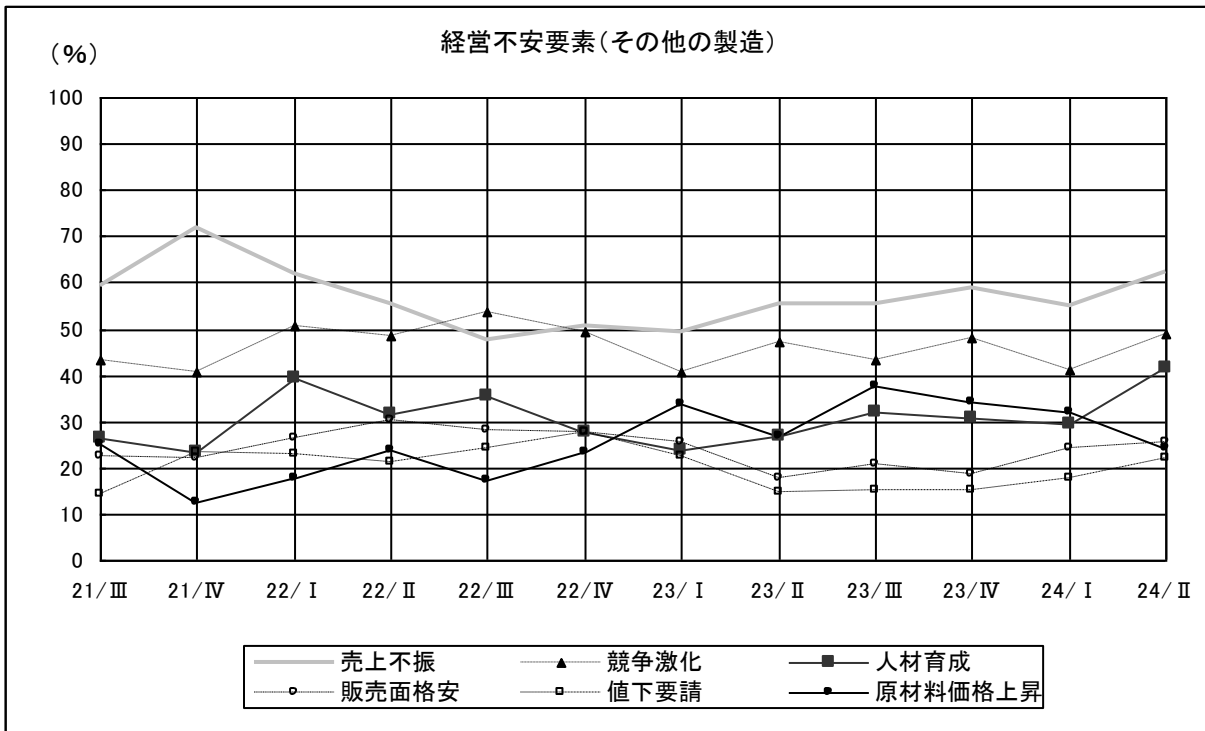


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

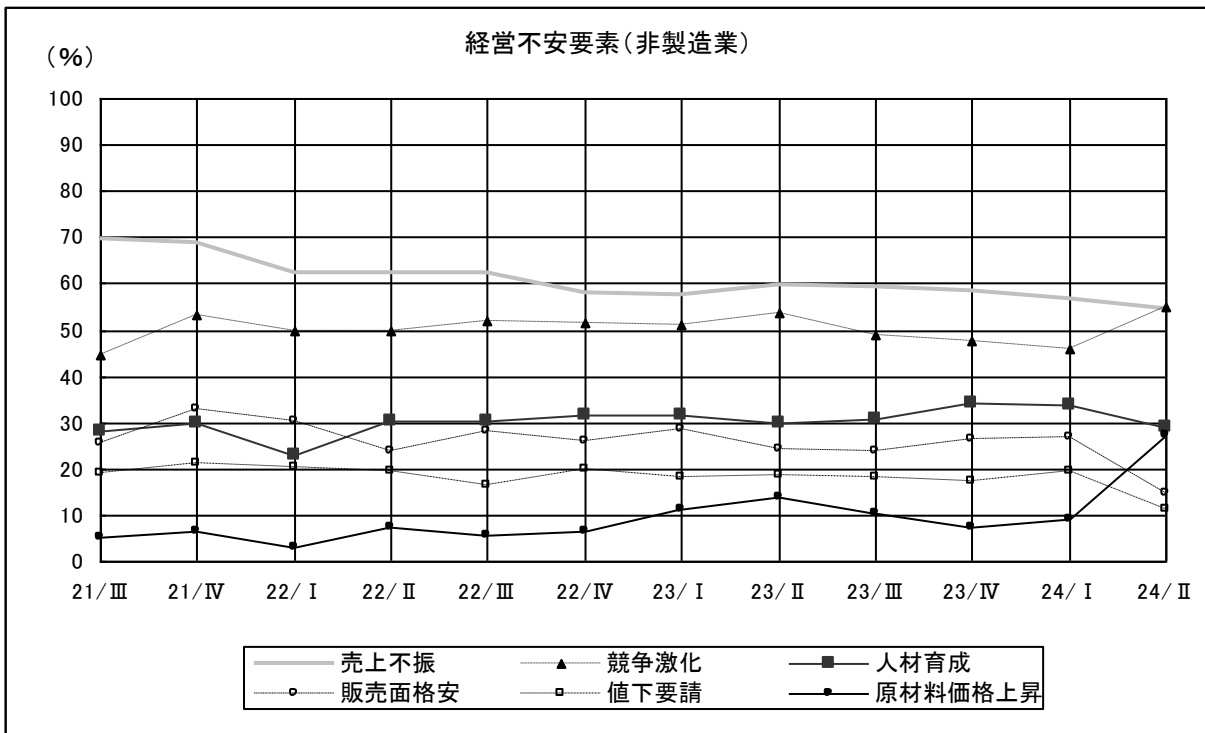


図 50. 経営上の不安要素・卸売

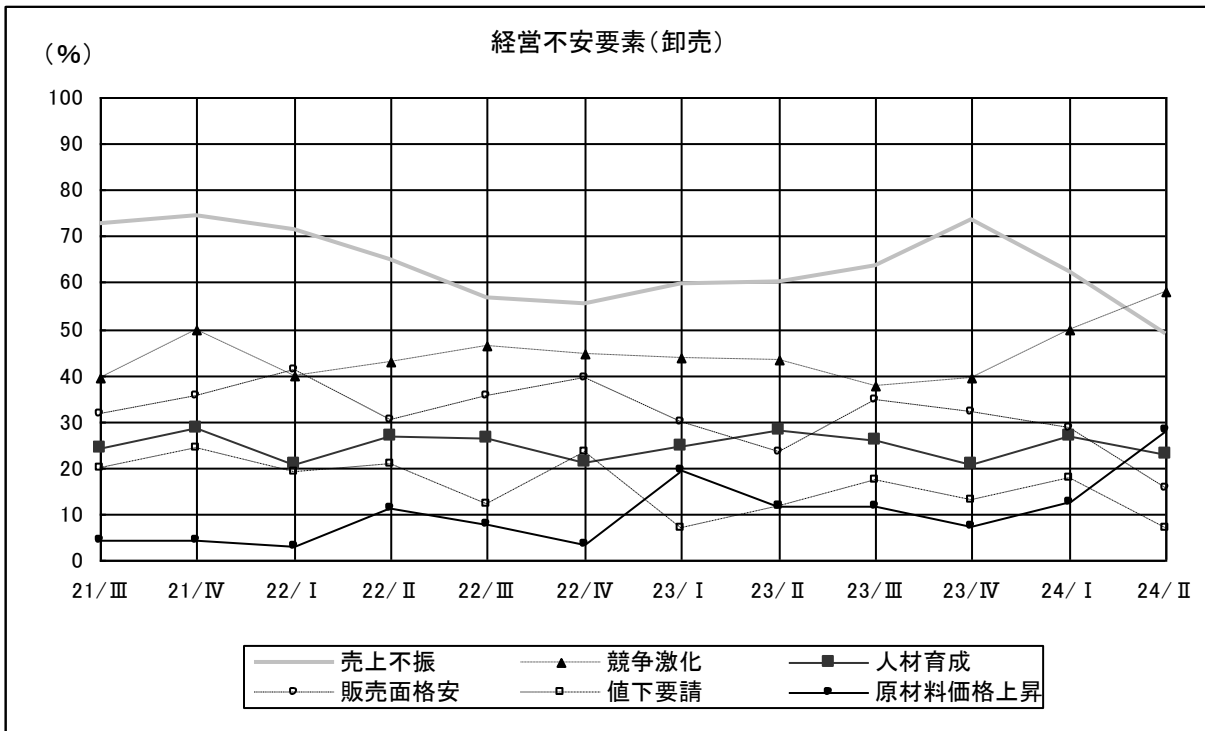


図 51. 経営上の不安要素・小売

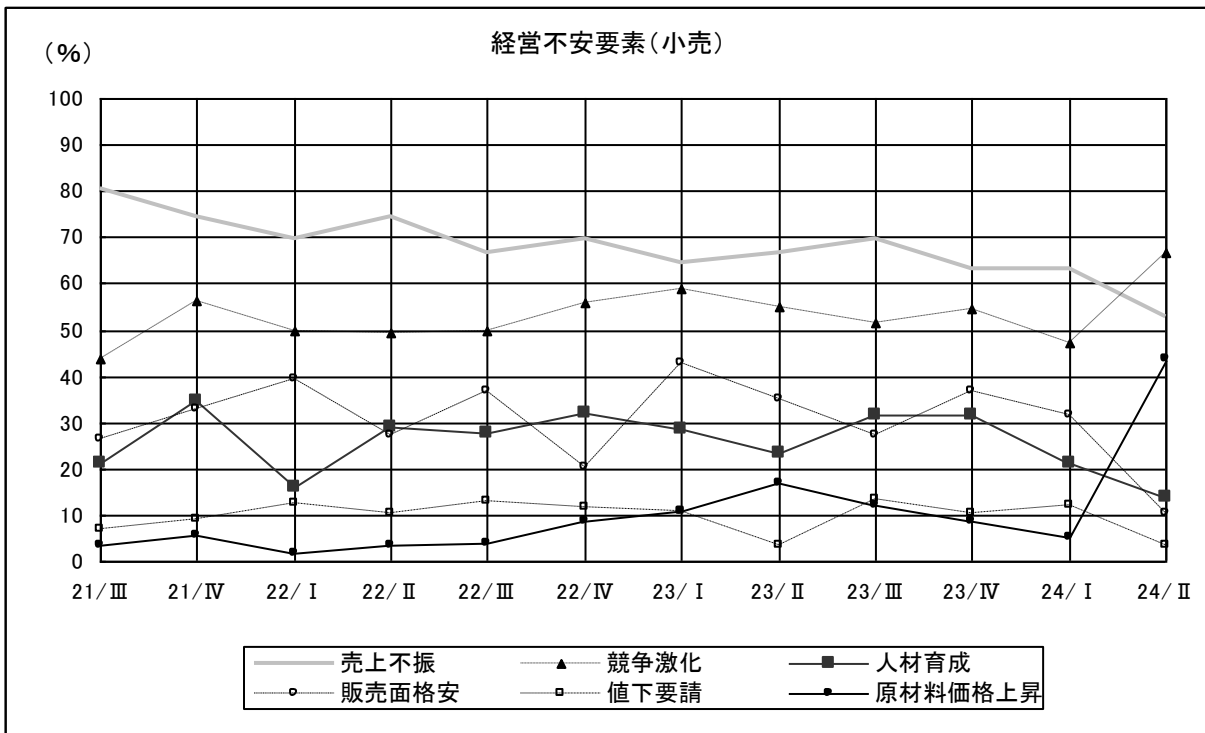


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

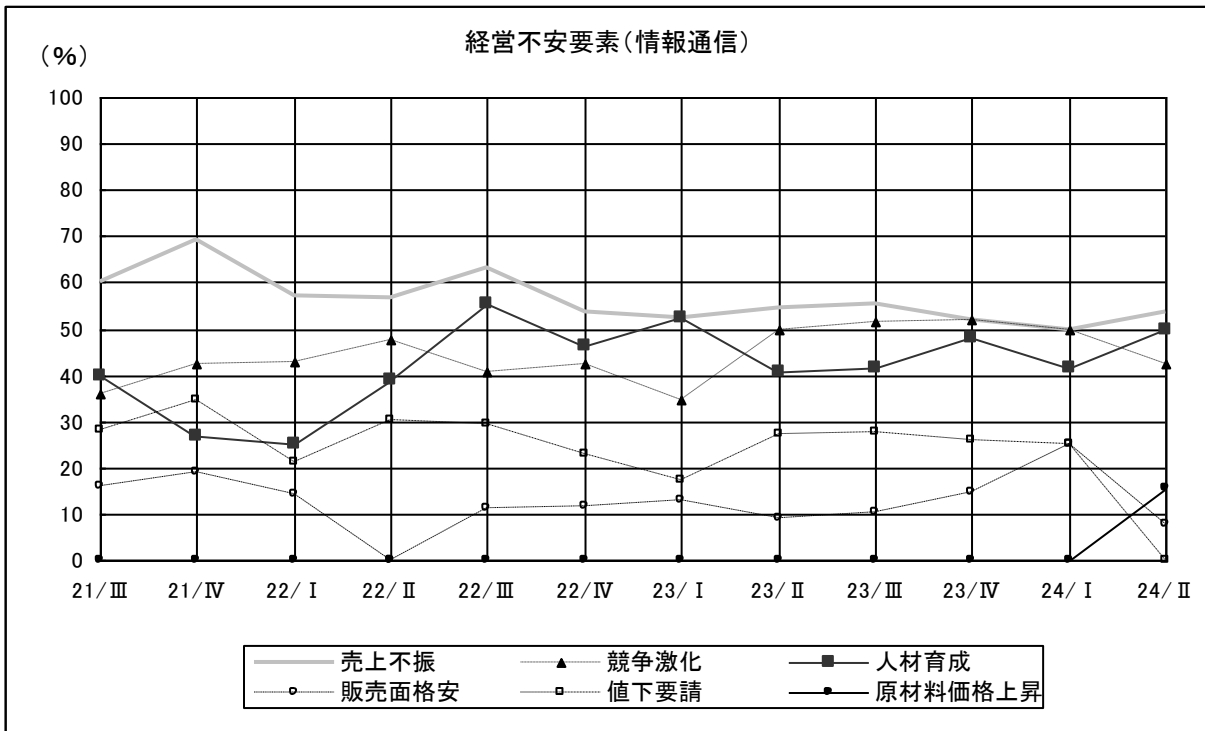


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

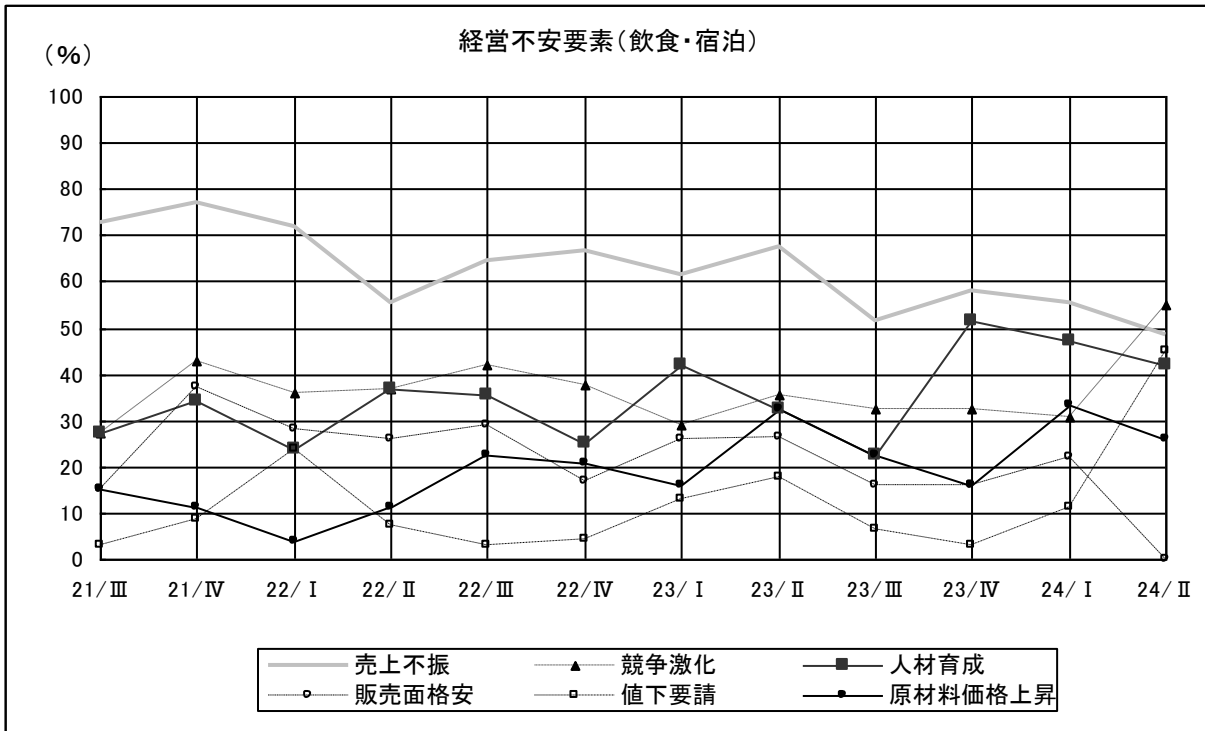


図 54. 経営上の不安要素・サービス

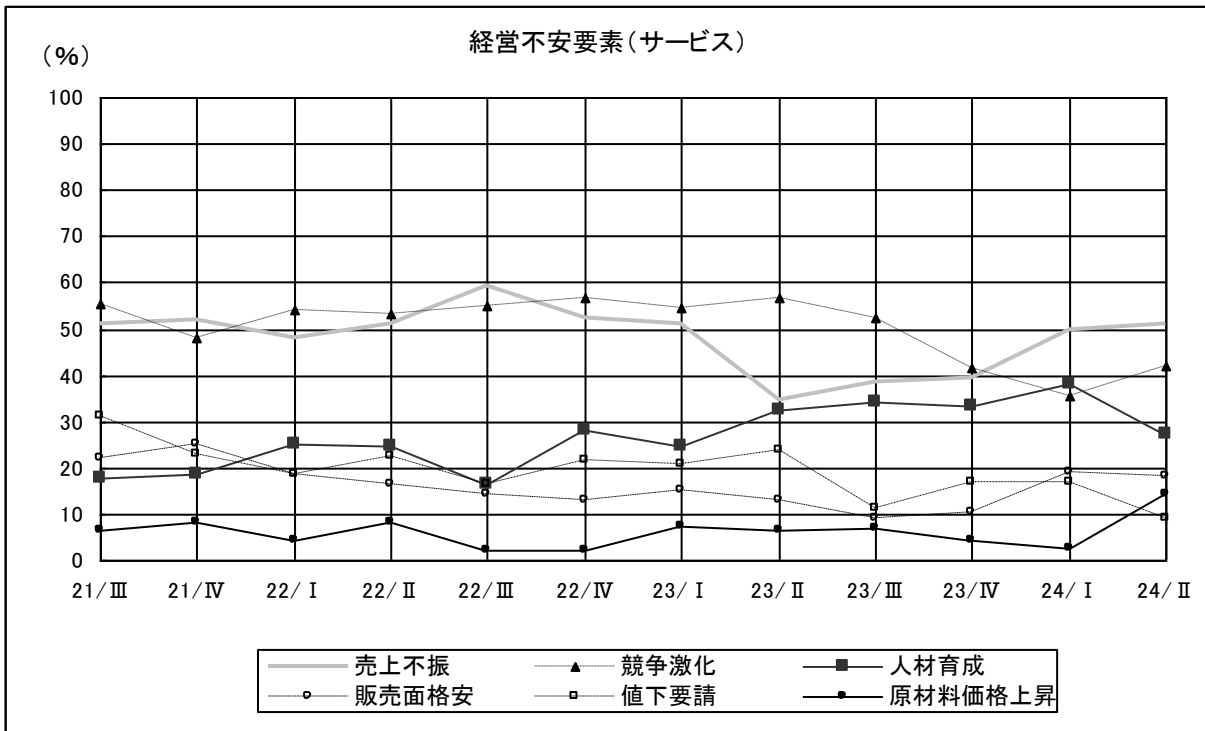


図 55. 経営上の不安要素・建設

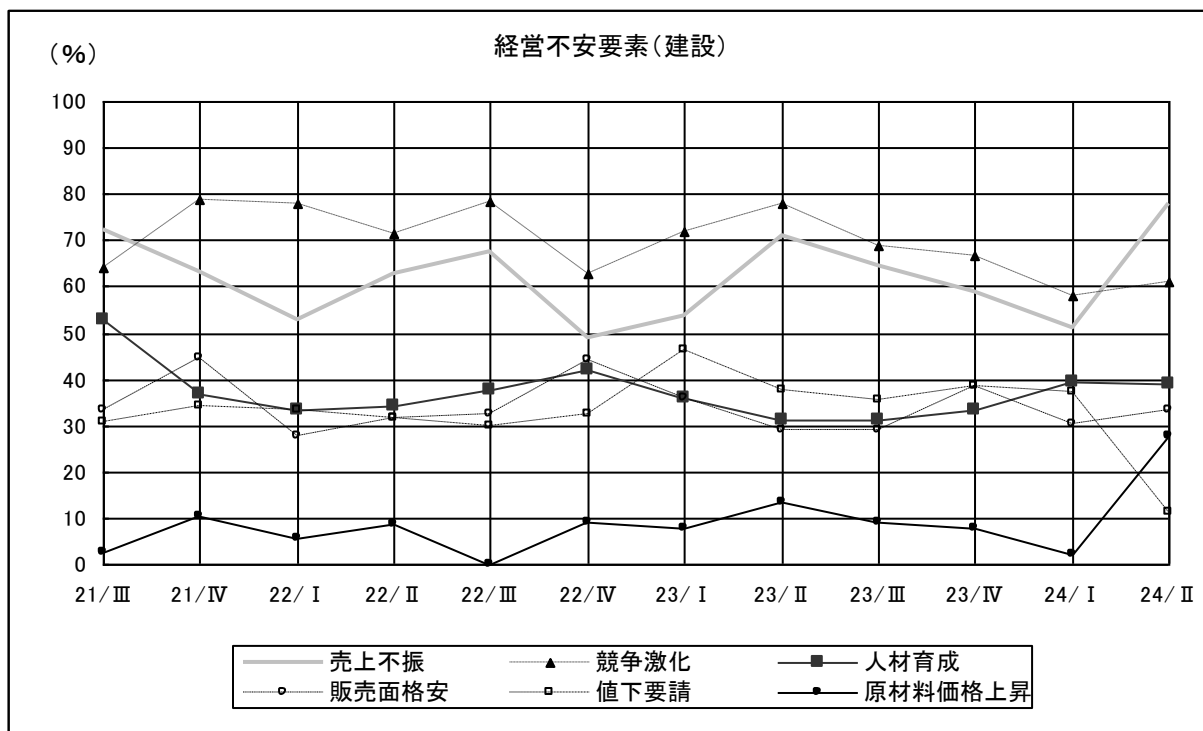


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	240 46.6%	298 57.9%	151 29.3%	101 19.6%	59 11.5%	89 17.3%	18 3.5%	142 27.6%
製造業	97 38.3%	154 60.9%	75 29.6%	62 24.5%	44 17.4%	60 23.7%	10 4.0%	71 28.1%
西陣	5 20.8%	18 75.0%	2 8.3%	6 25.0%	4 16.7%	6 25.0%	0 0.0%	9 37.5%
染色	8 23.5%	24 70.6%	9 26.5%	4 11.8%	4 11.8%	13 38.2%	2 5.9%	9 26.5%
印刷	15 55.6%	13 48.1%	8 29.6%	6 22.2%	4 14.8%	8 29.6%	1 3.7%	11 40.7%
窯業	3 18.8%	10 62.5%	4 25.0%	2 12.5%	2 12.5%	3 18.8%	1 6.3%	5 31.3%
化学	4 23.5%	8 47.1%	4 23.5%	4 23.5%	4 23.5%	6 35.3%	0 0.0%	1 5.9%
金属	9 36.0%	12 48.0%	8 32.0%	12 48.0%	1 4.0%	4 16.0%	0 0.0%	7 28.0%
機械	13 46.4%	18 64.3%	6 21.4%	10 35.7%	5 17.9%	0 0.0%	2 7.1%	8 28.6%
その他の製造	40 48.8%	51 62.2%	34 41.5%	18 22.0%	20 24.4%	20 24.4%	4 4.9%	21 25.6%
非製造業	143 54.6%	144 55.0%	76 29.0%	39 14.9%	15 5.7%	29 11.1%	8 3.1%	71 27.1%
卸売	28 49.1%	33 57.9%	13 22.8%	9 15.5%	5 8.8%	4 7.0%	1 1.8%	16 28.1%
小売	30 52.6%	38 66.7%	8 14.0%	6 10.5%	3 5.3%	2 3.5%	0 0.0%	25 43.9%
情報通信	14 53.8%	11 42.3%	13 50.0%	2 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 15.4%
飲食・宿泊	15 48.4%	17 54.8%	13 41.9%	0 0.0%	3 9.7%	14 45.2%	1 3.2%	8 25.8%
サービス	28 50.9%	23 41.8%	15 27.3%	10 18.2%	2 3.6%	5 9.1%	4 7.3%	8 14.5%
建設	28 77.8%	22 61.1%	14 38.9%	12 33.3%	2 5.6%	4 11.1%	2 5.6%	10 27.8%
観光関連	17 42.5%	25 62.5%	13 32.5%	2 5.0%	9 22.5%	12 30.0%	1 2.5%	11 27.5%

	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	その他	有効回答	無回答
全業種	45 8.7%	59 11.5%	40 7.8%	68 13.2%	16 3.1%	515 100.0%	5
製造業	28 11.1%	26 10.3%	12 4.7%	32 12.6%	6 2.4%	253 100.0%	2
西陣	3 12.5%	3 12.5%	2 8.3%	0 0.0%	1 4.2%	24 100.0%	0
染色	5 14.7%	5 14.7%	4 11.8%	2 5.9%	0 0.0%	34 100.0%	0
印刷	1 3.7%	3 11.1%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	27 100.0%	0
窯業	0 0.0%	1 6.3%	2 12.5%	3 18.8%	1 6.3%	16 100.0%	0
化学	7 41.2%	1 5.9%	0 0.0%	3 17.6%	1 5.9%	17 100.0%	0
金属	4 16.0%	1 4.0%	1 4.0%	3 12.0%	0 0.0%	25 100.0%	0
機械	5 17.9%	4 14.3%	1 3.6%	5 17.9%	1 3.6%	28 100.0%	0
その他の製造	3 3.7%	8 9.8%	1 1.2%	15 18.3%	2 2.4%	82 100.0%	2
非製造業	17 6.5%	33 12.6%	28 10.7%	36 13.7%	10 3.8%	262 100.0%	3
卸売	4 7.0%	10 17.5%	2 3.5%	6 10.5%	1 1.8%	57 100.0%	1
小売	2 3.5%	6 10.5%	2 3.5%	5 8.8%	3 5.3%	57 100.0%	1
情報通信	6 23.1%	4 15.4%	7 26.9%	4 15.4%	0 0.0%	26 100.0%	0
飲食・宿泊	0 0.0%	6 19.4%	6 19.4%	9 29.0%	3 9.7%	31 100.0%	0
サービス	2 3.6%	6 10.9%	6 10.9%	9 16.4%	1 1.8%	55 100.0%	0
建設	3 8.3%	1 2.8%	5 13.9%	3 8.3%	2 5.6%	36 100.0%	1
観光関連	1 2.5%	8 20.0%	5 12.5%	7 17.5%	2 5.0%	40 100.0%	0



参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	9	( 1.7 )
明治	17	( 3.3 )
大正	9	( 1.7 )
昭和19年以前	23	( 4.4 )
20 ～ 39年	196	( 37.7 )
40 ～ 49年	98	( 18.8 )
昭和50年以降	97	( 18.7 )
平成	71	( 13.7 )
無回答	0	( 0.0 )
不明	0	( 0.0 )
合計	520	( 100.0 )

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	515	( 99.0 )
個人	5	( 1.0 )
無回答	0	( 0.0 )
合計	520	( 100.0 )

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	255	( 49.0 )	非製造業	265	( 51.0 )
西陣	24	( 4.6 )	卸売	58	( 11.2 )
染色	34	( 6.5 )	小売	58	( 11.2 )
印刷	27	( 5.2 )	情報通信	26	( 5.0 )
窯業	16	( 3.1 )	飲食・宿泊	31	( 6.0 )
化学	17	( 3.3 )	サービス	55	( 10.6 )
金属	25	( 4.8 )	建設	37	( 7.1 )
機械	28	( 5.4 )	不明	0	( 0.0 )
その他の製造	84	( 16.2 )	合計	520	( 100.0 )

※観光関連（観光関連の売上が25%以上）

40 ( 7.7 )

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
～ 100万円	0	( 0.0 )	3001 ～ 5000	83	( 16.1 )
101 ～ 200	0	( 0.0 )	5001 ～ 1億円	47	( 9.1 )
201 ～ 500	38	( 7.4 )	1億円超	10	( 1.9 )
501 ～ 1000	191	( 37.1 )	無回答	0	( 0.0 )
1001 ～ 3000	146	( 28.3 )	合計	515	( 100.0 )

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0 ～ 4人	75	( 14.4 )	50 ～ 99人	65	( 12.5 )
5 ～ 9人	85	( 16.3 )	100人以上	45	( 8.7 )
10人～19人	104	( 20.0 )	無回答	0	( 0.0 )
20人～29人	64	( 12.3 )	合計	520	( 100.0 )
30 ～ 49人	82	( 15.8 )			

# 第103回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成24年6月5日（火）】

貴社の概要を御記入ください。

（該当する箇所には、○印をお付けください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。）

会社名											
経営形態	法人・個人	資本金			万円	電話			—		
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成)				年	従業者数					人
※業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造										
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設										
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。										
主な製品，商品，サービス											
御記入者	部課：			役職：			氏名：				

※業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。

項目	期 間	平成24年4月～6月の実績 (前年の同期と比較して)			平成24年7月～9月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
貴社の業況		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
生産加工量・販売量		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
経常利益（税引前）		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
製品・加工単価，販売単価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
仕 入 単 価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
製品・商品在庫量		過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足
雇 用 人 員		過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足
資 金 繰 り		楽	普 通	苦	楽	普 通	苦
同業他社との競争		激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
	生産設備	過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足
	設備投資	し た	し て い な い		す る	し な い	

(2) 該当するものに○印をお付けされた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- |              |               |             |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化     | 2 生産・経営の合理化   | 3 人材確保・育成   |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓    | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化  | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他( )    |

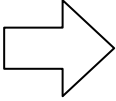
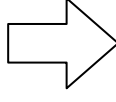
(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- |           |          |                |
|-----------|----------|----------------|
| 1 競争激化    | 2 売上不振   | 3 人材育成         |
| 4 値下要請    | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に )価格上昇 |
| 7 金利上昇    | 8 販売価格安  | 9 技術力不足        |
| 10 後継者問題  | 11 人手不足  | 12 人件費増加       |
| 13 その他( ) |          |                |

(裏面も御記入ください。)

(5) 貴社における海外ビジネスについてお尋ねします。

A 貴社の海外ビジネスの展開について教えてください。該当するものを下記の1～5から選び、○印をお付けください。また、1、2又は3とご回答の方は、矢印右側の海外ビジネスの内容、目的もお答えください。

<p>(海外ビジネスの状況)</p> <p>1 海外ビジネスを展開している</p>		<p>(その内容) ※複数回答可</p> <p>① 輸出を行っている                      ② 海外に販売拠点がある</p> <p>③ 海外に生産拠点がある                  ④ 海外に調達拠点がある</p> <p>⑤ 海外に情報収集拠点がある              ⑥ 生産委託を行っている</p> <p>⑦ その他( )</p>
-----		
<p>2 展開していないが計画がある</p> <p>3 展開していないが関心がある</p>		<p>(その目的) ※複数回答可</p> <p>① 海外での販売拡大                      ② 海外での生産</p> <p>③ 海外での調達                              ④ 海外市場の情報収集</p> <p>⑤ その他( )</p>
-----		
<p>4 過去に行っていたが、撤退した</p> <p>5 関心がない</p>		

B 海外ビジネスを展開する場合に、困難だった、又は困難だと思われる点はどのようなことでしょうか。該当するものを下記から選び、○印をお付けください(3点まで複数回答可)。

<p>1 現地でのビジネスをサポートできる人材探し(日本からの派遣、現地採用問わず)</p> <p>2 現地でのパートナー企業探し</p> <p>4 言葉・コミュニケーションの壁</p> <p>6 販売代金の回収</p> <p>8 現地での運営資金の捻出</p> <p>10 製品・サービス品質の維持・管理</p>	<p>3 現地の税制・法律等がよくわからずリスクが読めないこと</p> <p>5 自社製品の顧客探し</p> <p>7 現地の市場にマッチした商品・サービスの開発・開拓</p> <p>9 現地でのコストが定まらず採算の見通しがたたないこと</p> <p>11 その他( )</p>
---	--

C 海外ビジネスを展開するに当たり、利用したいサービスは、どのようなものでしょうか。該当するものを下記から選び、○印をお付けください(3点まで複数回答可)。

<p>1 具体的な商談発掘に繋がる情報サービス</p> <p>3 商売上のもめごとの解決に繋がるアドバイス</p> <p>5 起業・事業計画に対するアドバイス</p> <p>7 政治・経済状況に関する情報サービス</p> <p>9 現地でのパートナー企業を発掘するサービス</p>	<p>2 税務、人事労務、法律に関する情報サービス</p> <p>4 経営全般に関わるアドバイス</p> <p>6 展開を始めている商談を成立に繋げるアドバイス</p> <p>8 治安・セキュリティに関するアドバイス</p> <p>10 その他( )</p>
--	---

D 今後の進出先として関心のある国・地域はどこですか。現在、進出中の国・地域も含め、該当するものを下記から選び、○印をお付けください(複数回答可)。また、その理由についても御記入ください。

1 インド	2 インドネシア	3 オーストラリア	4 韓国	5 シンガポール
6 タイ	7 台湾	8 中国	9 ニュージーランド	10 ベトナム
11 香港	12 マレーシア			
13 アメリカ	14 カナダ	15 アルゼンチン	16 チリ	17 ブラジル
18 イギリス	19 ドイツ	20 フランス	21 ロシア	
22 アラブ首長国連邦	23 サウジアラビア	24 南アフリカ共和国	25 上記以外の国( )	

その理由(自由記述)

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。)

京都市 産業観光局 (TEL:222-3325 FAX:222-3331)